

第三期半田市子ども・子育て支援事業計画策定に係る
ニーズ調査等業務委託 報告書
(2章まで)

目 次

第1章 統計データからみた半田市の子ども・子育ての現状	1
1. 人口	1
(1) 年齢3区分別人口推移	1
(2) 子ども人口の推移	2
(3) 出生数・出生率の推移	3
(4) 女性の労働力状態	4
2. 世帯	5
(1) 子どものいる世帯の推移	5
(2) ひとり親世帯の推移	6
(3) 外国籍の18歳未満の子ども人口の推移	7
(3) 婚姻率の推移	8
(4) 離婚率の推移	8
3. 子育て支援の状況	9
(1) 施設（保育園等、幼稚園、学校）利用児童者数の推移	9
(2) 一時保育	13
(3) 病児・病後児保育	14
(4) 待機児童の状況	15
(5) 子育て支援に関する施設	16
(6) 子育て支援事業	18
(7) 放課後児童クラブの状況	20
第2章 ニーズ調査結果	21
1. ニーズ調査概要	21
(1) 調査の目的	21
(2) 調査対象	21
(3) 調査方法	21
(4) 回答期間	21
(5) 回収率等	21
2. ニーズ調査結果概要	22
(1) 子どもと家族の状況	22
(2) 子育ての環境	27
(3) 保護者の就労状況	30
(4) 教育・保育のニーズ	36
(5) 地域子育て支援拠点事業	40
(6) 病児・病後児保育	41
(7) 一時預かり	45
(8) 短期入所支援事業	49

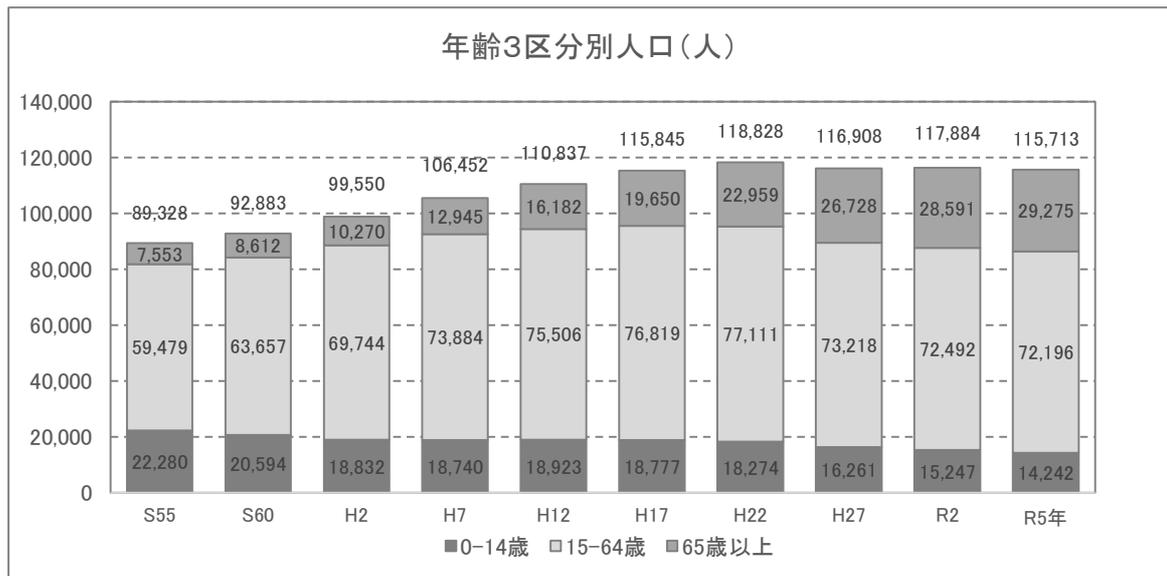
（9）放課後の過ごし方	50
（10）子育てに関する保護者の意識	52
3. ニーズ調査結果からみえる課題	55

第1章 統計データからみた半田市の子ども・子育ての現状

1. 人口

(1) 年齢3区分別人口推移

本市の人口は平成22年までは増加傾向でしたが、以降は減少傾向に転じています。年齢3区分別人口を見ると、年少人口（0～14歳）は減少傾向が続いています。生産年齢人口（15～64歳）は昭和55年から増加傾向でしたが、平成22年以降減少傾向に転じています。一方、老年人口（65歳以上）は増加傾向にあり、本市においても少子高齢化が顕著になっていることがわかります。

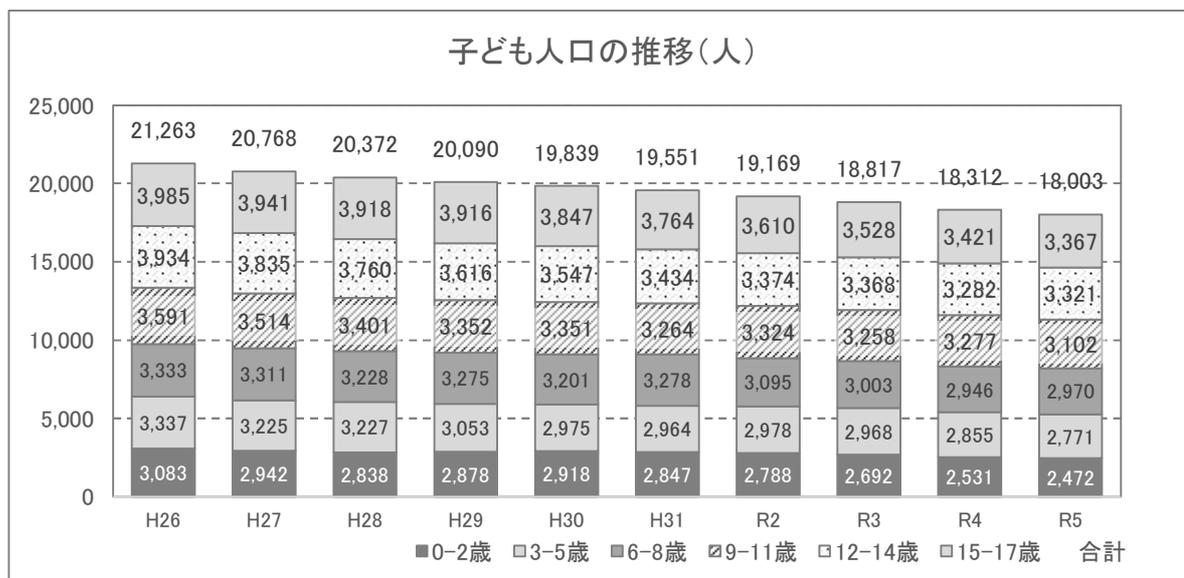


	S55	S60	H2	H7	H12	H17	H22	H27	R2	R5年
0-14歳	22,280	20,594	18,832	18,740	18,923	18,777	18,274	16,261	15,247	14,242
15-64歳	59,479	63,657	69,744	73,884	75,506	76,819	77,111	73,218	72,492	72,196
65歳以上	7,553	8,612	10,270	12,945	16,182	19,650	22,959	26,728	28,591	29,275
年齢不詳	16	20	704	883	226	599	484	701	1,554	0
合計	89,328	92,883	99,550	106,452	110,837	115,845	118,828	116,908	117,884	115,713

資料：S55～R2は国勢調査、R5は愛知県人口動向調査（各年10月1日現在）

(2) 子ども人口の推移

0～17歳までの人口総数は減少傾向にあり、平成26年と比べると3,200人以上減少しています。3歳ごとの年齢階層別でみると、どの年齢層も令和5年と10年前の平成26年と比べると300～600人台の減少となっています。また、最新の令和5年における3歳ごとの年齢階層をみると、年齢が低くなるにつれ人口が減少しています。後述するように出生数が減少しており、この傾向が続けば今後も子どもの数が減少していくことが見込まれます。



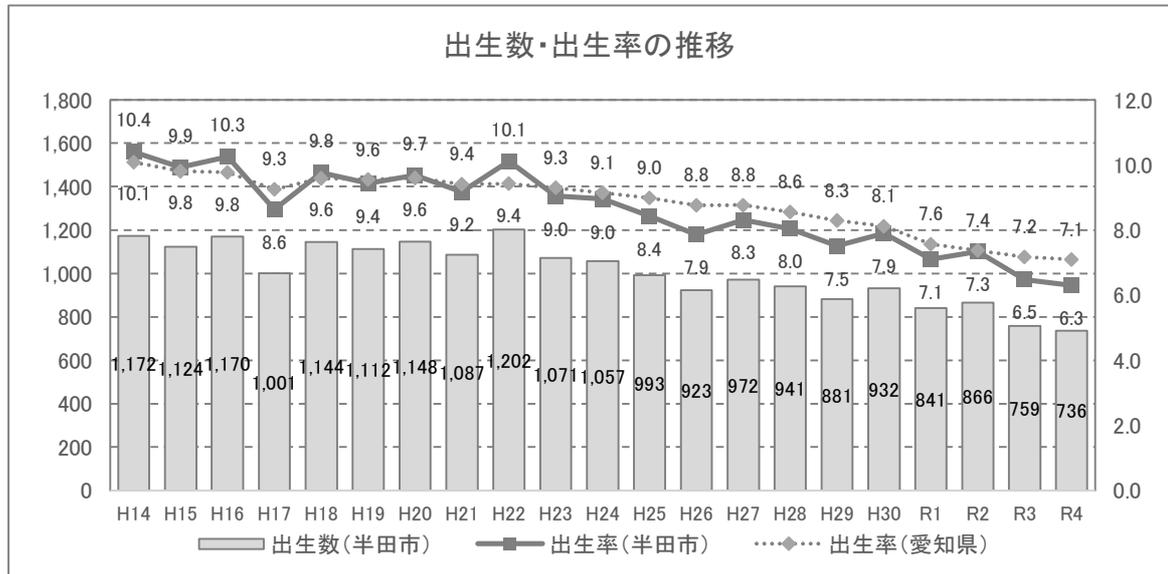
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5年
0-2歳	3,083	2,942	2,838	2,878	2,918	2,847	2,788	2,692	2,531	2,472
3-5歳	3,337	3,225	3,227	3,053	2,975	2,964	2,978	2,968	2,855	2,771
6-8歳	3,333	3,311	3,228	3,275	3,201	3,278	3,095	3,003	2,946	2,970
9-11歳	3,591	3,514	3,401	3,352	3,351	3,264	3,324	3,258	3,277	3,102
12-14歳	3,934	3,835	3,760	3,616	3,547	3,434	3,374	3,368	3,282	3,321
15-17歳	3,985	3,941	3,918	3,916	3,847	3,764	3,610	3,528	3,421	3,367
合計	21,263	20,768	20,372	20,090	19,839	19,551	19,169	18,817	18,312	18,003

資料：住民基本台帳人口（各年4月1日現在）

(3) 出生数・出生率の推移

出生数、出生率ともに、全体的に減少傾向が続いています。

平成 22 年までは愛知県の出生率を上回る年がありましたが、以降は愛知県の出生率を下回って推移しています。

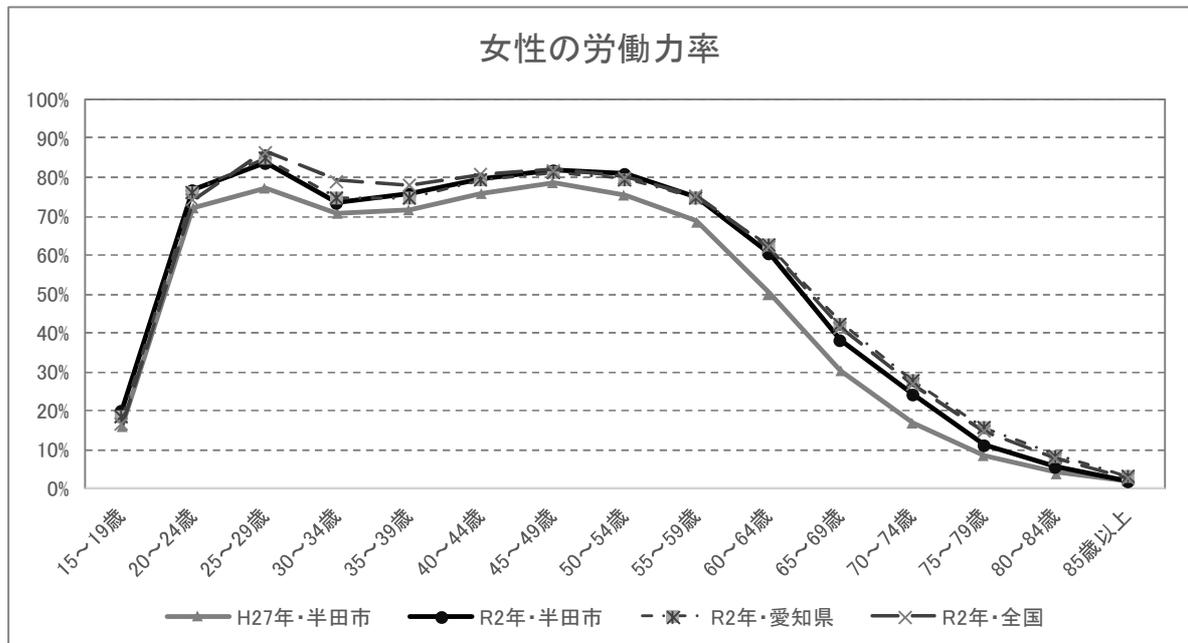


資料：愛知県衛生年報、愛知県人口動態統計

(4) 女性の労働力状態

本市における女性年齢階層別労働力率は、子育て世代と考えられる30～34歳の階層で労働力率が低くなるM字型を描いていますが、女性の労働力率自体は全体的に平成27年を上回っており、女性の社会進出が進んでいることがうかがえます。

また最新の令和2年では、全国と比較すると25～39歳の労働力率が低くなっていますが、愛知県と比較すると同程度であり、各年齢とも県平均程度とみられます。



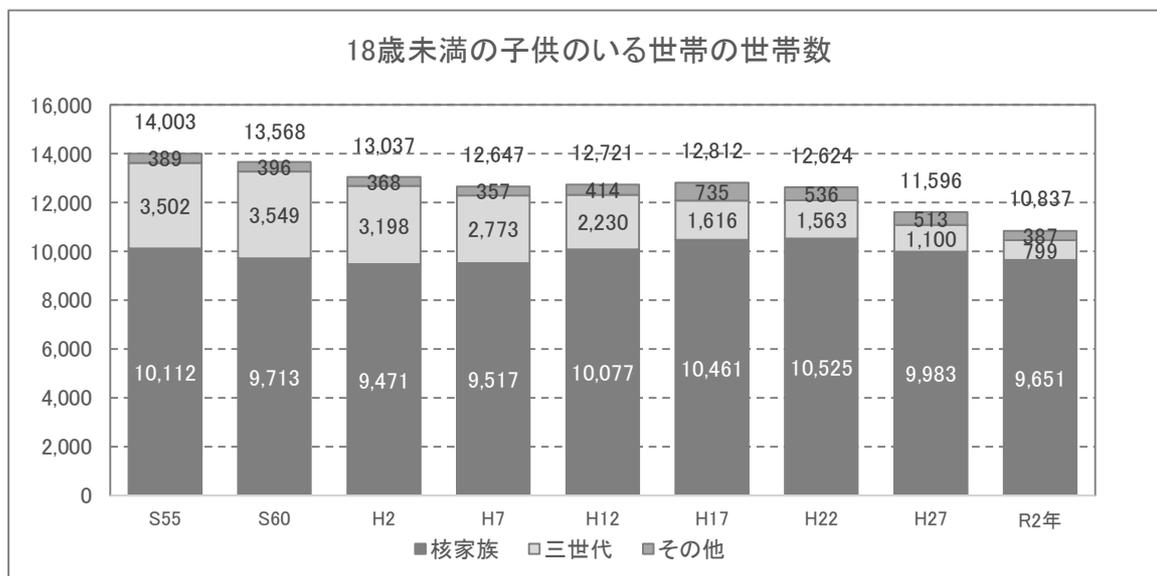
	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
H27年 半田市	15.9%	72.2%	77.4%	70.7%	71.8%	75.8%	78.6%	75.5%	68.8%	50.2%	30.3%	16.9%	8.7%	4.2%	2.0%
R2年 半田市	19.9%	76.7%	83.9%	73.4%	75.8%	79.6%	81.7%	80.7%	74.8%	60.6%	38.4%	24.4%	11.4%	5.7%	2.1%
R2年 愛知県	18.5%	76.4%	84.9%	74.7%	74.7%	79.3%	81.4%	79.6%	74.8%	62.6%	42.6%	27.9%	15.7%	8.6%	3.4%
R2年 全国	16.8%	74.2%	86.6%	79.1%	78.1%	80.8%	82.0%	80.2%	75.3%	62.2%	41.3%	26.9%	14.9%	7.8%	2.9%

資料：国勢調査

2. 世帯

(1) 子どものいる世帯の推移

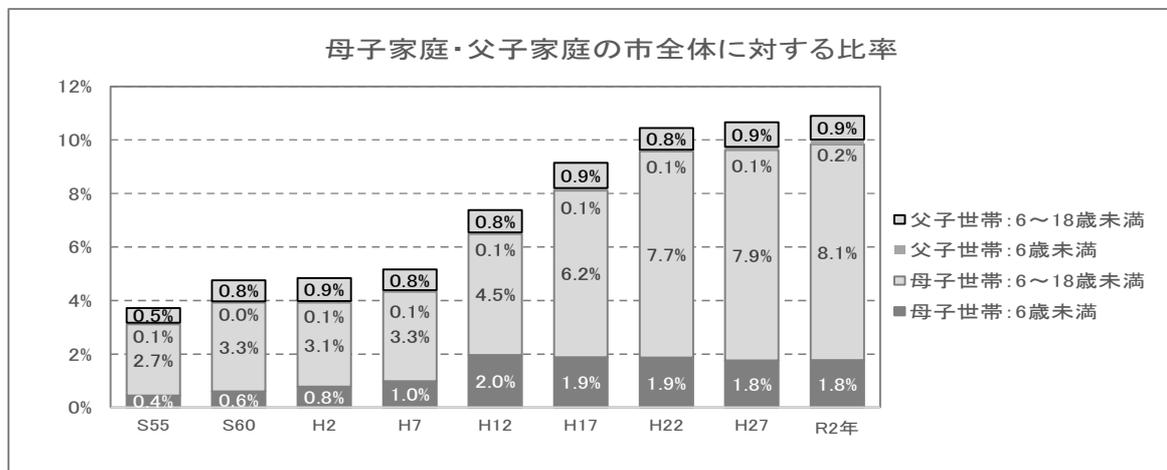
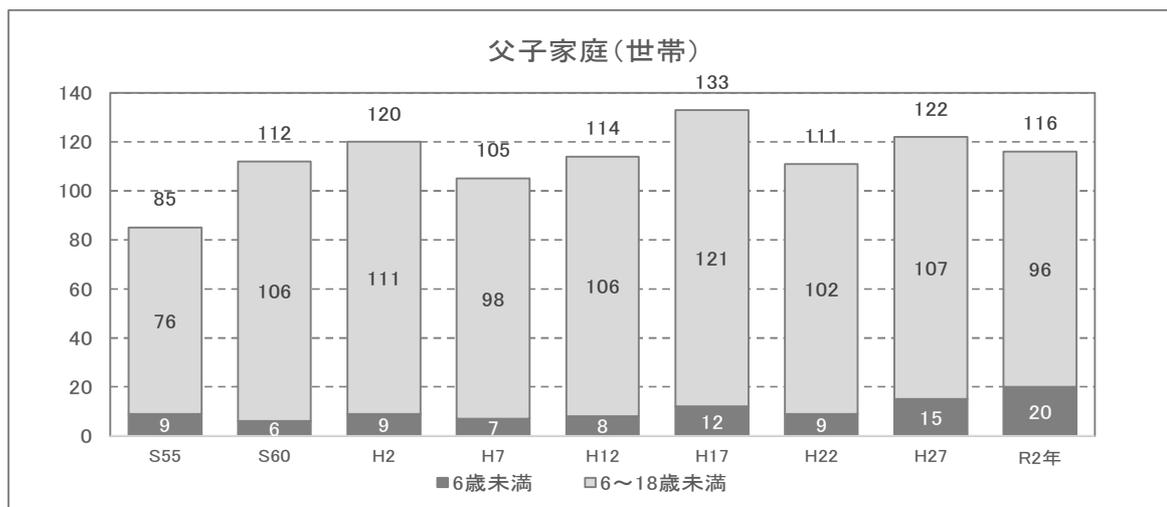
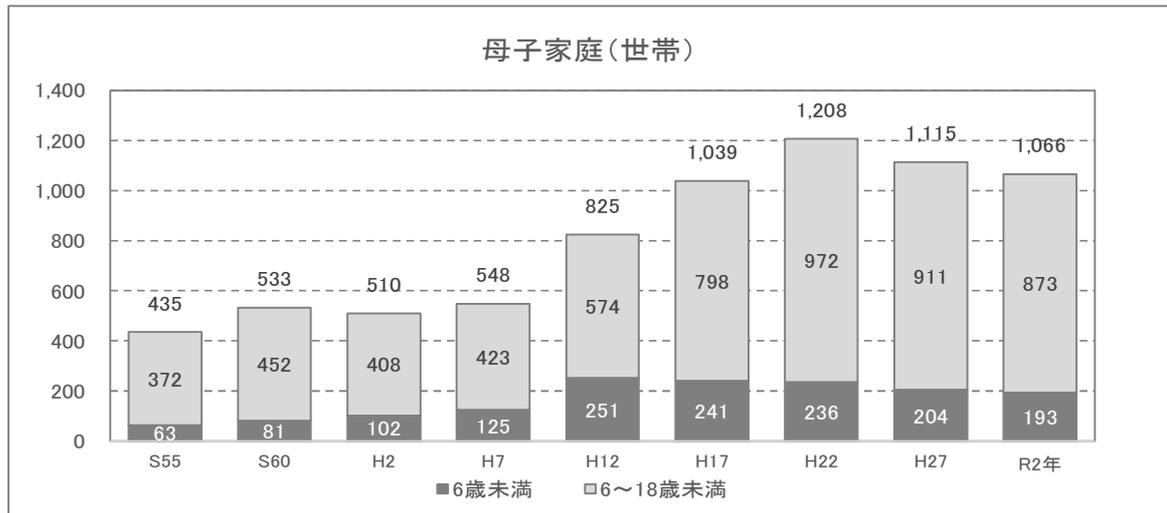
18歳未満の子どものいる世帯数は減少傾向で推移しています。世帯類型をみると、三世代の世帯数は大幅に減少し、令和2年の核家族世帯が子どものいる世帯全体に占める割合が89%と大半を占めます。



資料：国勢調査

(2) ひとり親世帯の推移

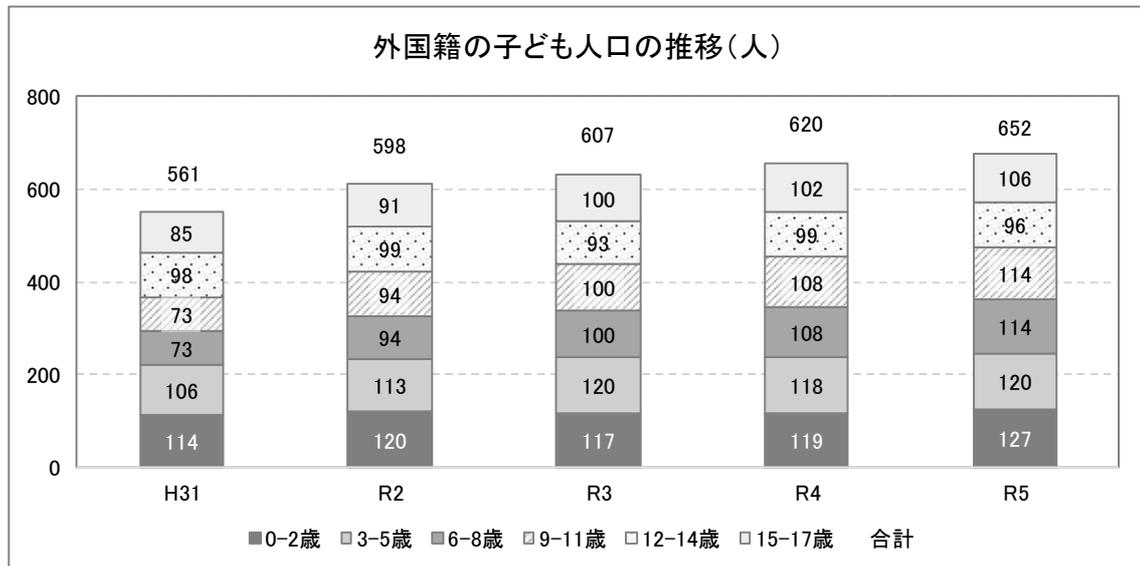
母子家庭世帯は平成22年までは増加傾向でしたが、その後減少傾向に転じています。一方、父子家庭世帯数はほぼ横ばいで推移しています。令和2年では、父子家庭世帯数が母子家庭世帯数の1割程度と少なくなっています。また母子家庭、父子家庭ともに6～18歳未満の子どもがいる世帯数の割合が8割以上を占めます。なお、18歳未満の子どもがいる母子家庭・父子家庭の合計が市全体に対する割合は、令和2年度で約11%となっています。



資料：国勢調査

(3) 外国籍の18歳未満の子ども人口の推移

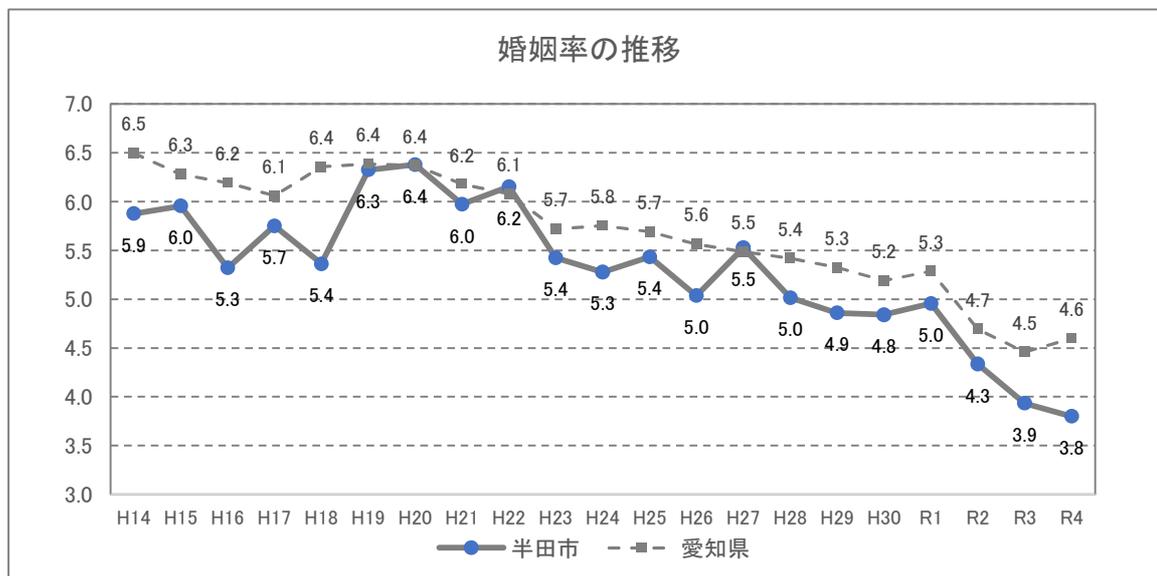
外国籍の子ども人口は増加傾向で推移しており、令和5年では652人となっています。これは、本市全体18,003人の3.6%に相当します。



資料：住民基本台帳人口（各年4月1日現在）

(3) 婚姻率の推移

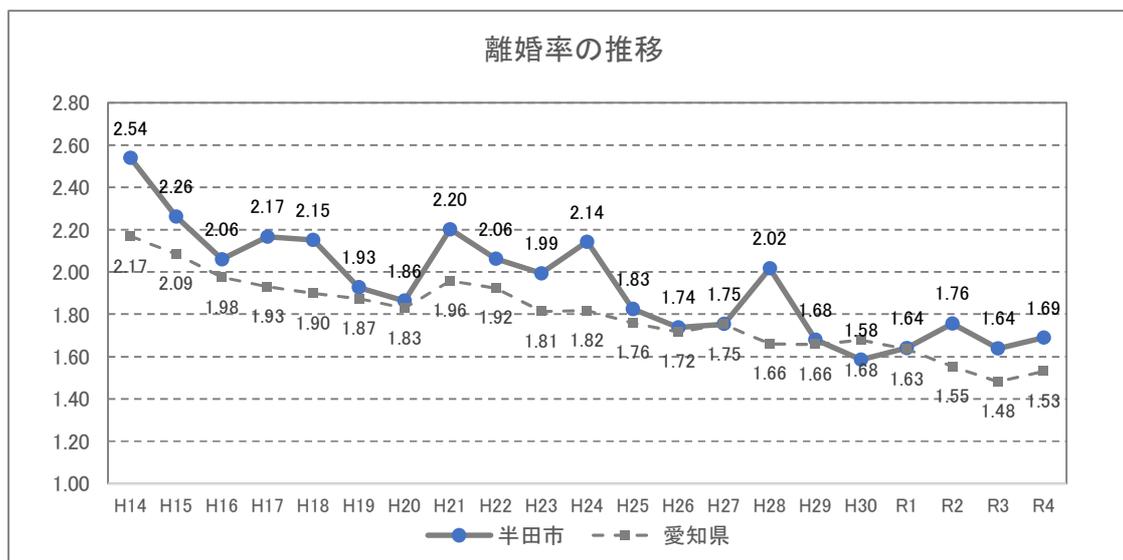
婚姻率は減少傾向が続いています。本市の婚姻率は全体的に愛知県を下回って推移しています。



資料：愛知県衛生年報、愛知県人口動態統計

(4) 離婚率の推移

離婚率は全体的には愛知県よりも高い水準で推移しています。



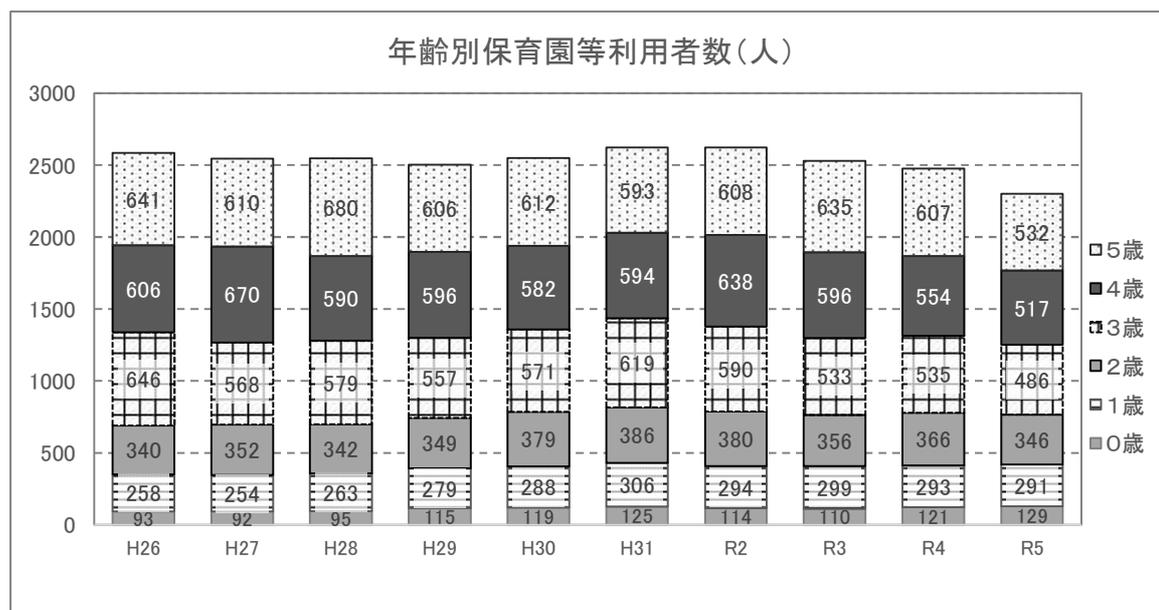
資料：愛知県衛生年報、愛知県人口動態統計

3. 子育て支援の状況

(1) 施設（保育園等、幼稚園、学校）利用児童者数の推移

【保育園等】

本市には、公立・民間のこども園、公立・民間の保育園、民間の小規模保育事業所があり、これら保育園等の入園児童数は、令和5年度には2,301人で、ピーク時となった令和2年度の2,624人と比べて323人減少しています。



	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5
0歳	93	92	95	115	119	125	114	110	121	129
1歳	258	254	263	279	288	306	294	299	293	291
2歳	340	352	342	349	379	386	380	356	366	346
3歳	646	568	579	557	571	619	590	533	535	486
4歳	606	670	590	596	582	594	638	596	554	517
5歳	641	610	680	606	612	593	608	635	607	532
合計	2,584	2,546	2,549	2,502	2,551	2,623	2,624	2,529	2,476	2,301

資料：半田市幼児保育課

※こども園の短時間利用児は除く

各保育園等の入園児数の推移は以下の通りです。

各保育園等の入園児数の推移（各年度 10 月 1 日現在）

園名		H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5
公立 保育園・ こども園	岩滑こども園（長時間）	119	122	130	127	132	130	135	134	143	135
	岩滑こども園（短時間）	(39)	(32)	(31)	(33)	(29)	(32)	(33)	(34)	(31)	(37)
	板山こども園（長時間）	125	148	145	146	145	154	155	145	145	141
	板山こども園（短時間）		(38)	(36)	(39)	(39)	(48)	(41)	(50)	(40)	(30)
	認定こども園 亀崎幼稚園（長時間）	-	10	14	33	42	54	53	57	51	56
	認定こども園 亀崎幼稚園（短時間）	-	(107)	(118)	(98)	(94)	(87)	(92)	(94)	(109)	(81)
	葵保育園	150	142	142	135	133	137	141	129	117	115
	有脇保育園	105	107	110	106	106	97	84	74	72	75
	平地保育園	185	181	184	185	178	176	173	175	174	175
	乙川保育園	187	196	192	179	171	179	188	184	197	181
	白山保育園	71	66	70	63	78	79	87	86	85	90
	東保育園	195	173	175	163	176	189	172	155	144	160
	修農保育園	47	53	59	50	59	60	58	50	46	50
	横川保育園	169	161	159	167	161	159	166	152	160	159
	高根保育園	143	122	117	100	94	83	80	89	100	99
	花園保育園	182	176	190	171	171	180	187	173	154	-
	協和保育園	112	120	114	100	100	91	78	85	85	82
	岩北保育園	110	107	99	103	121	121	121	115	92	88
清城保育園	145	137	131	122	135	137	150	130	113	107	
小計	2,045	2,021	2,031	1,950	2,002	2,026	2,028	1,933	1,878	1,713	
民間 保育園 こども園	同胞園保育所	255	256	248	238	246	270	276	280	277	274
	のぞみが丘保育園	21	20	20	50	50	49	48	50	50	50
	みらい保育園	92	93	91	75	75	75	78	78	78	78
	あさひ保育園	36	34	36	36	36	35	36	35	35	35
	住吉こども園（長時間）	135	122	123	119	106	100	89	83	88	81
	住吉こども園（短時間）				(3)	(11)	(15)	(15)	(16)	(14)	(90)
	にじいろ保育園花園	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
小計	539	525	518	518	513	529	527	526	528	518	
小規模	花・はなベビーハウス	-	-	-	16	18	16	18	18	18	18
	おひさま保育園	-	-	-	18	18	18	16	18	17	17
	わかば保育園	-	-	-	-	-	17	17	17	18	17
	くれよん保育園	-	-	-	-	-	17	18	17	17	18
小計	0	0	0	34	36	68	69	70	70	70	
合計	2,584	2,546	2,549	2,502	2,551	2,623	2,624	2,529	2,476	2,301	

資料：半田市幼児保育課

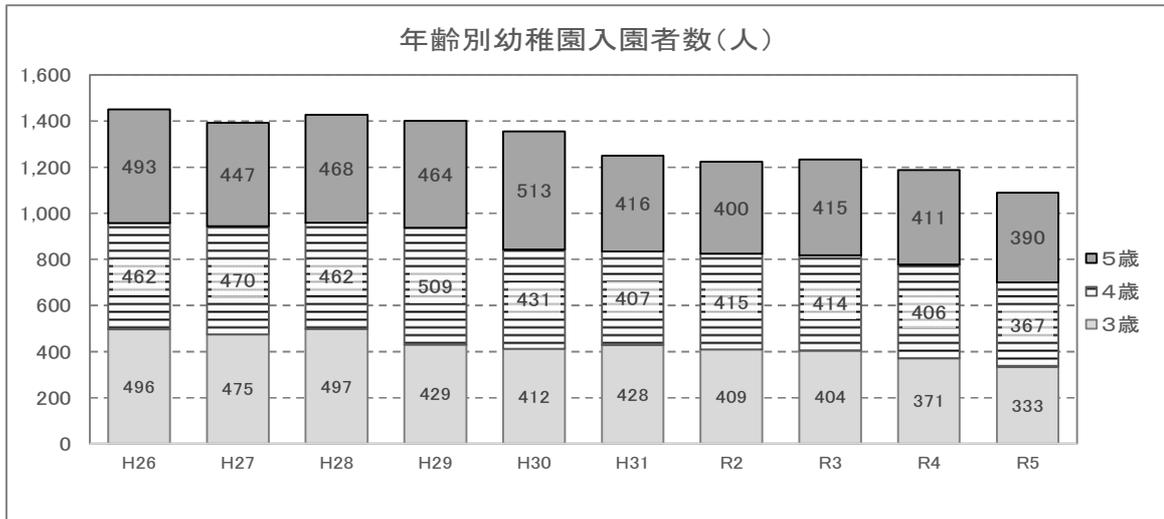
※岩滑こども園、板山こども園、亀崎幼稚園、住吉こども園の（ ）は短時間利用児数。合計には含んでいない

※板山こども園の H26 年度の実績は旧板山保育園の入園児数

※住吉こども園の H26～28 年度の実績は旧住吉保育園の入園児数

【幼稚園等】

本市には、公立幼稚園6園、民間幼稚園が3園あります。幼稚園の入園者数は、令和5年度は1,155人と減少傾向にあります。



	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5
3歳	506	496	516	445	434	454	436	436	393	353
4歳	476	487	483	525	436	433	439	438	435	385
5歳	508	470	480	474	525	437	422	441	432	417
合計	1,490	1,453	1,479	1,444	1,395	1,324	1,297	1,315	1,260	1,155

各幼稚園の入園児数の推移（各年度5月1日現在）

	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5
岩滑こども園（短時間）	39	32	30	31	28	28	29	30	27	33
岩滑こども園（長時間）	(79)	(80)	(89)	(86)	(88)	(129)	(138)	(135)	(143)	(136)
板山こども園（短時間）	36	36	33	37	41	45	44	52	45	32
板山こども園（長時間）		(112)	(108)	(108)	(103)	(153)	(150)	(144)	(139)	(137)
半田幼稚園	99	105	110	90	69	49	57	55	60	60
乙川幼稚園	188	174	187	181	178	161	143	140	129	113
認定こども園 亀崎幼稚園（短時間）	111	110	119	102	94	94	90	105	117	86
認定こども園 亀崎幼稚園（長時間）		(7)	(11)	(28)	(39)	(45)	(54)	(47)	(39)	(52)
成岩幼稚園	107	94	91	81	69	64	65	69	64	58
宮池幼稚園	138	132	130	123	110	93	86	86	73	54
花園幼稚園	99	107	92	99	86	75	72	71	75	62
公立幼稚園計	817	790	792	744	675	609	586	608	590	498
長根幼稚園	316	323	335	333	324	324	323	323	308	303
つばさ幼稚園	357	340	352	365	387	376	374	368	348	340
住吉こども園（短時間）	-	-	-	2	9	15	14	16	14	14
住吉こども園（長時間）		-	-	(85)	(73)	(67)	(67)	(67)	(68)	(65)
私立幼稚園計	673	663	687	700	720	715	711	707	670	657
合計	1,490	1,453	1,479	1,444	1,395	1,324	1,297	1,315	1,260	1,155

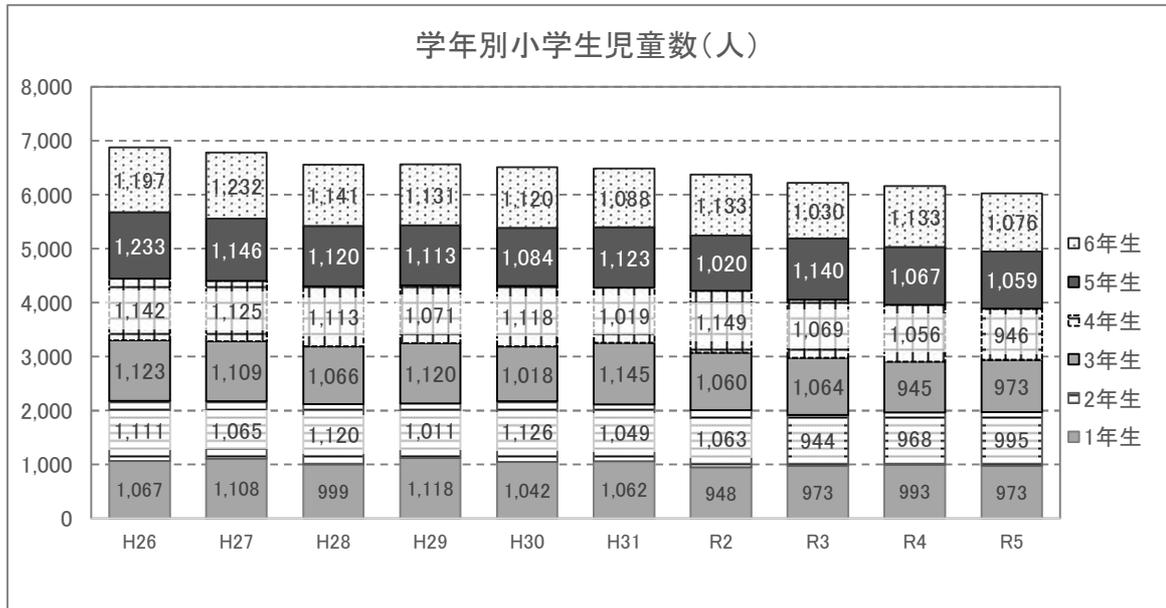
資料：半田市教育委員会、半田市幼児保育課

※岩滑こども園、板山こども園、亀崎幼稚園、住吉こども園の（ ）は短時間利用児数。合計には含んでいない

※板山こども園のH26は旧板山幼稚園の入園児数

【小学校】

本市には、小学校が13校あります。令和5年度は5,997人で減少傾向にあります。



	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5
1年生	1,067	1,108	999	1,118	1,042	1,062	948	972	993	973
2年生	1,111	1,065	1,120	1,011	1,126	1,048	1,062	944	964	994
3年生	1,123	1,109	1,066	1,120	1,018	1,141	1,057	1,061	942	968
4年生	1,142	1,125	1,113	1,071	1,118	1,017	1,141	1,064	1,052	942
5年生	1,233	1,146	1,120	1,113	1,084	1,114	1,017	1,131	1,063	1,051
6年生	1,197	1,232	1,141	1,131	1,120	1,078	1,123	1,023	1,123	1,069
合計	6,873	6,785	6,559	6,564	6,508	6,460	6,348	6,195	6,137	5,997

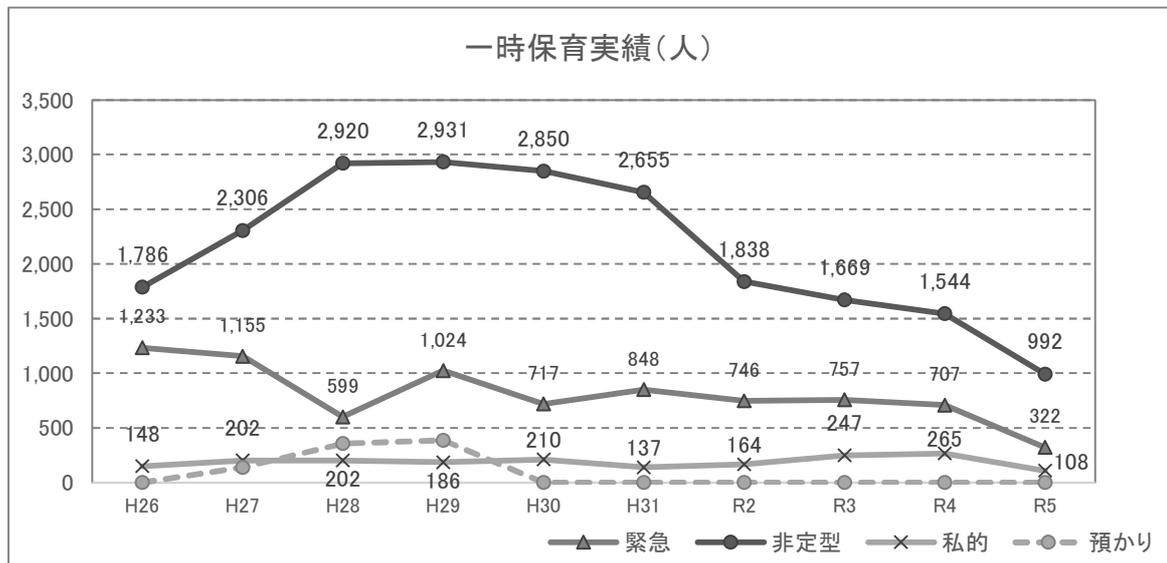
各小学校の児童数の推移（各年度5月1日現在）

	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5
半田小学校	438	434	420	447	445	436	418	410	393	365
さくら小学校	337	322	306	319	317	316	311	288	290	256
岩滑小学校	426	408	395	406	397	413	418	427	432	433
雁宿小学校	490	475	460	434	417	418	420	427	431	449
乙川小学校	568	548	535	537	558	547	548	574	566	571
横川小学校	630	620	581	590	606	593	580	554	562	539
乙川東小学校	476	467	481	476	495	522	514	514	522	519
亀崎小学校	819	822	766	730	666	640	617	560	521	507
有脇小学校	150	147	140	152	147	162	157	149	152	130
成岩小学校	609	621	622	626	610	601	600	557	544	526
宮池小学校	784	769	752	754	754	762	734	748	721	711
板山小学校	316	325	321	326	330	294	299	296	309	299
花園小学校	830	827	780	767	766	756	732	691	694	692
合計	6,873	6,785	6,559	6,564	6,508	6,460	6,348	6,195	6,137	5,997

資料：半田市教育委員会

(2) 一時保育

本市の一時保育の利用状況は、令和4年度で2,516人となり、平成29年度の4,526人をピークに近年減少傾向にあります。令和4年度の内訳をみると、「非定型保育」が1,544人と最も多く、次いで「緊急一時保育」が707人、「私的保育サービス」が165人となっています。



	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5
緊急	1,233	1,155	599	1,024	717	848	746	757	707	322
非定型	1,786	2,306	2,920	2,931	2,850	2,655	1,838	1,669	1,544	992
私的	148	202	202	186	210	137	164	247	265	108
預かり	0	137	355	385	0	0	0	0	0	0
合計	3,167	3,800	4,076	4,526	3,777	3,640	2,748	2,673	2,516	1,422

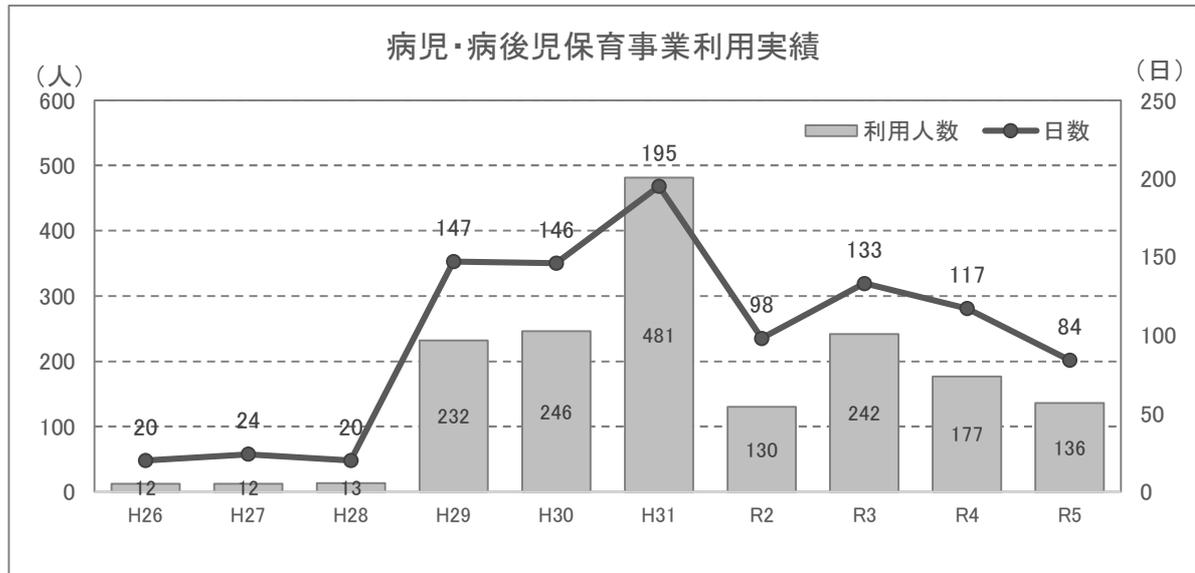
資料：半田市幼児保育課

※令和5年度は9月末現在。延べ利用人数

(3) 病児・病後児保育

本市の病児保育・病後児保育は、平成 28 年度までは半田同胞園にて病後児保育を実施していましたが、平成 29 年度から半田市げんきの芽にて病気の治療中または病気の回復期の児童を保育する病児保育を実施しています。

本市の病児保育の利用状況は、平成 31 年度に 481 人、195 日と増加しましたが、以降は減少しており令和 4 年度は 177 人、117 日となっています。



		H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5
病後児保育	人	12	12	13							
半田同胞園	日	20	24	20							
病児保育	人				232	246	481	130	242	177	136
げんきの芽	日				147	146	195	98	133	117	84

資料：半田市幼児保育課

※令和 5 年度は 9 月末現在。延べ利用人数・延べ日数

(4) 待機児童の状況

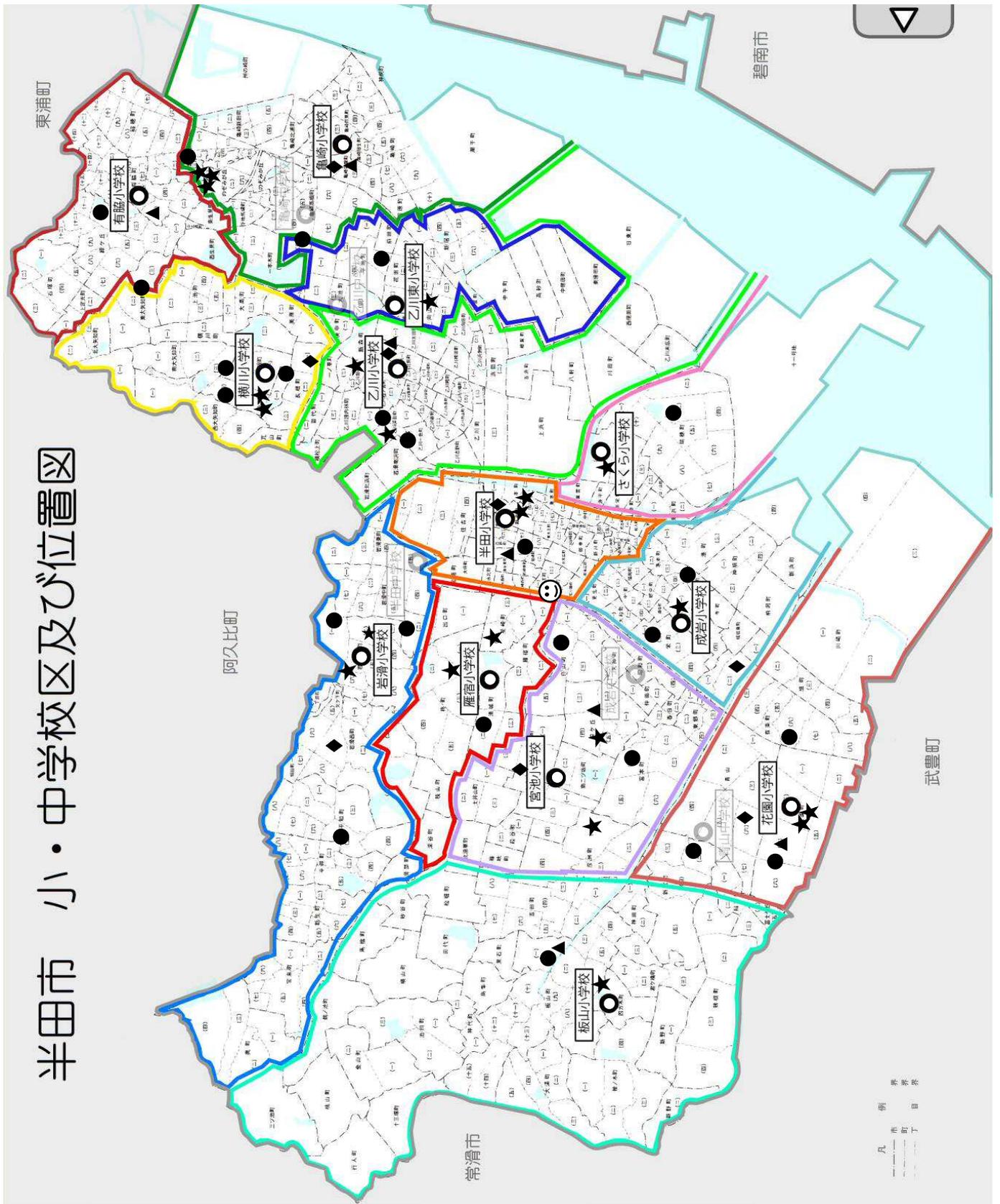
本市の待機児童の状況は、年度当初はなく、年度途中で低年齢児において発生する傾向にあります。令和5年度は27人に増加しています。

年度		H26		H27		H28		H29		H30		H31		R2		R3		R4		R5	
月		4月	10月	4月	10月	4月	10月	4月	10月	4月	10月										
待機児童数		0	6	0	8	0	7	0	17	0	3	0	9	0	0	0	16	0	5	0	27
内 訳	0歳児	0	6	0	8	0	7	0	6	0	3	0	1	0	0	0	16	0	5	0	24
	1歳児	0	0	0	0	0	0	0	11	0	0	0	8	0	0	0	0	0	0	0	3
	2歳児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

資料：半田市幼児保育課

(5) 子育て支援に関する施設

各小学校区には、保育園、幼稚園、児童センター、放課後児童クラブといった子育て支援に関する施設が立地しており、その分布は以下の通りです。



半田市 小・中学校区及び位置図

小学校区		施設一覧	小学校区		施設一覧
半田	●	住吉こども園	さくら	●	東保育園
	◆	半田幼稚園		★	学童ほーむ MAKANA
	▲	半田児童センター			
	★	半田学童保育所 にこにこクラブ			
	★	こどもの家 トレスト			
岩滑	●	岩滑こども園	雁宿	●	清城保育園
	●	岩滑北保育園		★	学童保育 ペリパス
	●	修農保育園		★	学童ほーむ ともだち
	◆	つばさ幼稚園			
	★	りんごクラブ			
乙川	●	乙川保育園	横川	●	横川保育園
	●	くれよん保育園		●	みらい保育園
	◆	乙川幼稚園		●	あさひ保育園
	▲	乙川児童センター		●	おひさま保育園
	★	乙川学童保育所 かも池クラブ		◆	長根幼稚園
	★	学童ほーむ あすなる		★	横川学童保育所 ひまわりクラブ
			★	横川学童保育所 あさがおクラブ	
乙川東	●	平地保育園	亀崎	●	高根保育園
	★	放課後児童クラブ こどものいえ		●	のぞみが丘保育園
				◆	亀崎幼稚園
				▲	亀崎児童センター
		★		学童保育 第1土っ子クラブ	
		★		学童保育 第2土っ子クラブ	
有脇	●	有脇保育園	成岩	●	協和保育園
	▲	有脇児童館		●	半田同胞園保育所
	★	学童保育 第3土っ子クラブ		◆	成岩幼稚園
		★		学童保育所 わたっこハウス	
宮池	●	白山保育園	板山	●	板山こども園
	●	葵保育園		▲	板山ふれあいセンター
	◆	宮池幼稚園		★	放課後児童クラブ 板山
	▲	成岩児童センター			
	★	たいようクラブ			
	★	学童保育所 みんなのき			
花園	●	にじいろ保育園花園		☺	半田市子育て支援センター
	●	花・はなベビーハウス			
	●	わかば保育園			
	◆	花園幼稚園			
	▲	青山児童センター			
	★	花・はな キッズハウス 1st			
★	花・はな キッズハウス 2nd				

【凡例】●保育園、◆幼稚園、▲児童センター、★放課後児童クラブ(委託事業所のみ)

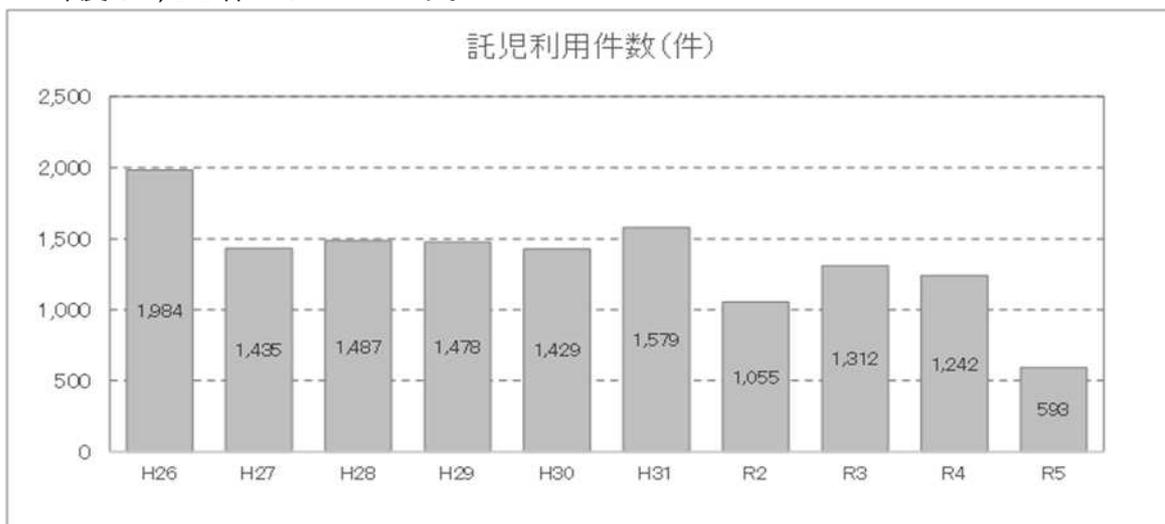
(6) 子育て支援事業

【子育て支援センター「はんだっこ」】

「はんだっこ」は、子育て支援センターで登録をすれば、プレイランドで子どもと一緒に遊ぶことができ、親同士の交流の場にもなります。また、生後6か月から就学前までのお子さんを対象に子育てセンター内の託児室にて一時預かり（託児）を行っています。

【利用状況】

託児の利用件数は、コロナ禍が始まった令和2年度に1,055件まで減少しましたが、令和4年度は1,242件となっています。



小学校区	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5
有脇	12	6	1	13	3	1	11	6	6	2
亀崎	58	59	55	88	43	51	6	30	45	14
乙川東	87	24	39	42	50	156	77	33	25	5
乙川	234	75	68	137	49	59	107	119	27	18
横川	70	28	34	39	31	48	29	102	68	14
さくら	264	101	42	43	63	114	49	78	15	26
半田	379	159	185	189	120	102	167	223	229	87
雁宿	193	159	162	131	145	96	84	105	121	52
岩滑	62	51	71	45	67	89	64	120	109	82
宮池	184	400	456	396	452	369	202	167	225	103
成岩	75	45	181	173	253	339	133	133	103	50
花園	347	309	179	164	128	131	102	173	214	118
板山	19	19	14	18	25	24	24	23	55	22
合計	1,984	1,435	1,487	1,478	1,429	1,579	1,055	1,312	1,242	593

資料：半田市子ども育成課

※令和5年度は9月末現在

【ファミリーサポートセンター】

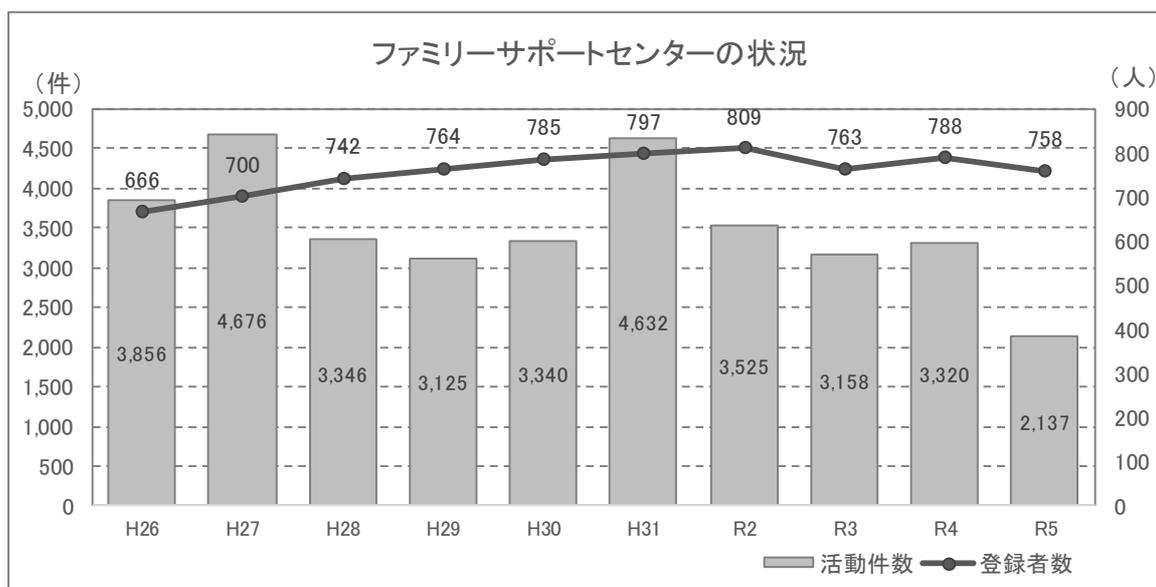
ファミリーサポートセンターは、子育ての手助けを必要としている方（依頼会員）と、手助けができる方（援助会員）とが事前に会員となり、地域での助け合いを行う事業です。

半田市内在住、在勤、在学の0歳～小学校6年生の子どもを持つ保護者が利用できます。

【ファミリーサポートセンターの状況】

活動件数は、平成27年度と平成31年度は4,600件を超えましたが、その他の年は3,000件台で推移しています。

一方、登録者数は、令和2年度の809件がピークとなり、近年は700件台後半で推移しています。



	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5
活動件数 (件)	3,856	4,676	3,346	3,125	3,340	4,632	3,525	3,158	3,320	2,137
登録者数 (人)	666	700	742	764	785	797	809	763	788	758
登録者数内訳	依頼会員 (人)	467	492	521	528	543	545	523	526	490
	援助会員 (人)	107	120	134	148	159	177	163	184	195
	両方 (人)	92	88	87	88	83	87	77	78	73

資料：半田市子ども育成課

※令和5年度の活動件数は令和5年12月末現在、登録者数は令和5年9月末現在

第2章 ニーズ調査結果

1. ニーズ調査概要

(1) 調査の目的

この調査は、令和2年度に策定した「第2期半田市子ども・子育て支援事業計画」が令和6年度をもって計画期間を終えることから、次期計画策定に向けて市内に居住する就学前の子どもがいる世帯及び小学生の子どもがいる世帯を対象に、子育て支援サービスに関する施設やサービスの利用状況や今後も利用意向などを把握するために実施しました。

(2) 調査対象

- ①就学前児童のいる世帯：1,000 世帯
- ②小学生の子どものいる世帯：1,000 世帯

(3) 調査方法

保育園、幼稚園に通っている子どもの世帯、小学生の子どものいる世帯は、保育園、幼稚園、小学校を通じて直接配布、回収を実施した。

市内に居住し就学前の子どもがいる世帯のうち保育園、幼稚園等に通っていない場合は郵送配布、郵送回収を実施した。

なお、直接配布、郵送配布ともにQRコードを読み取ることによりWebで回答することもできるように、回答ページも用意した。

(4) 回答期間

令和5年12月5日(火)～12月19日(火)

(5) 回収率等

	配布数	有効回収数	有効回収率
就学前児童	1,000 (1,000)	639 (673) ※うち Web 回答 222	63.9% (67.3%)
小学生	1,000 (1,000)	748 (886) ※うち Web 回答 219	74.8% (88.6%)

※ () 内は前回の回収状況 (平成30年度調査)

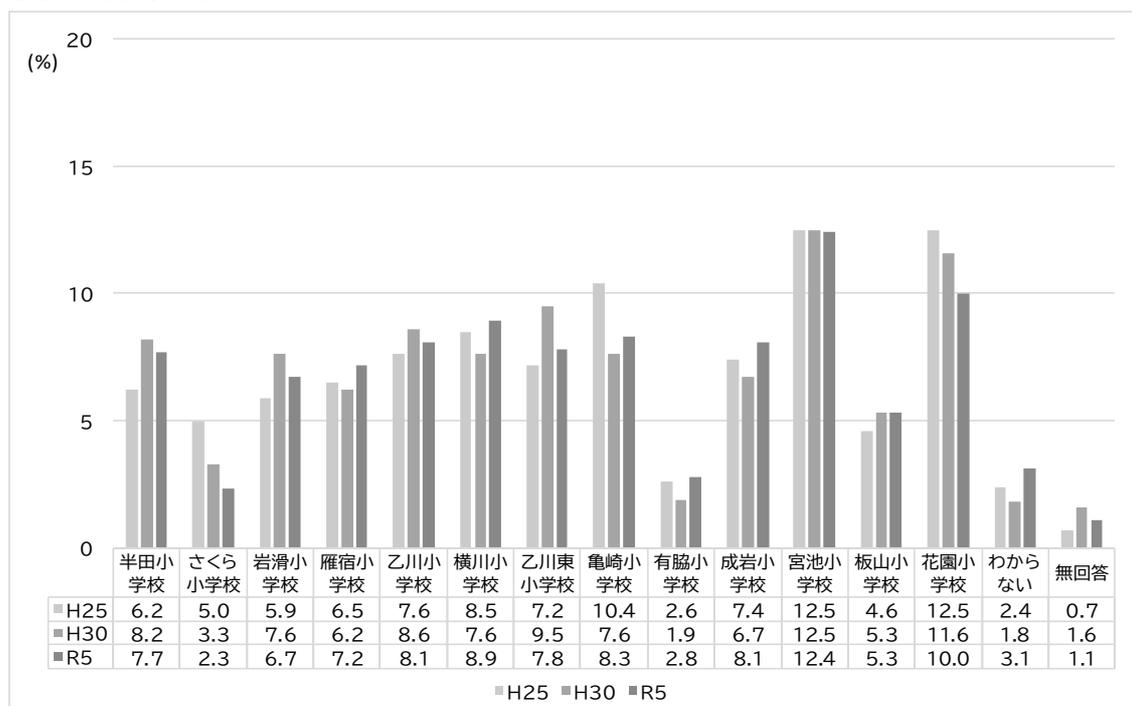
2. ニーズ調査結果概要

(1) 子どもと家族の状況

①小学校区

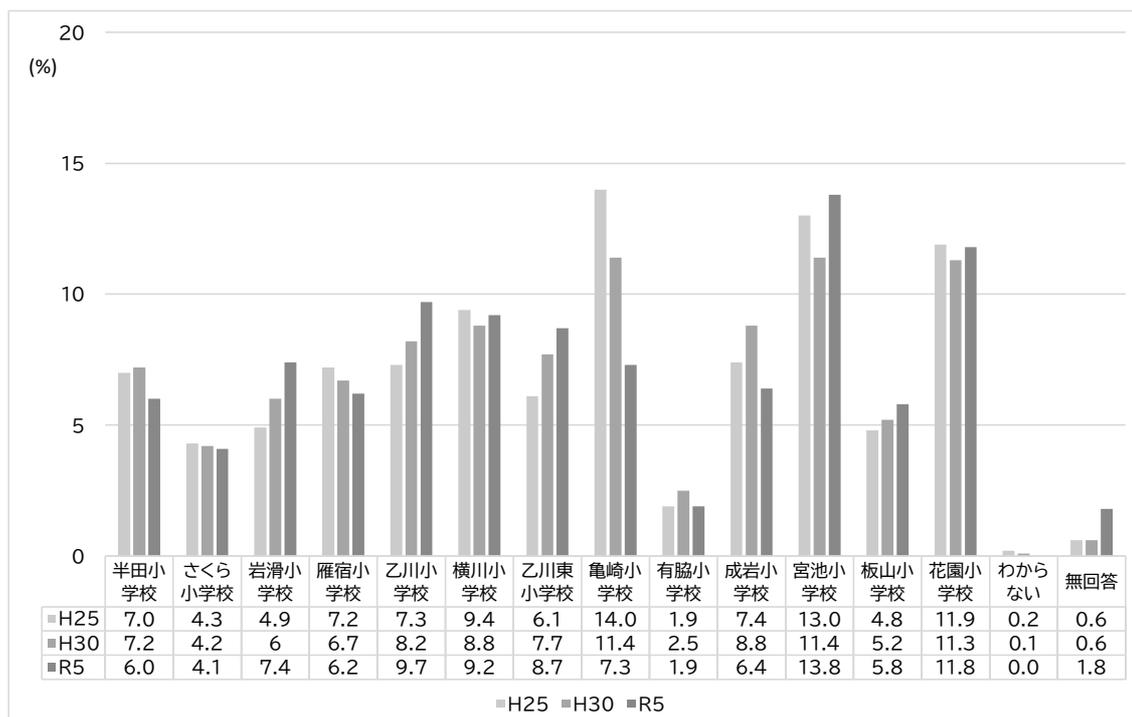
就学前児童

「宮池小学校」が12.4%と最も高く、次いで「花園小学校」(10.0%)、「横川小学校」(8.9%)となっています。



小学生児童

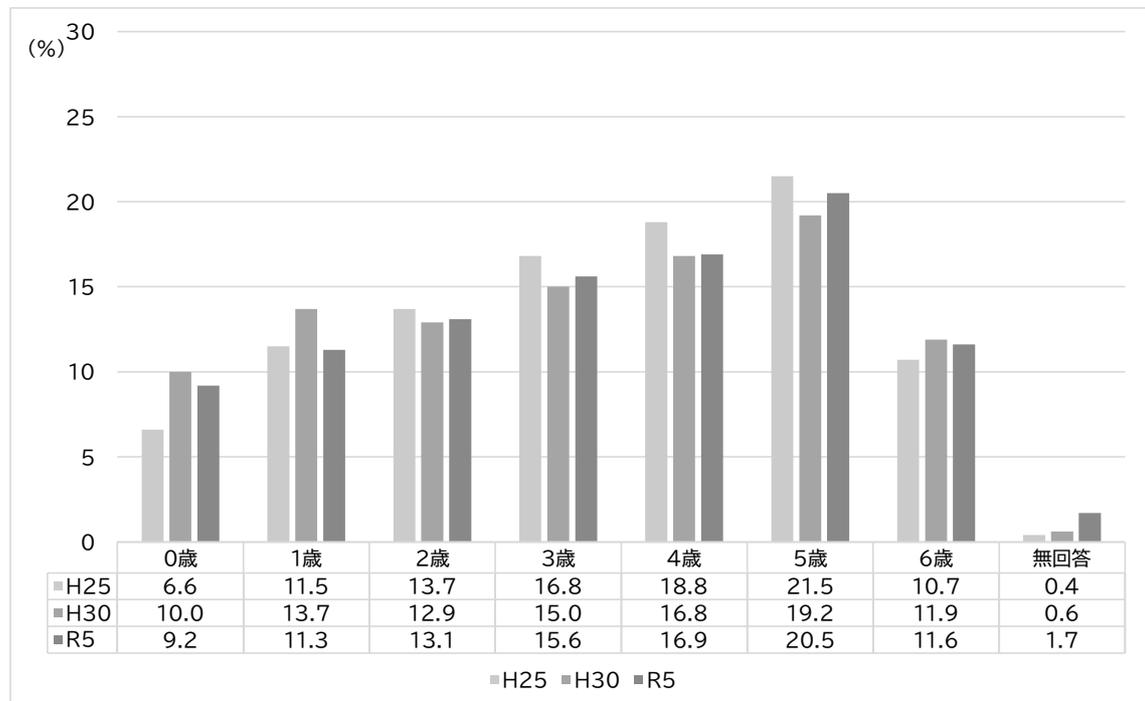
「宮池小学校」が13.8%と最も高く、次いで「花園小学校」(11.8%)、「横川小学校」(9.2%)の順となっています。



②子どもの年齢、学年

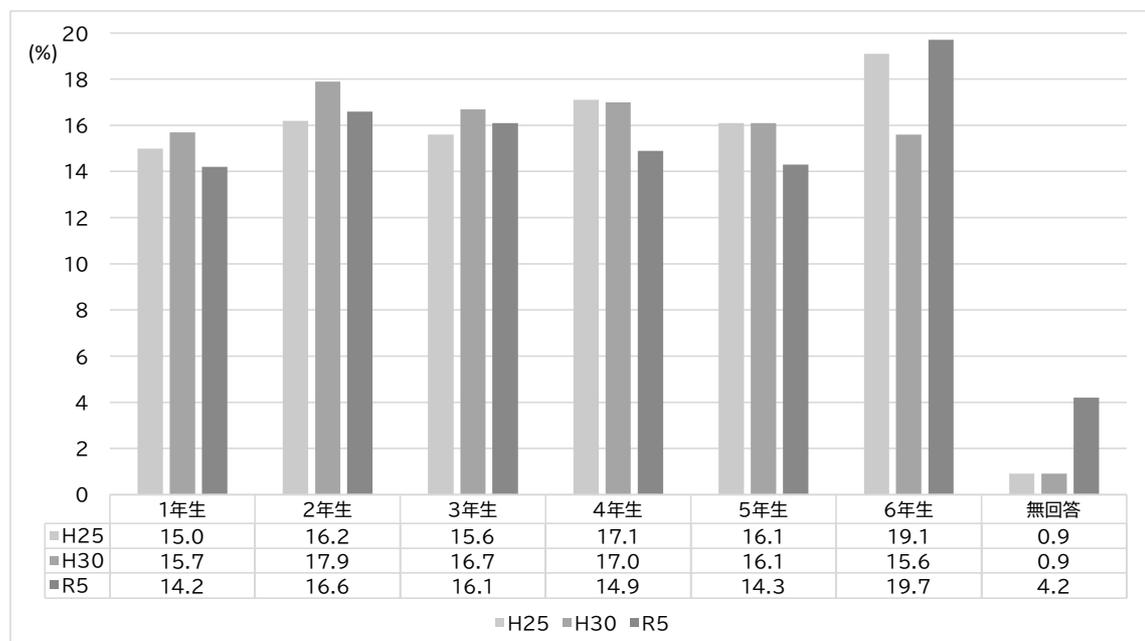
就学前児童

「5歳」が20.5%と最も高く、次いで「4歳」(16.9%)、「3歳」(15.6%)の順となっています。



小学生児童

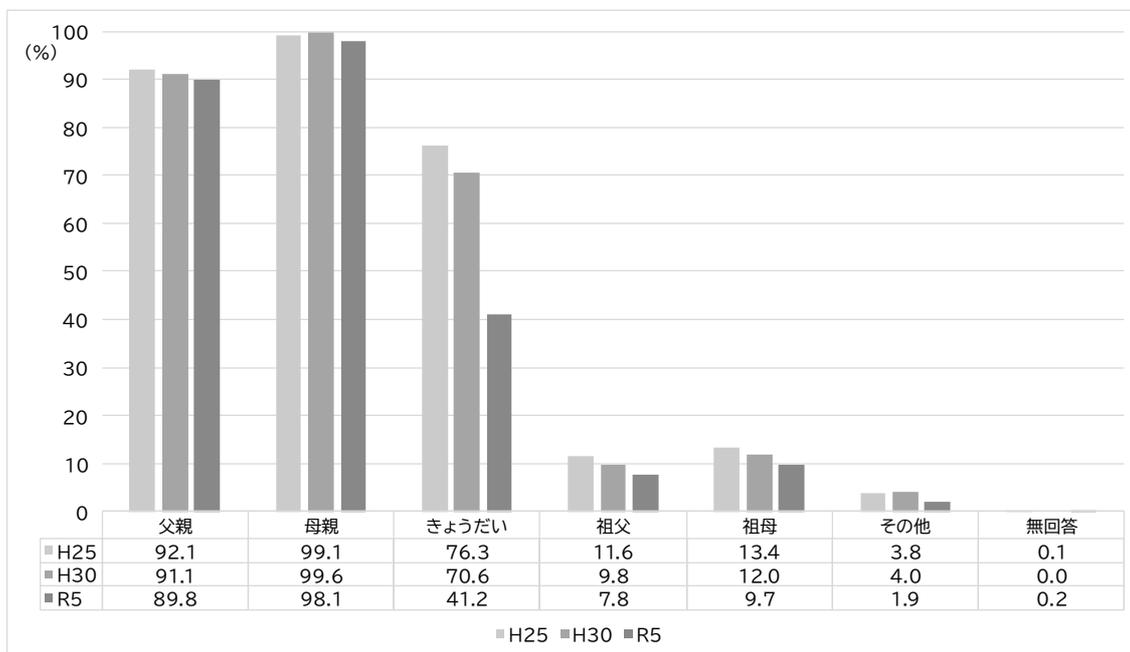
「6年生」が19.7%と最も高く、次いで「2年生」(16.6%)、「3年生」(16.1%)の順となっています。



③同居家族

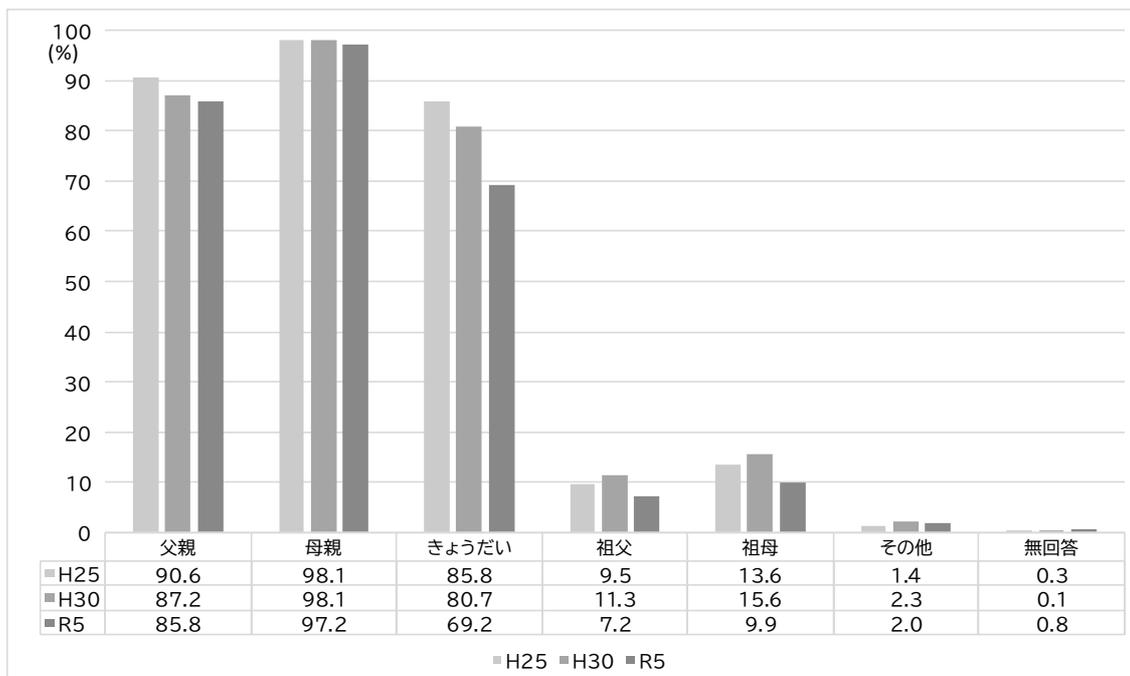
就学前児童

「母親」が98.1%と最も高く、次いで「父親」(89.8%)、「きょうだい」(41.2%)の順となっています。「きょうだい」は平成30年度と比べて約30ポイント減少しています。



小学生児童

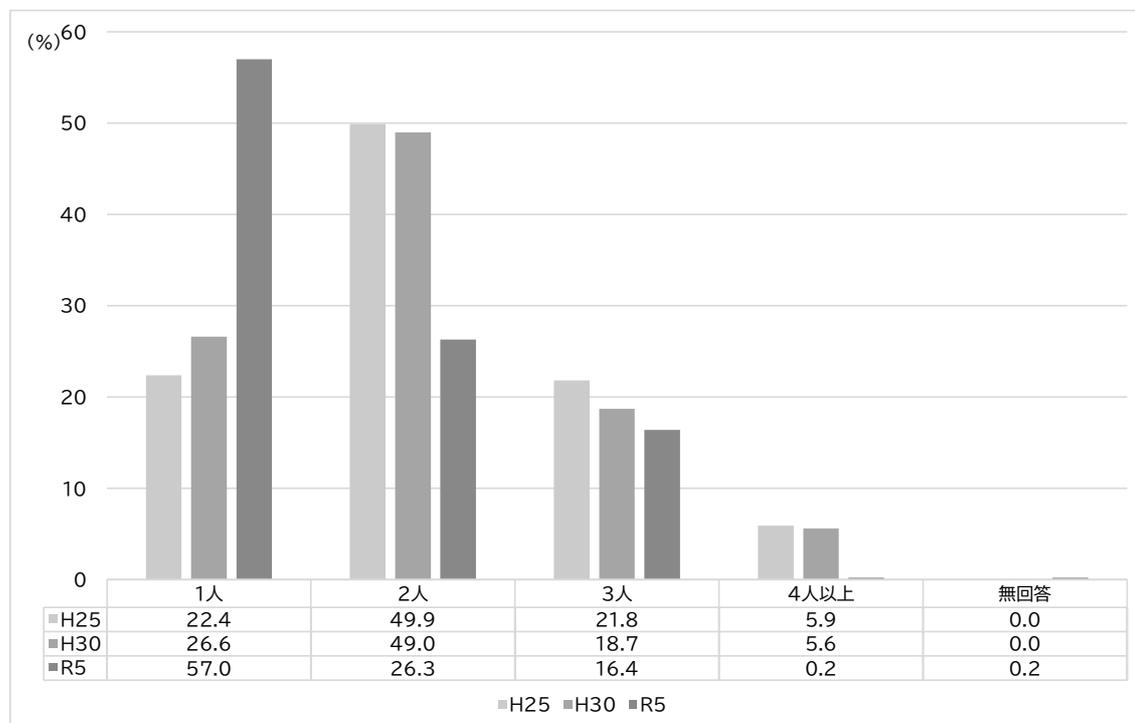
「母親」が97.2%と最も高く、次いで「父親」(85.8%)、「きょうだい」(69.2%)の順となっています。



④子どもの人数

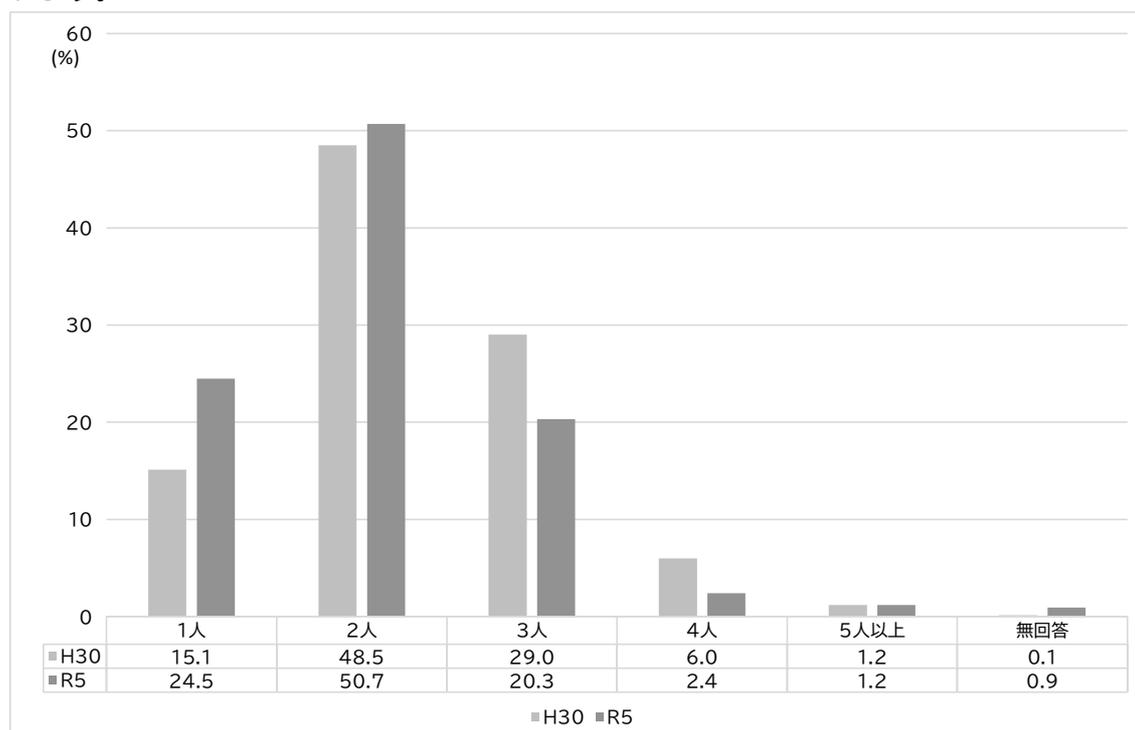
就学前児童

「1人」が57.0%と最も高く、次いで「2人」(26.3%)、「3人」(16.4%)の順となっています。平成25、30年度と比べて「1人」が30.4ポイント増加し、「2人」が22.7ポイント減少しています。



小学生児童

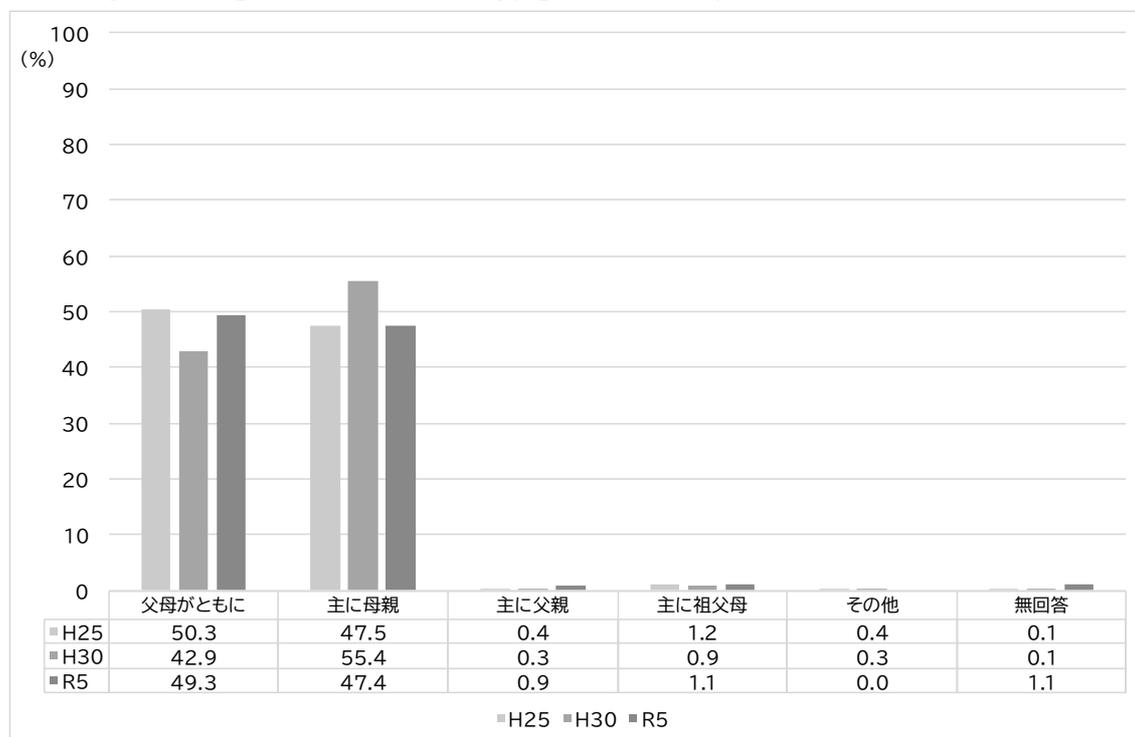
「2人」が50.7%と最も高く、次いで「1人」(24.5%)、「3人」(20.3%)の順となっています。平成30年度と比べて「1人」が9.4ポイント増加し「3人」が8.7ポイント減少しています。



⑤主な保育者

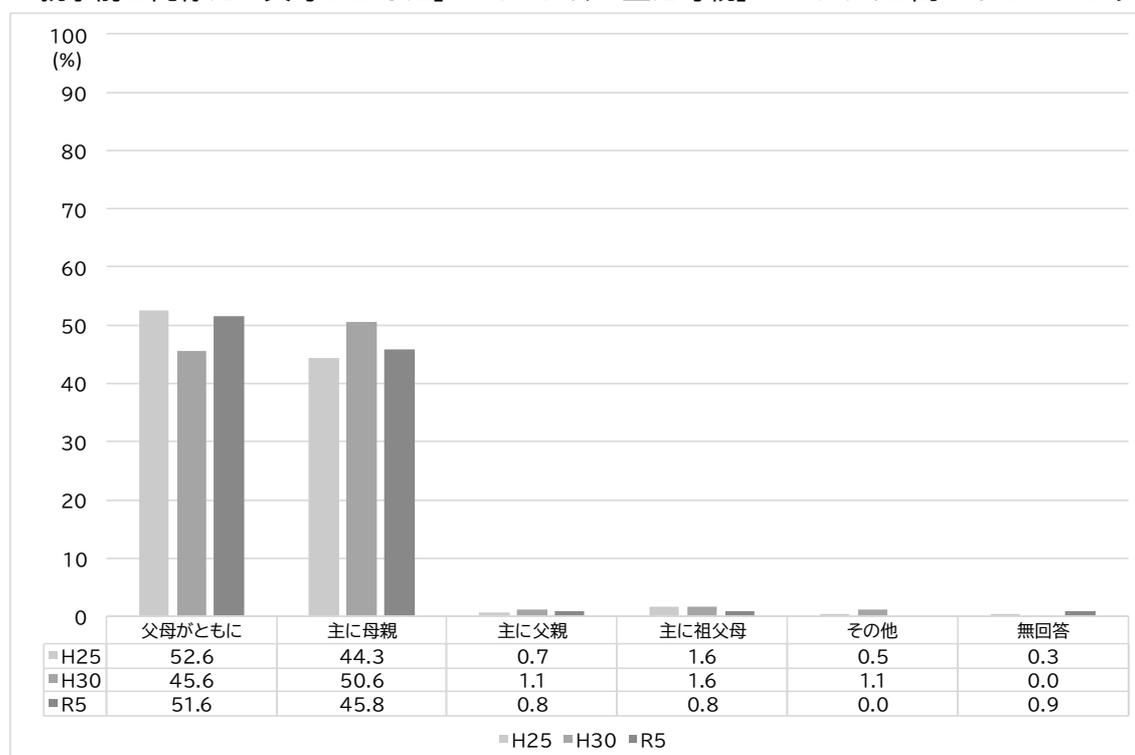
就学前児童

「父母がともに」が49.3%、「主に母親」が47.4%と高くなっています。



小学生児童

就学前と同様に「父母がともに」が51.6%、「主に母親」が45.8%と高くなっています。

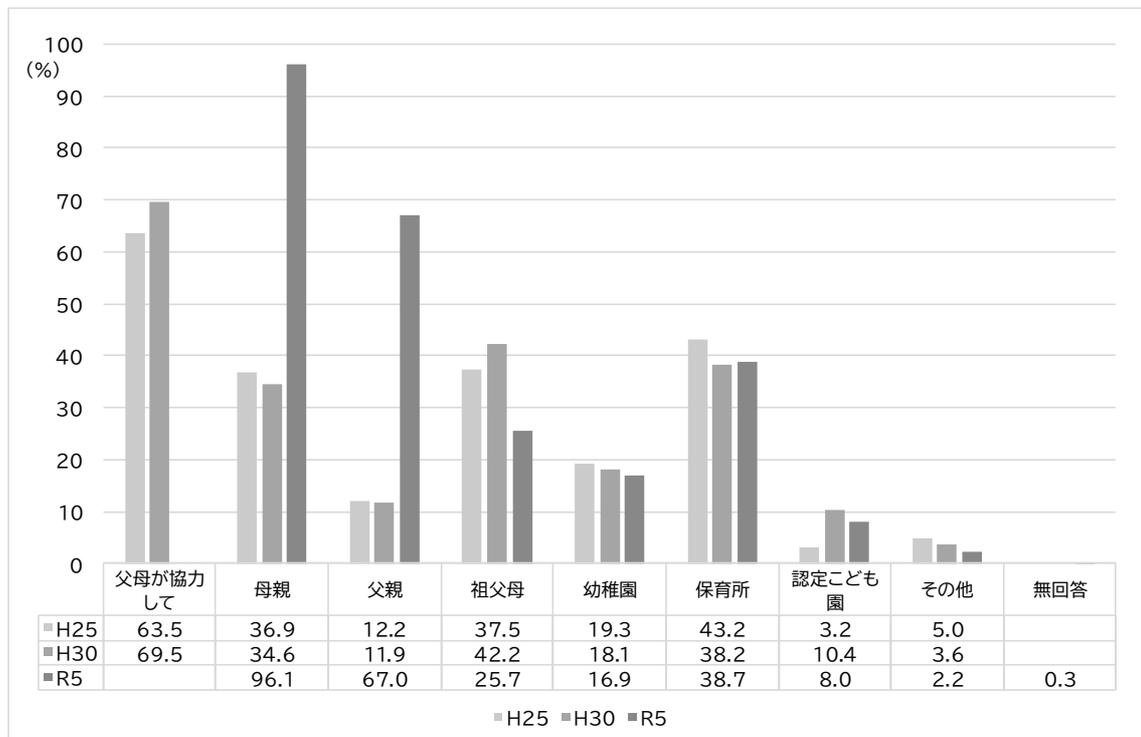


(2) 子育ての環境

①日常的に子育てに関わっている人・施設

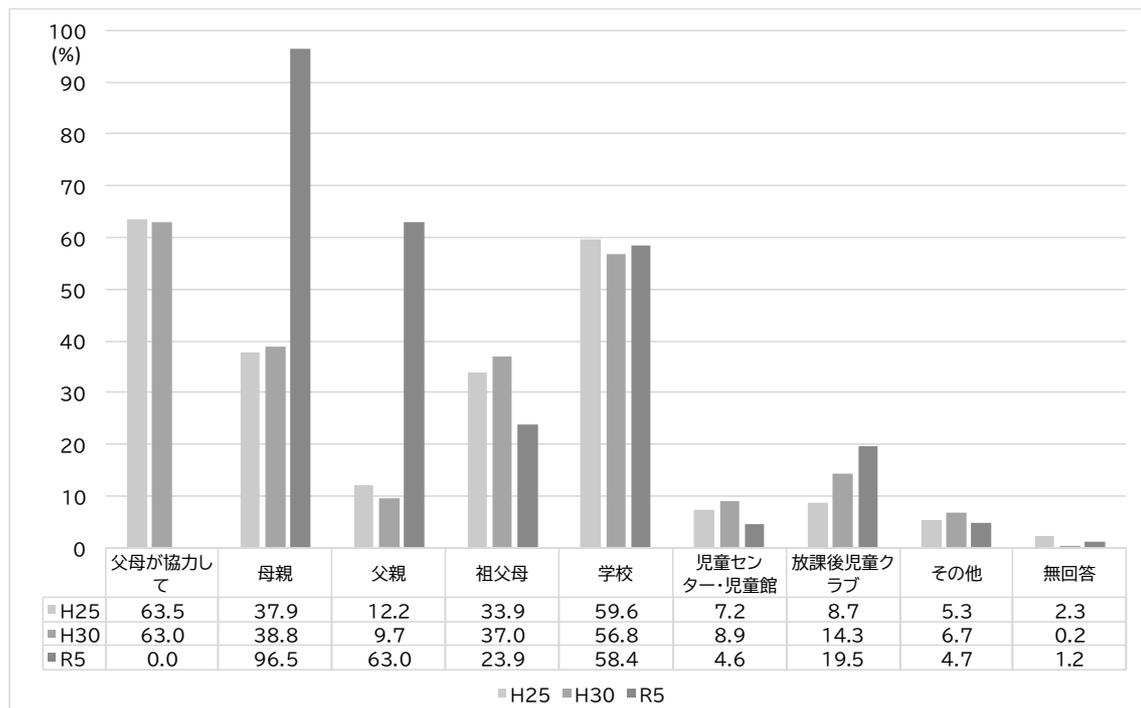
就学前児童

「母親」が96.1%と最も高く、次いで「父親」(67.0%)、「保育所」(38.7%)の順となっています。平成30年度と比べると「祖父母」が約17ポイント減少しています。



小学生児童

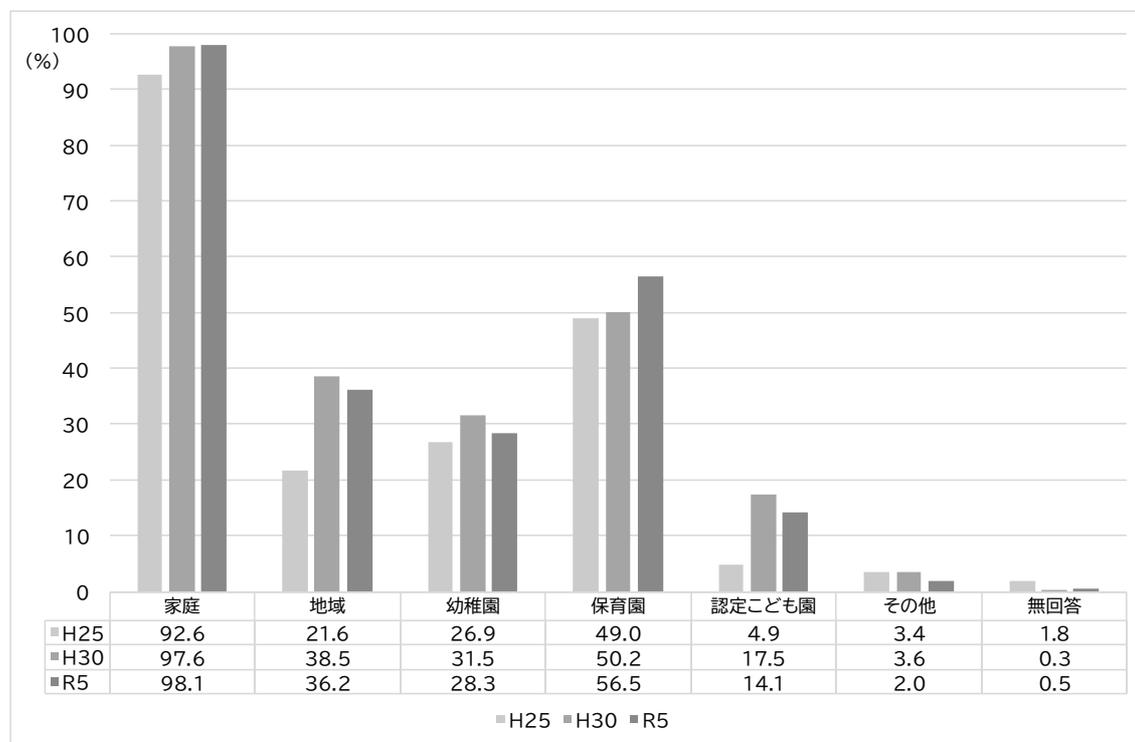
「母親」が96.5%と最も高く、次いで「父親」(63.0%)、「学校」(58.4%)の順となっています。平成30年度と比べると「祖父母」が約13ポイント減少しています。



②子育て・教育に影響すると思われるもの

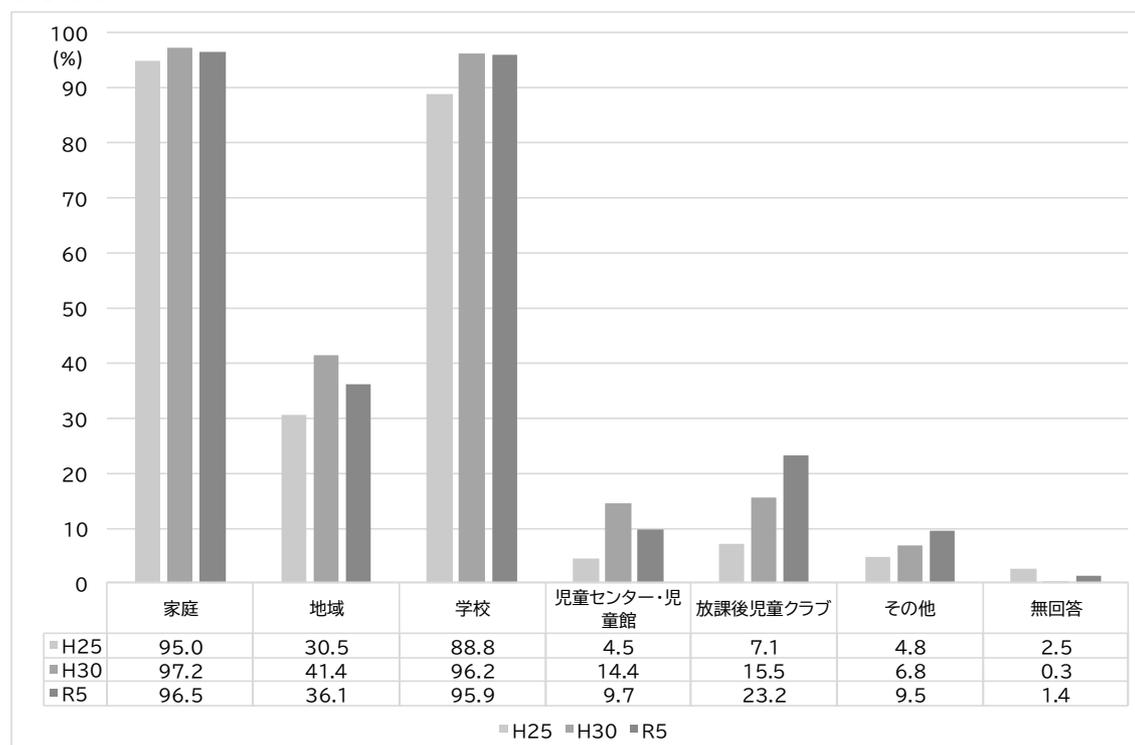
就学前児童

「家庭」が98.1%と最も高く、次いで「保育園」(56.5%)、「地域」(36.2%)の順となっています。平成30年度と比べると「保育園」が約6ポイント増加しています。



小学生児童

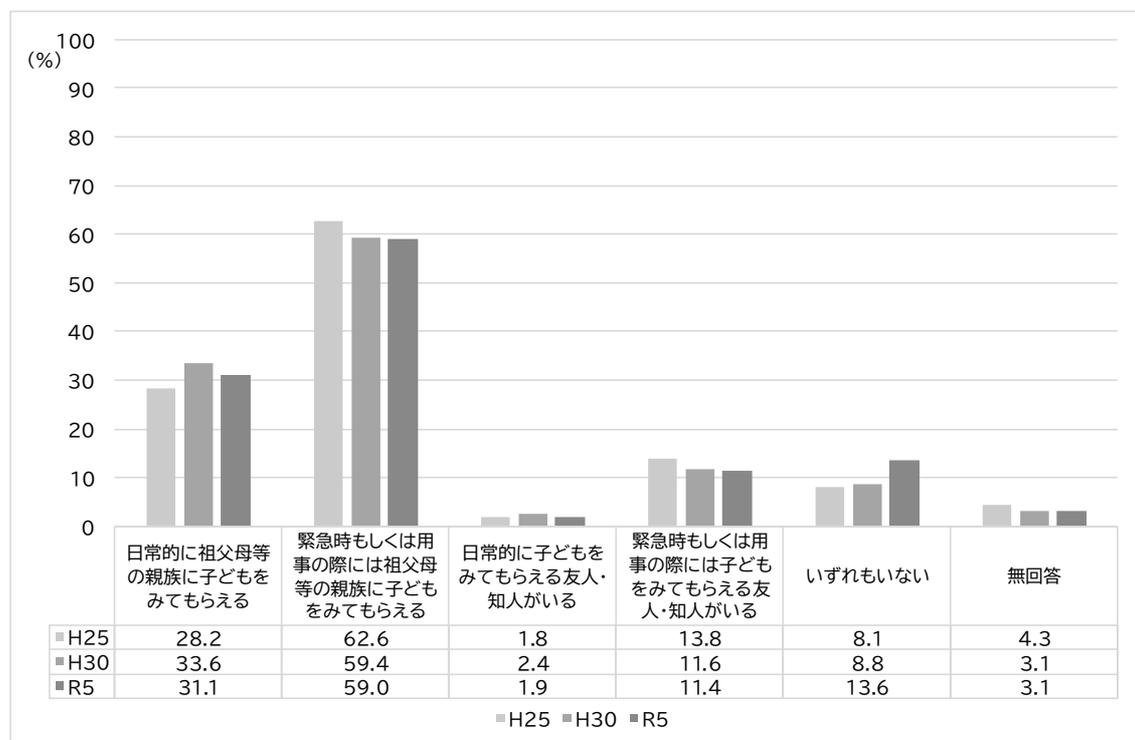
「家庭」が96.5%、「学校」が95.9%と特に高く、次いで「地域」(36.1%)の順となっています。



③子どもをみてもらえる親族・知人の有無

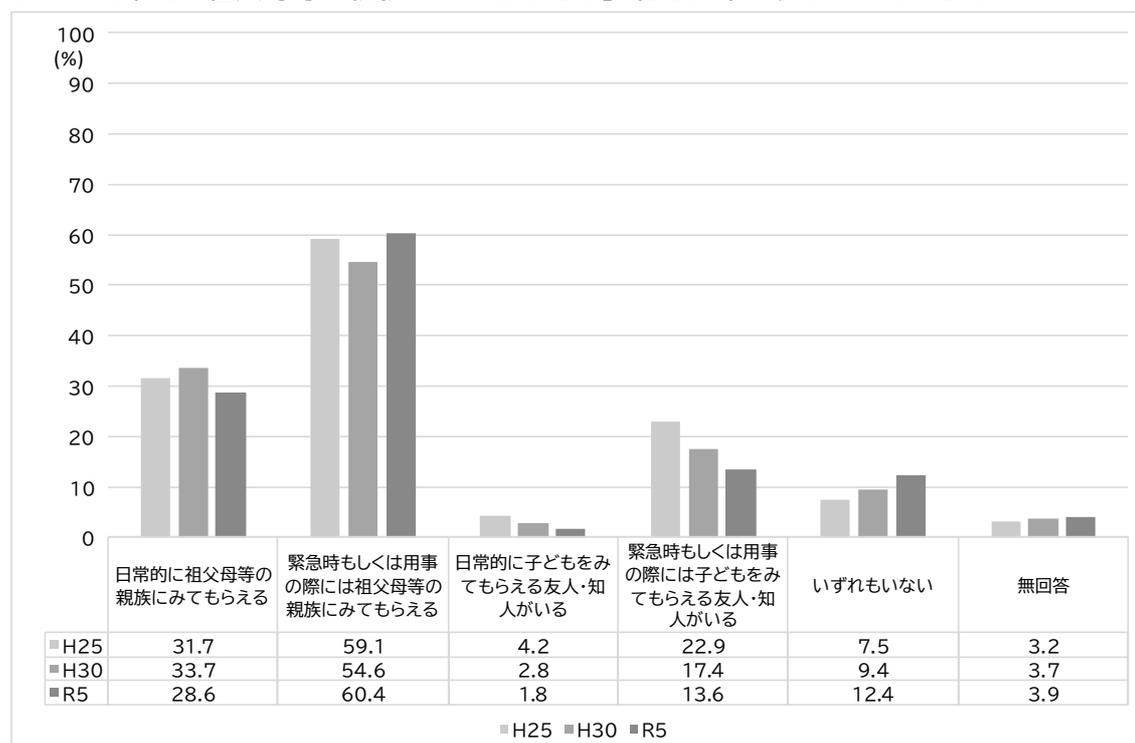
就学前児童

「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族みてもらえる」が59.0%と最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」(31.1%)の順となっています。



小学生児童

「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が60.4%と最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」(28.6%)の順となっています。

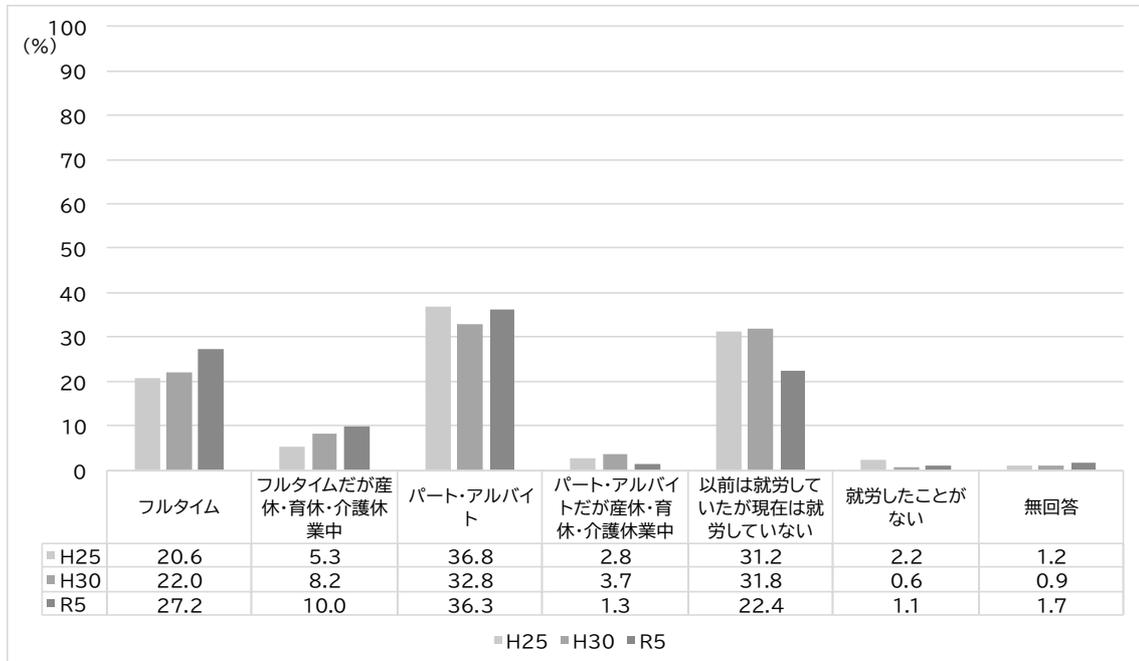


(3) 保護者の就労状況

① 母親の就労状況

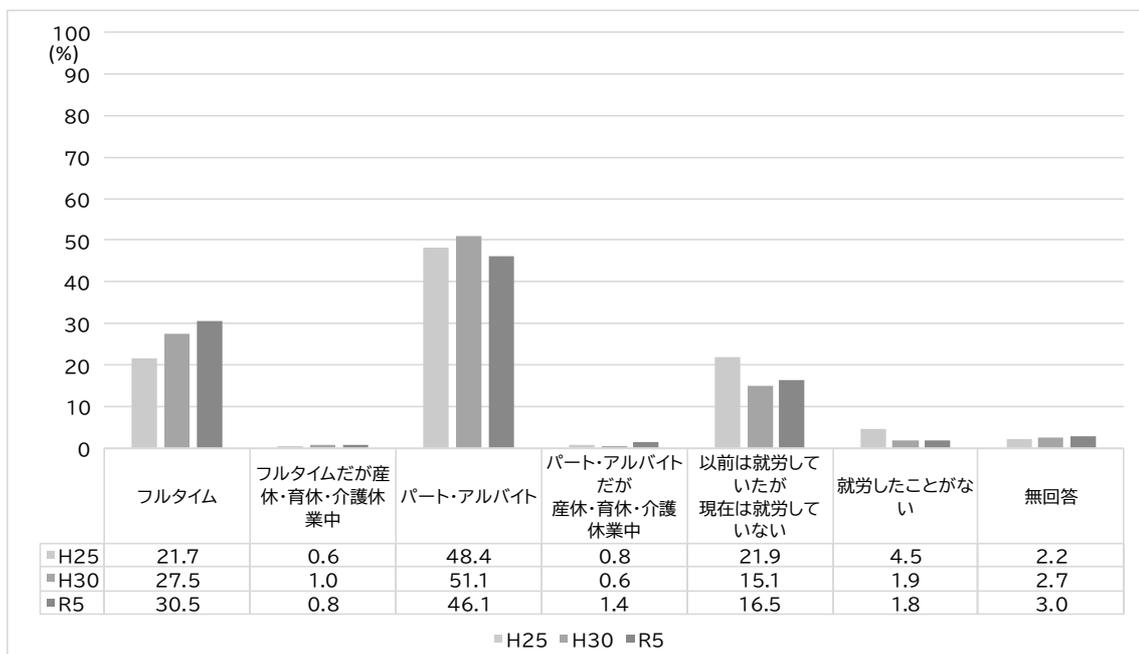
就学前児童

「パート・アルバイト」が36.3%と最も高く、次いで「フルタイム」(27.2%)、「以前は就労していたが現在は就労していない」(22.4%)の順となっています。平成25、30年度と比べるとフルタイムが増加しています。



小学生児童

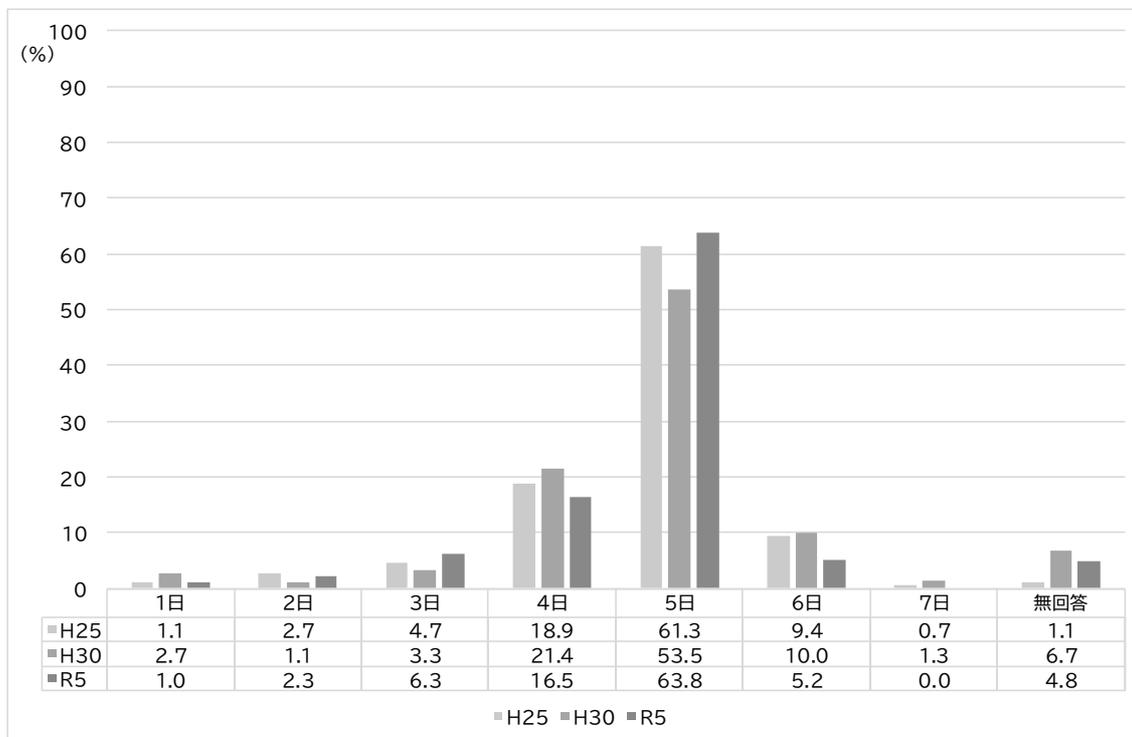
「パート・アルバイト」が46.1%と最も高く、次いで「フルタイム」(30.5%)、「以前は就労していたが現在は就労していない」(16.5%)の順となっています。就学前と同様に平成25、30年度と比べるとフルタイムが増加しています。



②母親の1週間あたりの就労日数

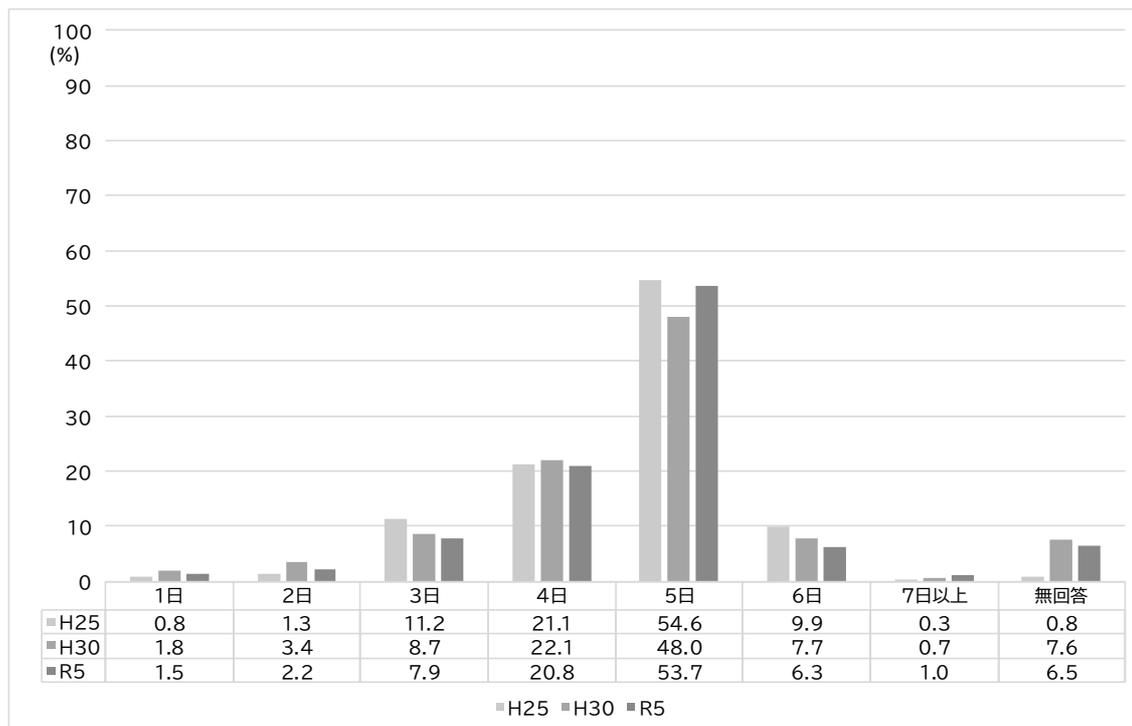
就学前児童

「5日」が63.8%と最も高く、次いで「4日」(16.5%)の順となっています。平成25、30年度と比べると「5日」が増加しています。



小学生児童

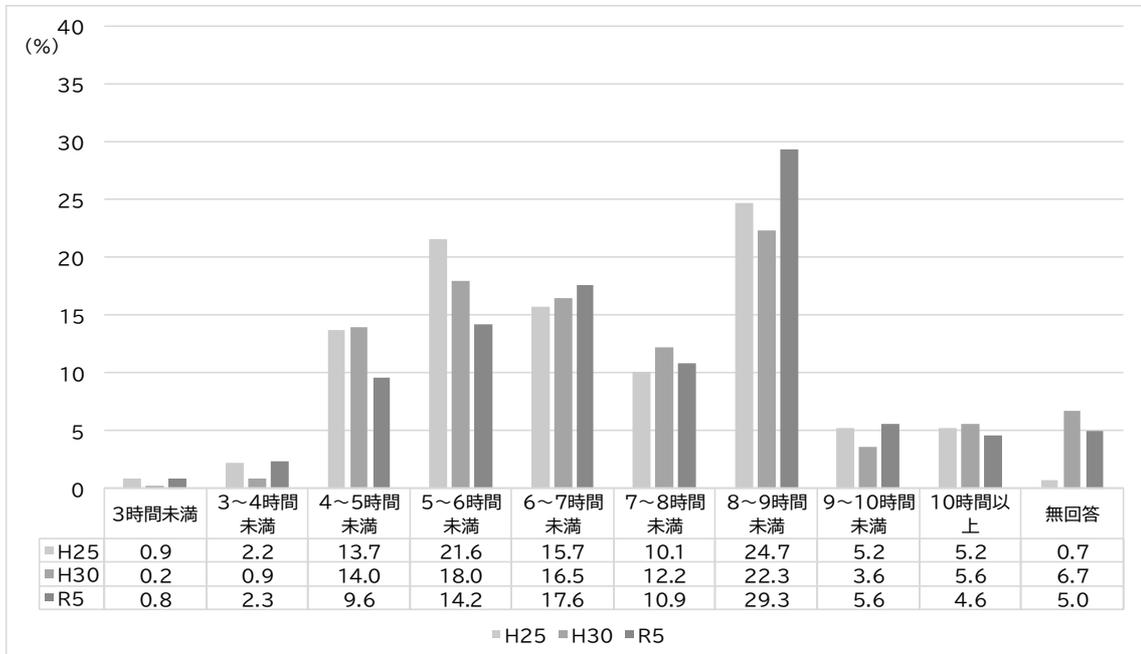
「5日」が53.7%と最も高く、次いで「4日」(20.8%)の順となっています。



③母親の1日あたりの就労時間

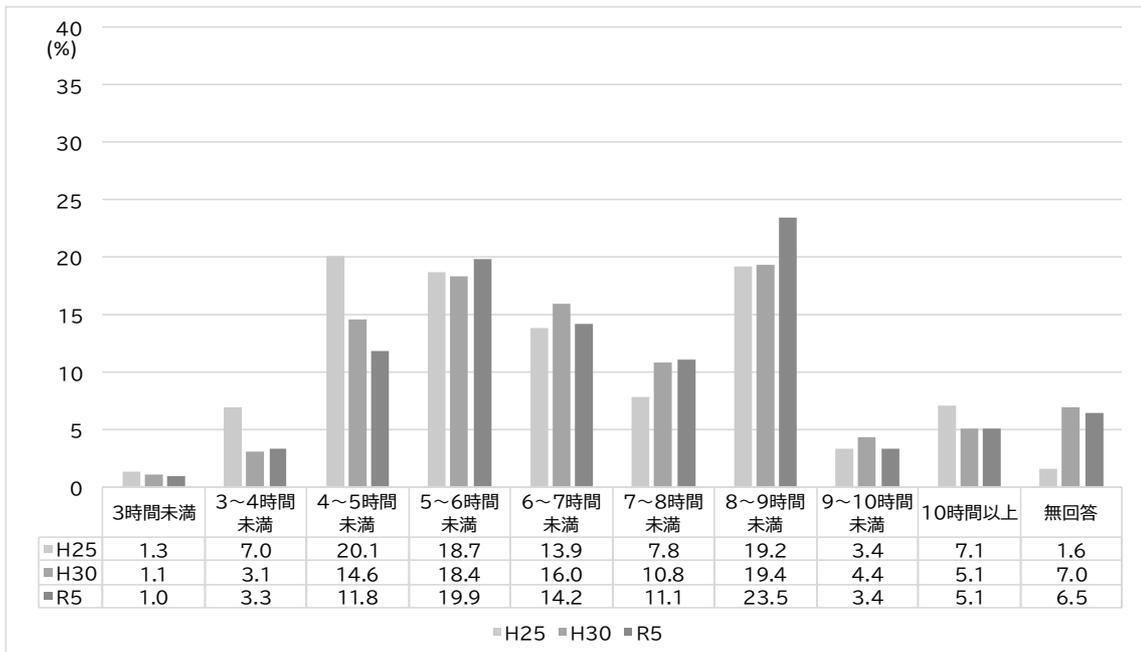
就学前児童

「8～9時間未満」が29.3%と最も高く、次いで「6～7時間未満」(17.6%)、「5～6時間未満」(14.2%)の順となっています。平成25、30年度と比べると「8～9時間未満」が増加し、「5～6時間未満」が減少しています。



小学生児童

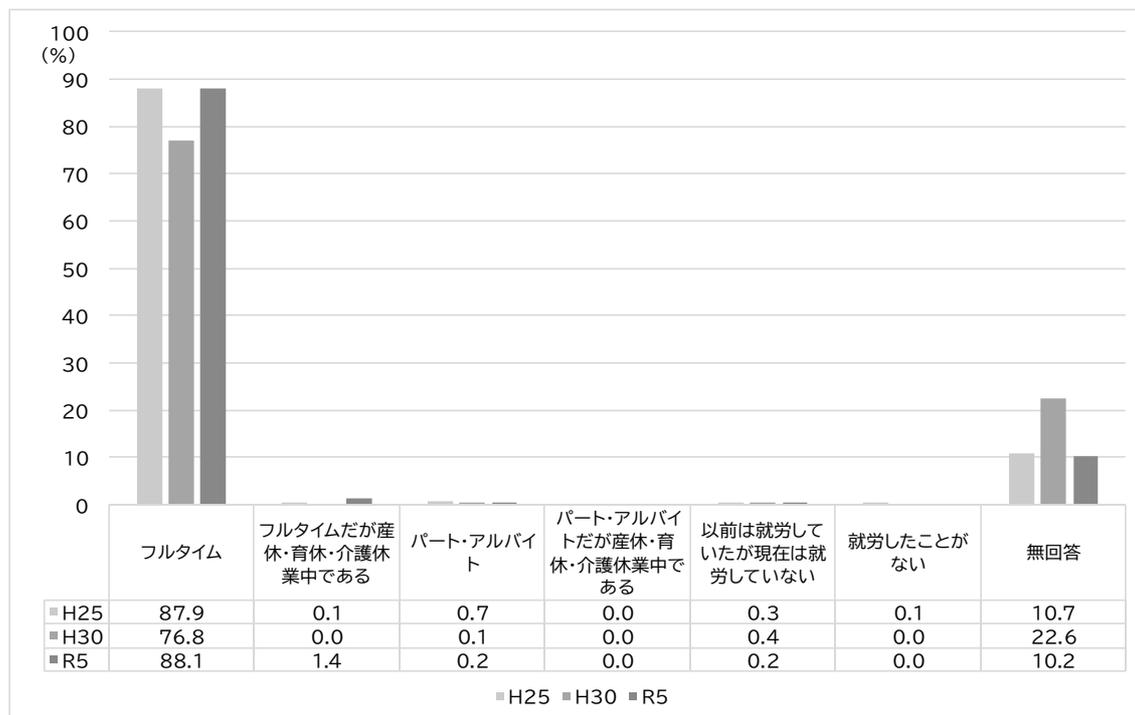
「8～9時間未満」が23.5%と最も高く、次いで「5～6時間未満」(19.9%)、「6～7時間未満」(14.2%)の順となっています。平成25、30年度と比べると「8～9時間未満」が増加し、「4～5時間未満」が減少しています。



④父親の就労状況

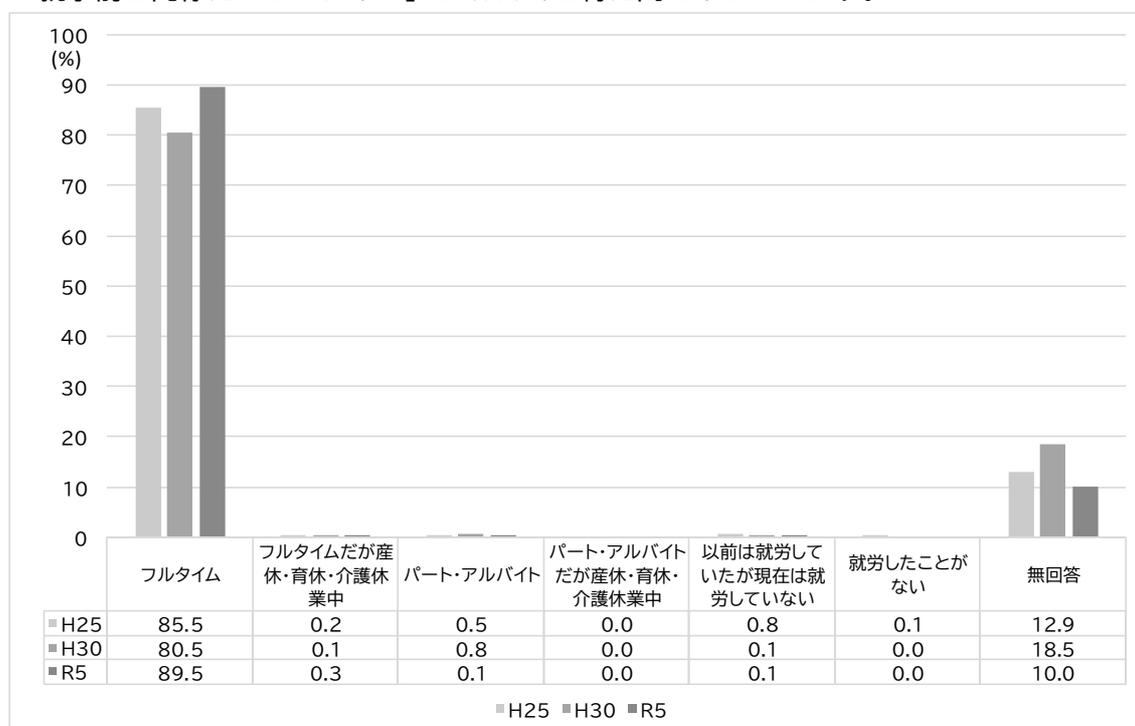
就学前児童

「フルタイム」が88.1%と特に高くなっています。



小学生児童

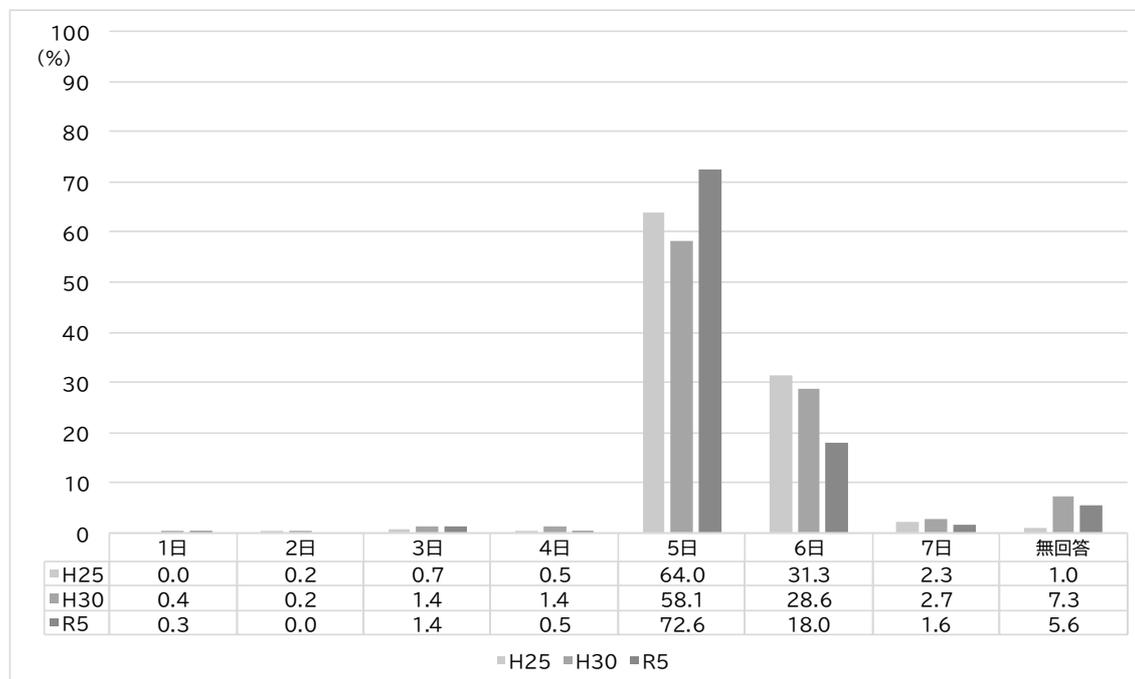
就学前と同様に「フルタイム」が89.5%と特に高くなっています。



⑤父親の1週間あたりの就労日数

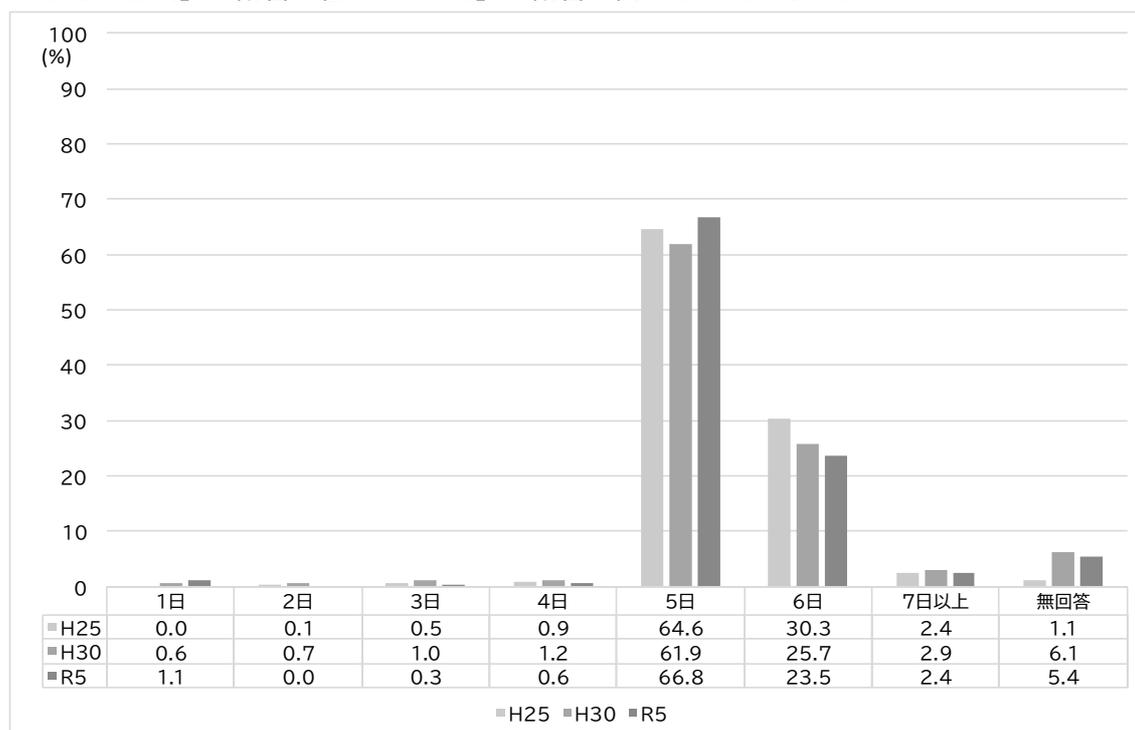
就学前児童

「5日」が72.6%と最も高く、次いで「6日」(18.0%)の順となっています。平成30年度と比べると「5日」が増加し、「6日」が減少しています。



小学生児童

「5日」が66.8%と最も高く、次いで「6日」(23.5%)の順となっています。就学前と比べると「5日」の割合が低く、「6日」の割合が高くなっています。

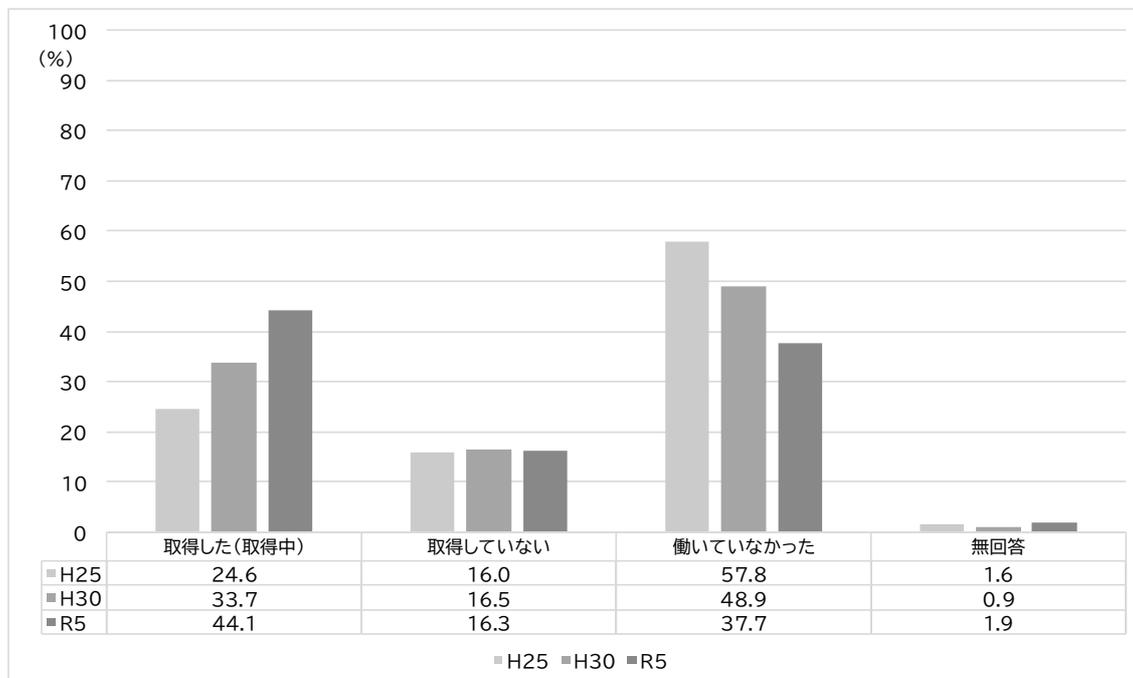


⑥育児休業の取得状況

就学前児童

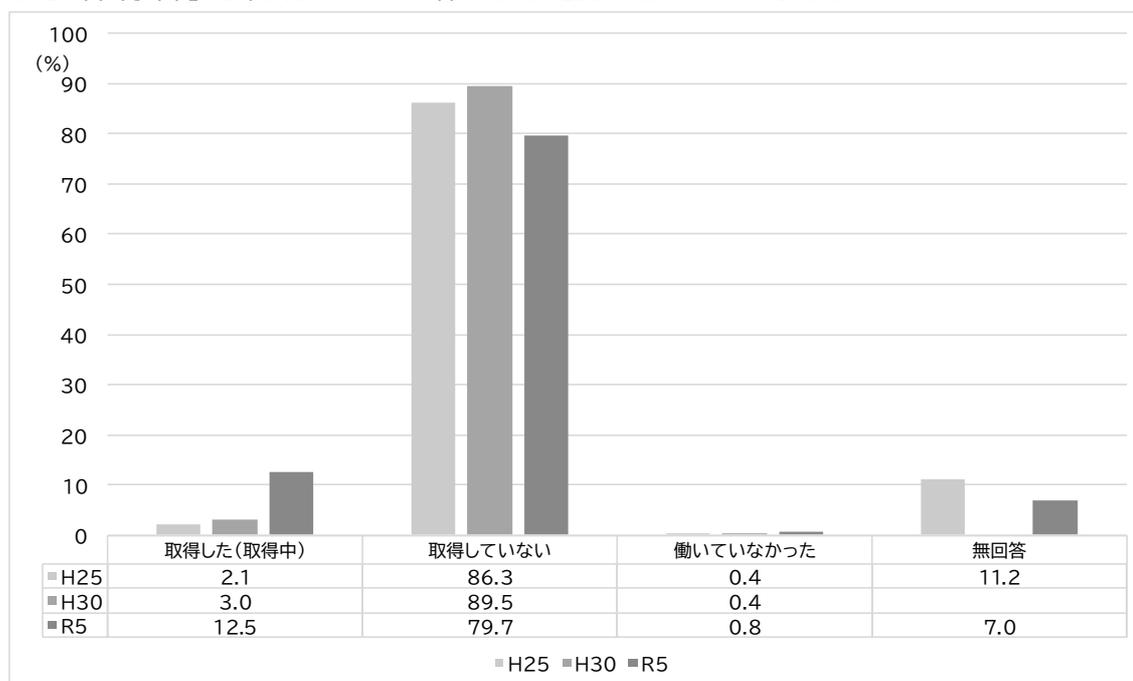
【母親】

「取得した（取得中）」が44.1%と最も高く、次いで「働いていなかった」（37.7%）の順となっています。平成25、30年度と比べると「取得した（取得中）」が増加し、「働いていなかった」が減少しています。



【父親】

「取得していない」が79.7%と特に高くなっています。平成25、30年度と比べると「取得した（取得中）」が約10ポイント増加して12.5%となっています。

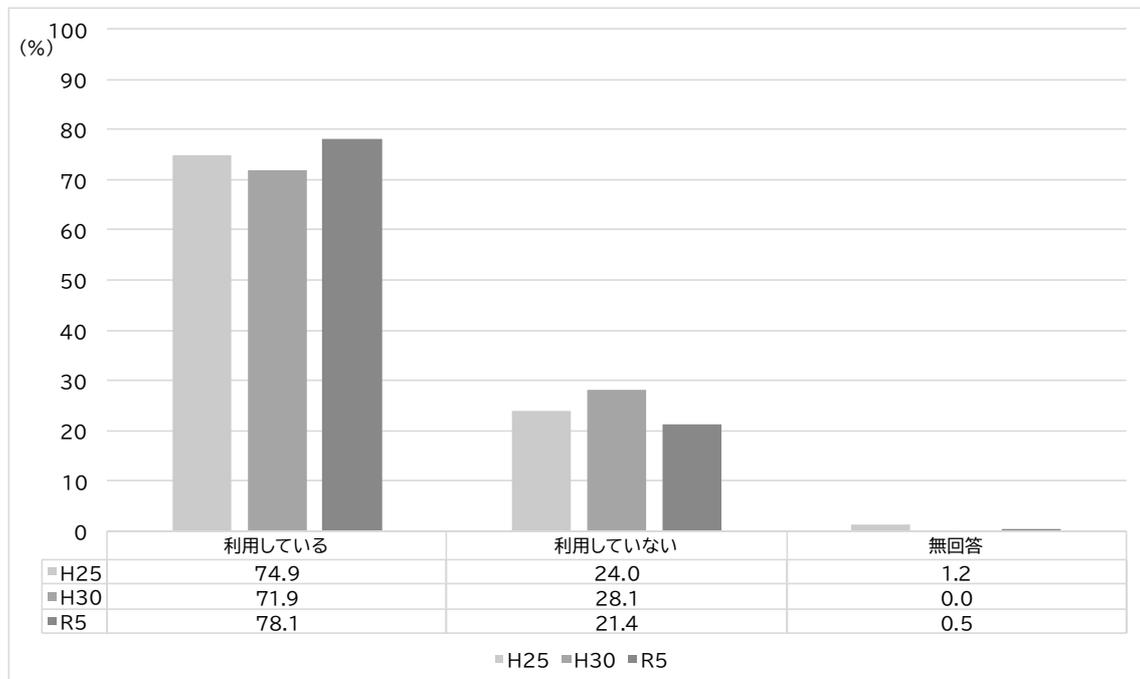


(4) 教育・保育のニーズ

①教育・保育サービスの利用の有無

就学前児童

「利用している」が78.1%と高くなっています。年齢別でみると、「利用していない」の比率が0歳で86.4%、1歳で58.3%と高くなっており、2歳になると「利用している」の比率が「利用していない」を上回り、3歳以上は全て「利用している」となっています。



年齢別クロス (R5)

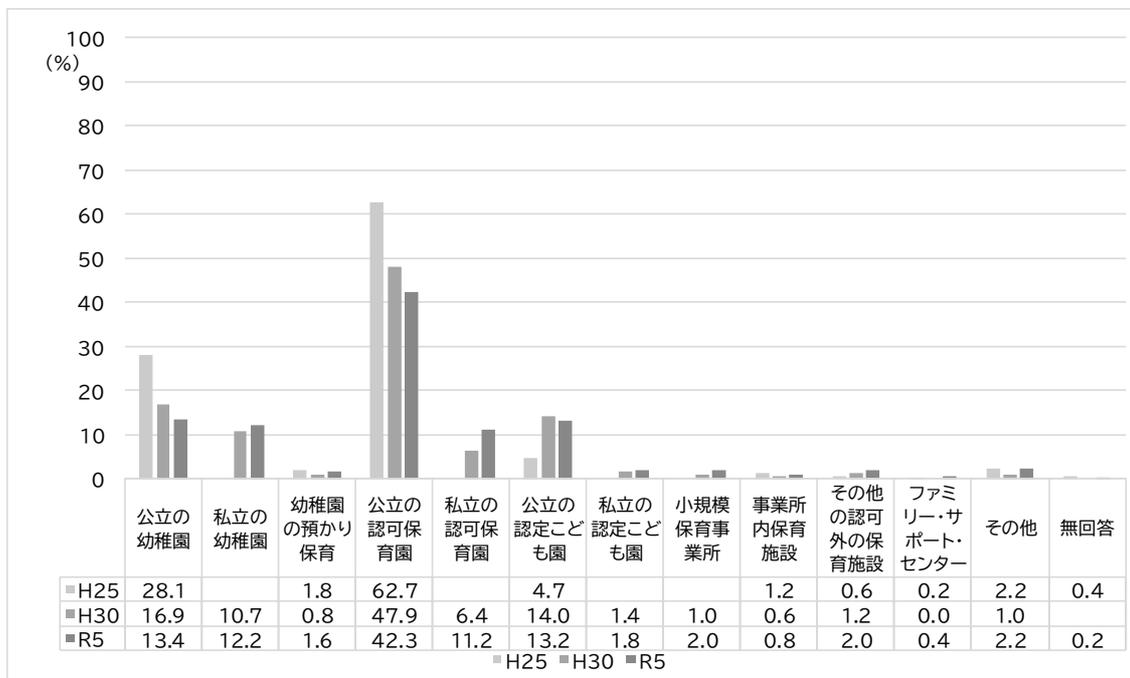
上段：実数 (人)
下段：割合 (%)

	合計	利用して いる	利用して いない
合計	625	489	136
	100.0	78.2	21.8
0歳	59	8	51
	100.0	13.6	86.4
1歳	72	30	42
	100.0	41.7	58.3
2歳	84	54	30
	100.0	64.3	35.7
3歳	98	85	13
	100.0	86.7	13.3
4歳	108	108	0
	100.0	100.00	0.00
5歳	131	131	0
	100.0	100.0	0.0
6歳	73	73	0
	100.0	100.0	0.0

②平日定期的に利用している教育・保育サービス

就学前児童

「公立の認可保育園」が42.2%と最も高く、次いで「公立の幼稚園」(13.4%)、「公立の認定こども園」(13.2%)の順となっています。



年齢別クロス (R5)

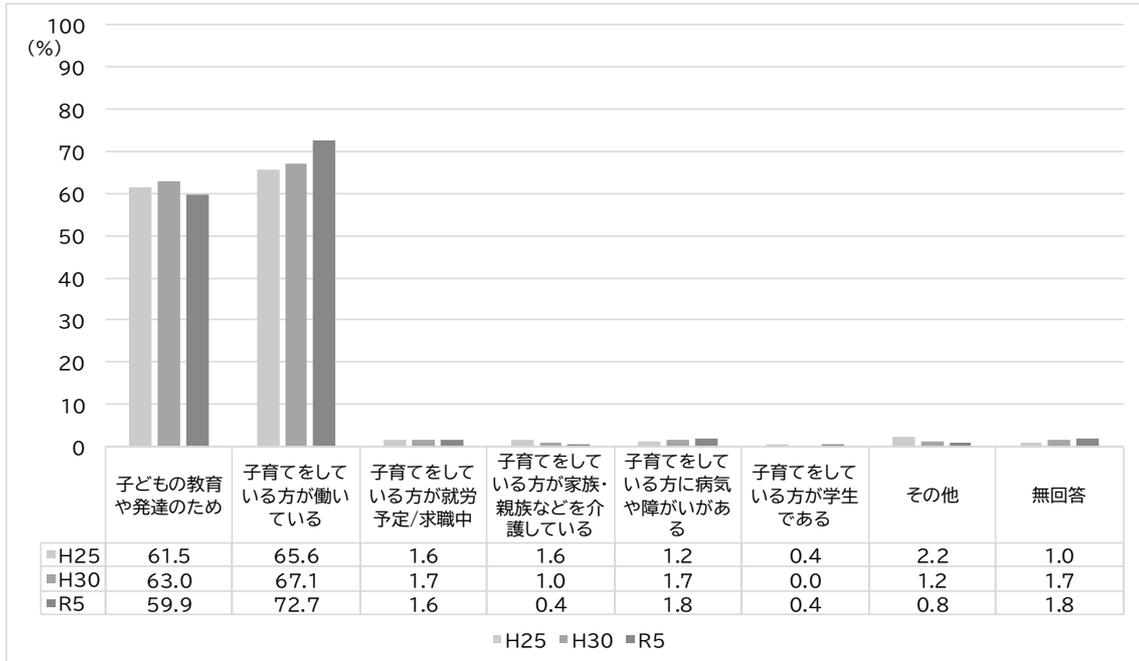
上段：実数 (人)
下段：割合 (%)

	合計	公立の幼稚園	私立の幼稚園	幼稚園の預かり保育	公立の認可保育園	私立の認可保育園	公立の認定こども園	私立の認定こども園	小規模保育事業所	事業所内保育施設	その他の認可外の保育施設	ファミリーサポートセンター	その他
合計	488	65	60	7	206	55	64	9	10	4	10	2	11
	100.0	13.3	12.3	1.4	42.2	11.3	13.1	1.8	2.0	0.8	2.0	0.4	2.3
0歳	8	0	0	0	1	2	2	0	2	1	0	1	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	12.5	25.0	25.0	0.0	25.0	12.5	0.0	12.5	0.0
1歳	30	0	0	0	11	7	4	2	2	1	2	0	1
	100.0	0.0	0.0	0.0	36.7	23.3	13.3	6.7	6.7	3.3	6.7	0.0	3.3
2歳	54	1	2	0	33	3	3	0	4	2	6	0	1
	100.0	1.9	3.7	0.0	61.1	5.6	5.6	0.0	7.4	3.7	11.1	0.0	1.9
3歳	85	5	16	0	38	11	8	3	2	0	1	0	3
	100.0	5.9	18.8	0.0	44.7	12.9	9.4	3.5	2.4	0.0	1.2	0.0	3.5
4歳	108	20	13	1	41	11	19	1	0	0	0	0	4
	100.0	18.5	12.0	0.9	38	10.2	17.6	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	3.7
5歳	130	24	21	2	51	15	16	3	0	0	1	0	1
	100.0	18.5	16.2	1.5	39.2	11.5	12.3	2.3	0.0	0.0	0.8	0.0	0.8
6歳	73	15	8	4	31	6	12	0	0	0	0	1	1
	100.0	20.5	11.0	5.5	42.5	8.2	16.4	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4	1.4

③教育・保育サービスを利用している理由

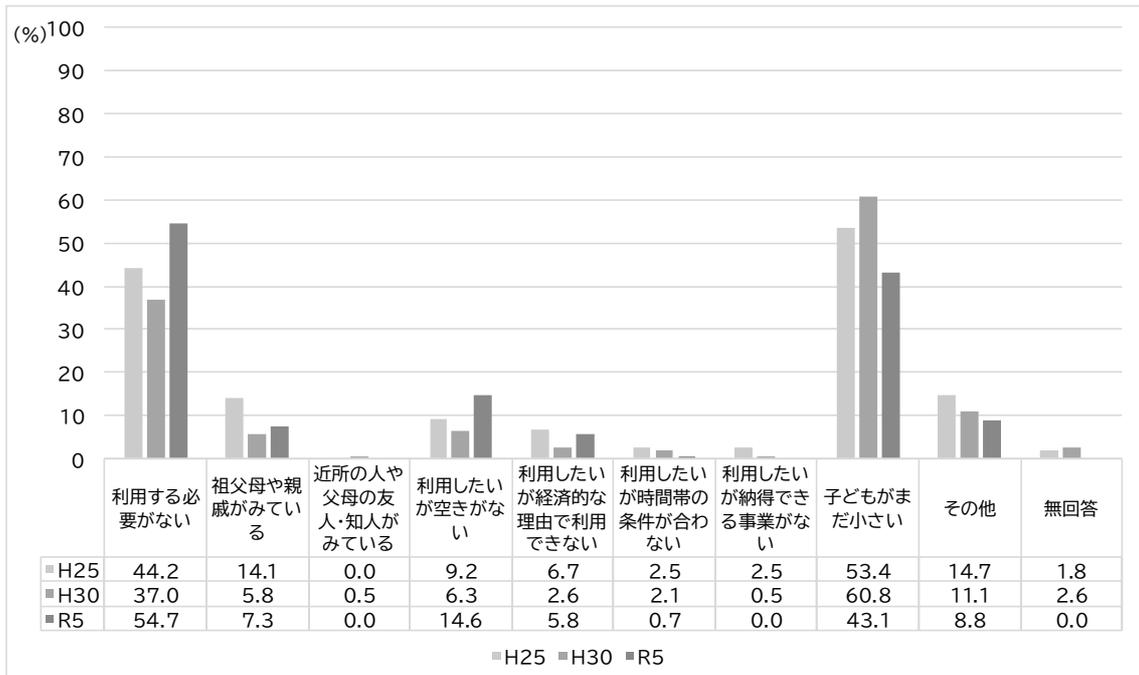
就学前児童

「子育てをしている方が働いている」72.7%と最も高く、次いで「子どもの教育や発達の為」(59.9%)の順となっています。平成25、30年度と比べると「子育てをしている方が働いている」の比率が増加しています。



就学前児童

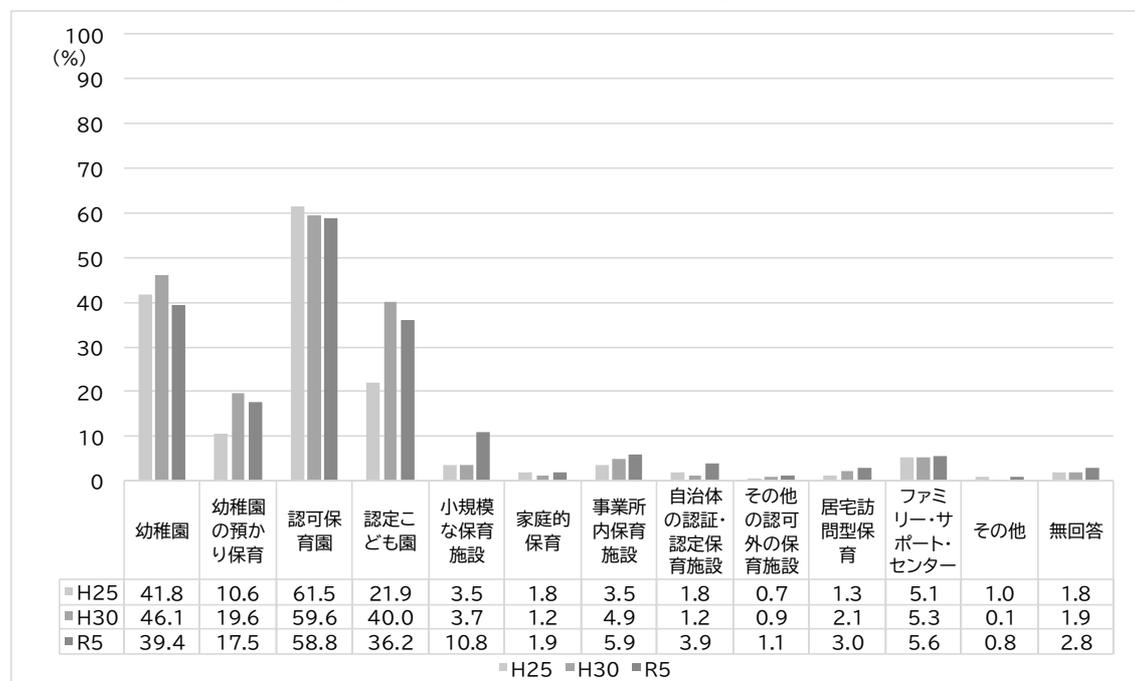
「利用する必要がない」が54.7%と最も高く、次いで「子どもがまだ小さい」(43.1%)の順となっています。平成25、30年度と比べると「利用する必要がない」の比率が増加しています。



⑤今後平日定期的に利用したい教育・保育サービス

就学前児童

「認可保育園」が58.8%と最も高く、次いで「幼稚園」(39.4%)、「認定こども園」(36.2%)の順となっています。年齢別でみると、①の平日に教育・保育サービスを利用していない比率が高い0～2歳で「認可保育園」「認定こども園」の比率が高くなっています。



年齢別クロス (R5)

上段：実数 (人)
下段：割合 (%)

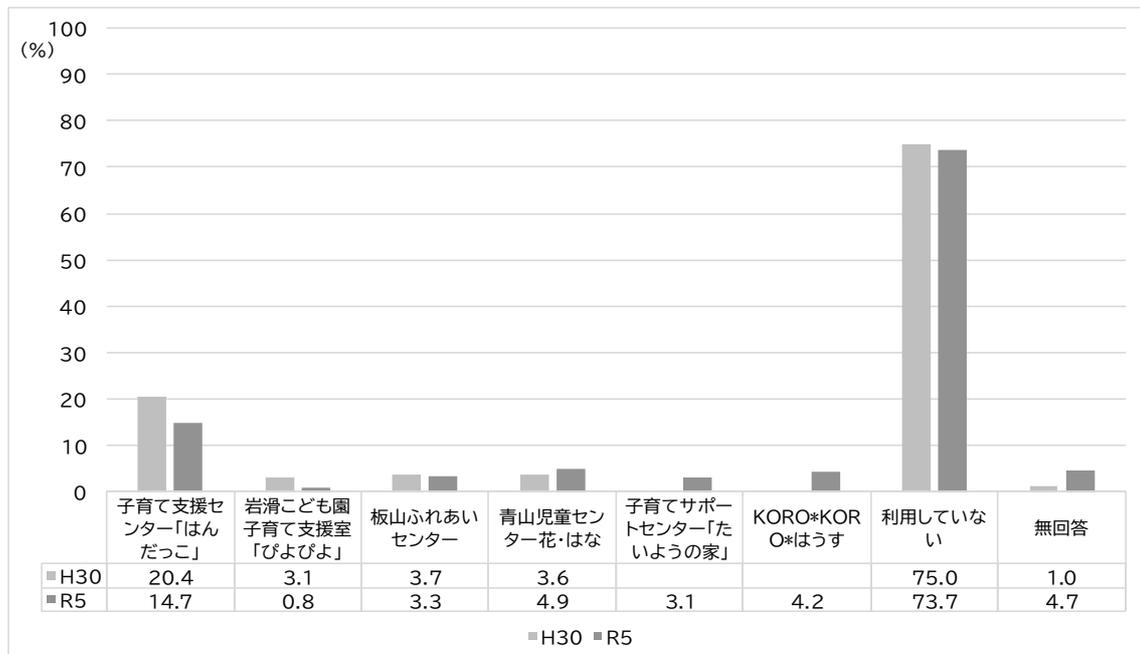
	合計	幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育園	認定こども園	小規模な保育施設	家庭的保育	事業所内保育施設	自治体の認証・認定保育施設	その他の認可外の保育施設	居宅訪問型保育	ファミリーサポートセンター	その他
合計	610	247	111	370	228	69	12	38	25	7	19	35	5
	100.0	40.5	18.2	60.7	37.4	11.3	2.0	6.2	4.1	1.1	3.1	5.7	0.8
0歳	59	23	8	45	26	13	1	4	5	0	2	5	0
	100.0	39.0	13.6	76.3	44.1	22.0	1.7	6.8	8.5	0.0	3.4	8.5	0.0
1歳	69	25	15	50	33	15	3	6	7	0	2	6	1
	100.0	36.2	21.7	72.5	47.8	21.7	4.3	8.7	10.1	0.0	2.9	8.7	1.4
2歳	82	31	11	57	34	12	3	4	4	3	4	3	0
	100.0	37.8	13.4	69.5	41.5	14.6	3.7	4.9	4.9	3.7	4.9	3.7	0.0
3歳	96	38	19	54	32	9	2	8	1	1	2	4	1
	100.0	39.6	19.8	56.3	33.3	9.4	2.1	8.3	1.0	1.0	2.1	4.2	1
4歳	104	44	16	59	41	8	1	1	4	0	3	5	2
	100.0	42.3	15.4	56.7	39.4	7.7	1.0	1.0	3.8	0.0	2.9	4.8	1.9
5歳	128	51	25	66	39	10	2	13	4	3	3	8	1
	100.0	39.8	19.5	51.6	30.5	7.8	1.6	10.2	3.1	2.3	2.3	6.3	0.8
6歳	72	35	17	39	23	2	0	2	0	0	3	4	0
	100.0	48.6	23.6	54.2	31.9	2.8	0.0	2.8	0.0	0.0	4.2	5.6	0.0

(5) 地域子育て支援拠点事業

①利用したことがある地域子育て支援拠点事業

就学前児童

「利用していない」が73.7%と高くなっています。利用したことがある拠点では「子育て支援センター『はんだっこ』」(14.7%)、「青山児童センター花・はな」(4.9%)、「KORO*KORO*はうす」(4.2%)、「板山ふれあいセンター」(3.3%)の順となっています。

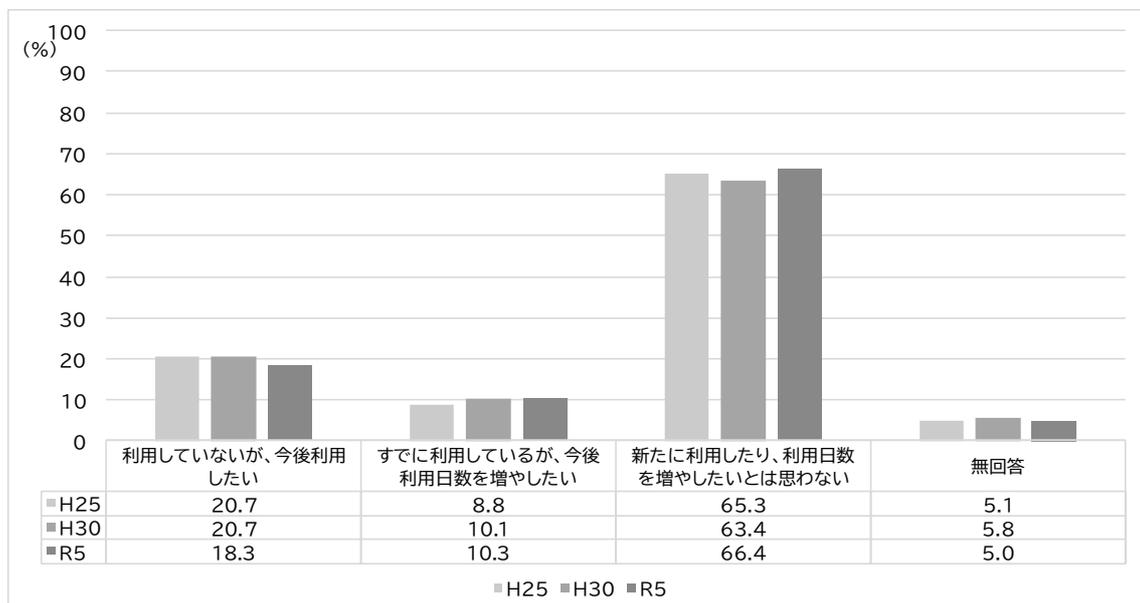


②今後利用したい地域子育て支援拠点事業

就学前児童

「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が66.4%と高くなっています。①で「利用したことがない」を多くの方が回答していることから、現在は利用しておらず今後新たに利用したいというニーズが少ないと考えられます。

一方で、「利用していないが、今後利用したい」が18.3%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」が10.3%と、計28.6%の人が利用を増やしたいと回答しています。

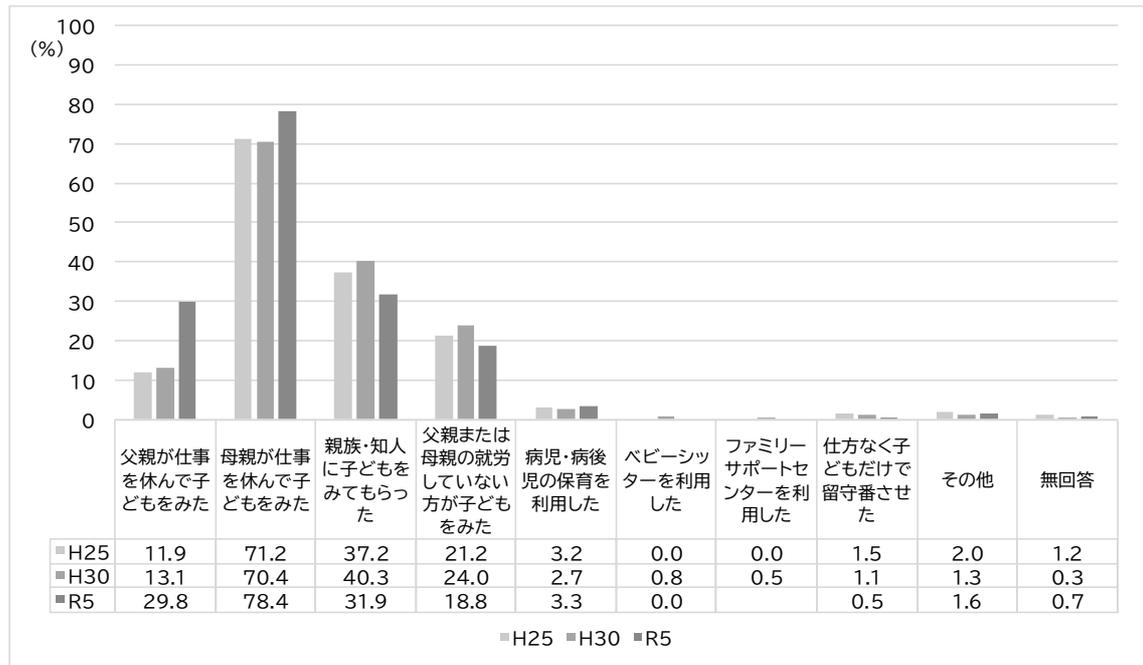


(6) 病児・病後児保育

①病気の時の対応方法

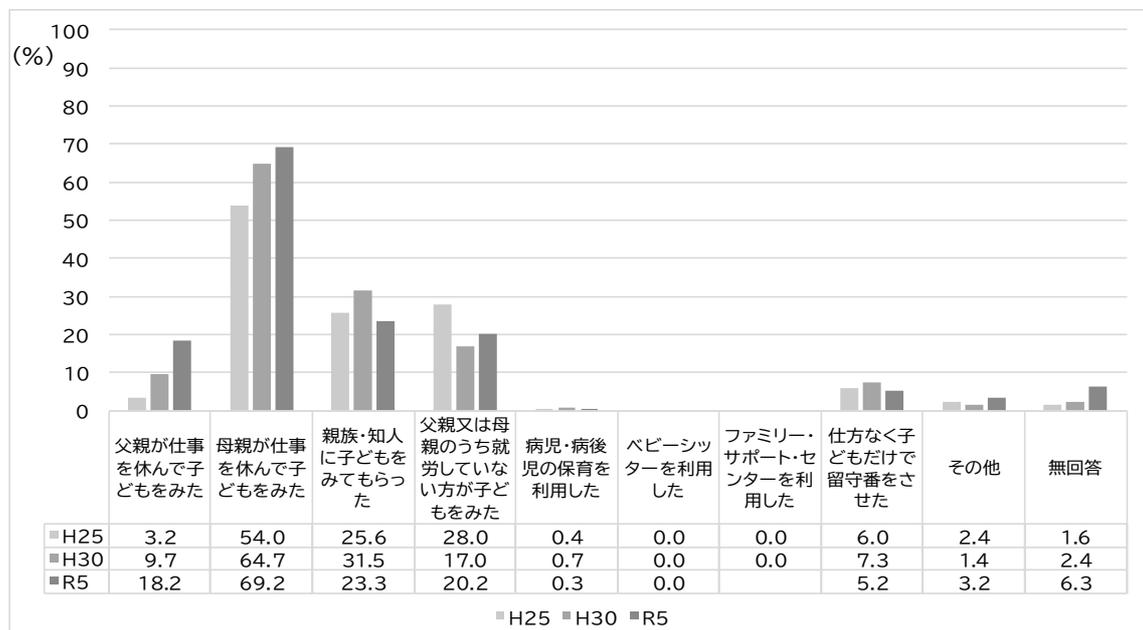
就学前児童

「母親が仕事を休んで子どもをみた」が78.4%と高く、ついで「親族・知人に子どもをみてもらった」(31.9%)、「父親が休んで子どもをみた」(29.8%)の順となっています。平成25、30年度と比べると「母親が仕事を休んで子どもをみた」「父親が休んで子どもをみた」の比率が高くなっています。なお、「病児・病後児の保育を利用した」の比率は3.3%となっています。



小学生児童

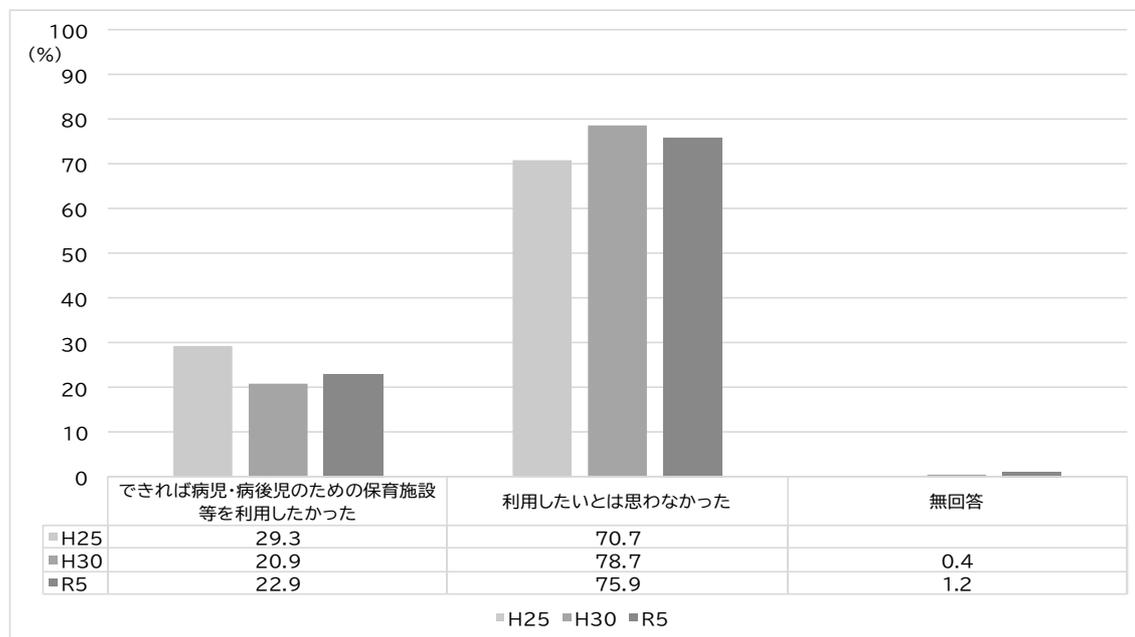
「母親が仕事を休んで子どもをみた」が69.2%と高く、ついで「親族・知人に子どもをみてもらった」(23.3%)、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」(20.2%)の順となっています。父親がフルタイムの家庭が多いことから、就労していない方が子どもをみた比率は、母親の方が高いことがうかがえます。なお、「病児・病後児の保育を利用した」の比率は0.3%となっています。



②病児・病後児保育の利用意向

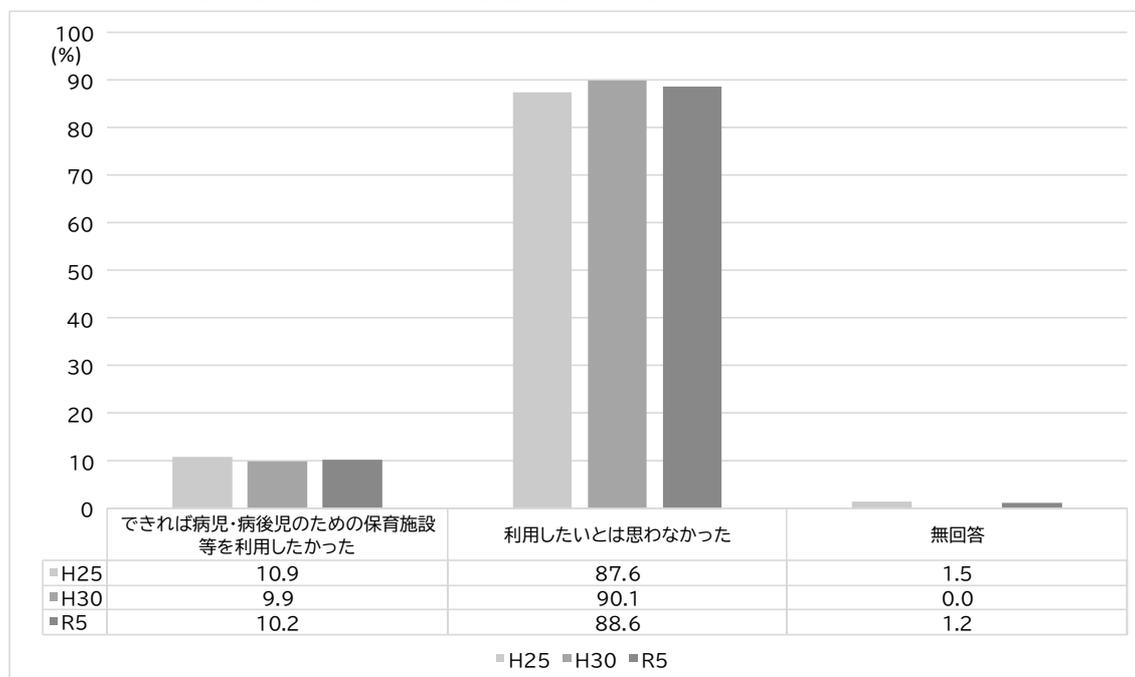
就学前児童

「利用したいとは思わなかった」が75.9%と高く、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したかった」が22.9%となっています。



小学生児童

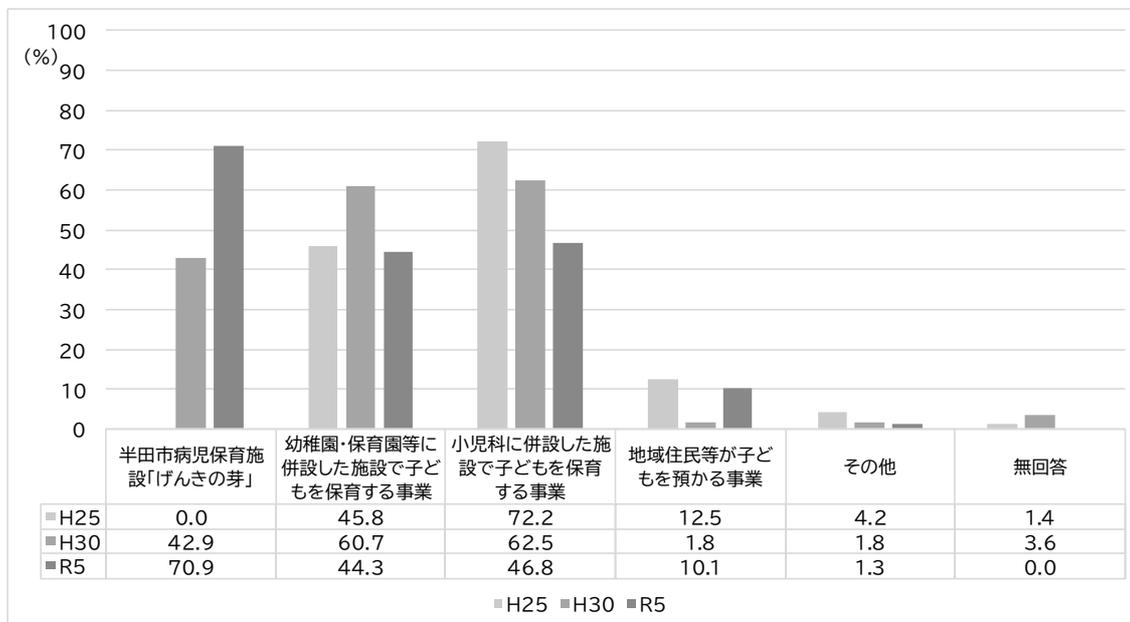
「利用したいとは思わなかった」が88.6%と高く、就学前よりもさらに高くなっています。「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したかった」が10.2%となっています。



③病児・病後児保育の望ましい事業

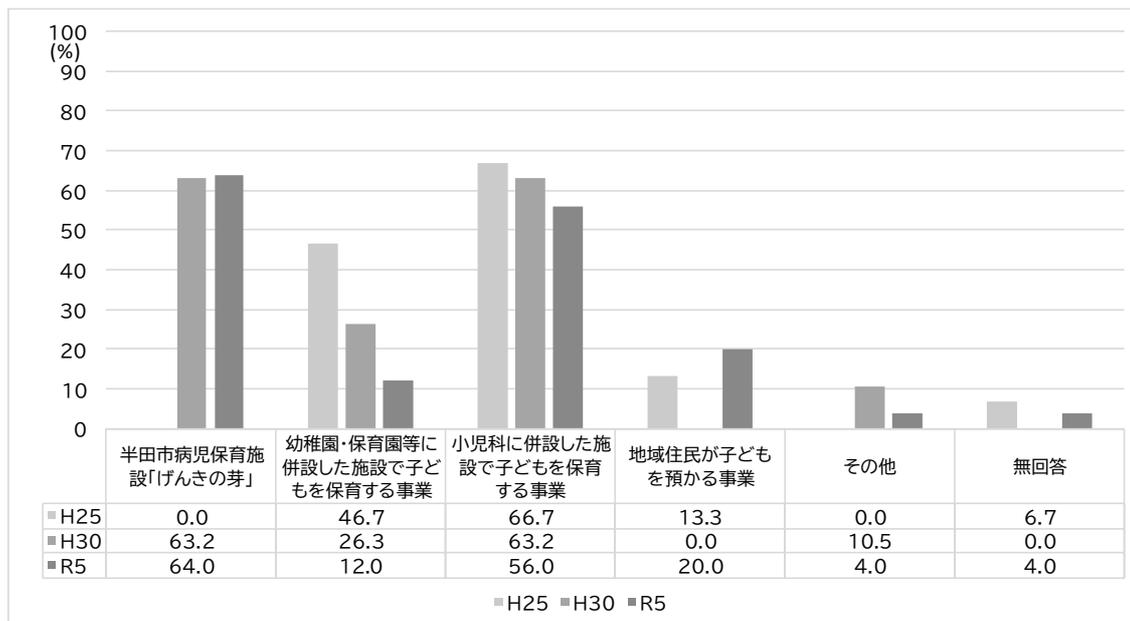
就学前児童

②で「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したかった」と回答した人のうち、「半田市病児保育施設『げんきの芽』」が70.9%と最も高く、次いで「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」(46.8%)、「幼稚園・保育園等に併設した施設で子どもを保育する事業」(44.3%)の順となっています。



小学生児童

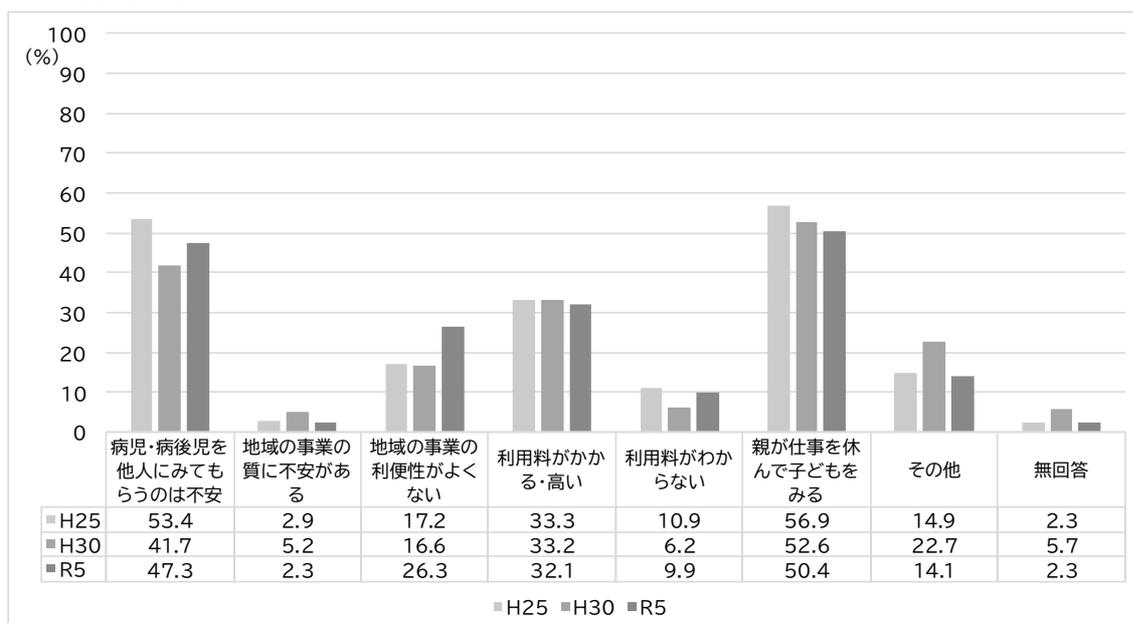
②で「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したかった」と回答した人のうち、「半田市病児保育施設『げんきの芽』」が64.0%と最も高く、次いで「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」(56.0%)、「地域住民が子どもを預かる事業」(20.0%)の順となっています。



④病児・病後児保育施設を利用したいと思わない理由

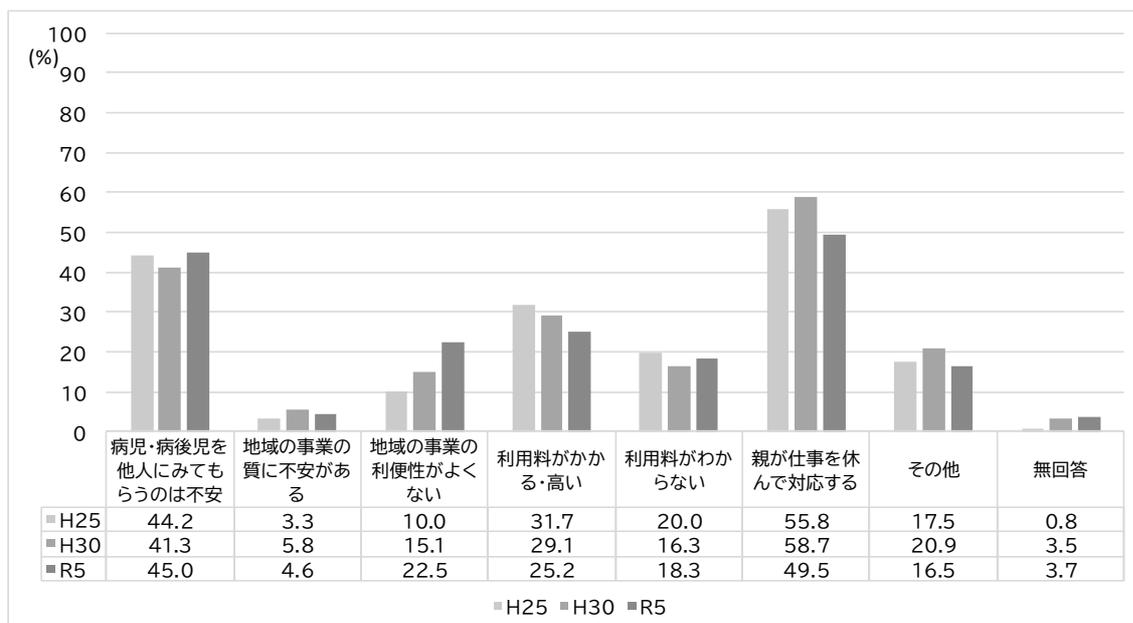
就学前児童

①で「利用したいとは思わなかった」と回答した人のうち、「親が仕事を休んで子どもをみる」が50.4%と最も高く、次いで「病児・病後児を他人に見てもらうのは不安」(47.3%)、「利用料がかかる・高い」(32.1%)、「地域の事業の利便性がよくない」(26.3%)の順となっています。



小学生児童

①で「利用したいとは思わなかった」と回答した人のうち、「親が仕事を休んで対応する」が49.5%と最も高く、次いで「病児・病後児を他人に見てもらうのは不安」(45.0%)、「利用料がかかる・高い」(25.2%)、「地域の事業の利便性がよくない」(22.5%)の順となっています。

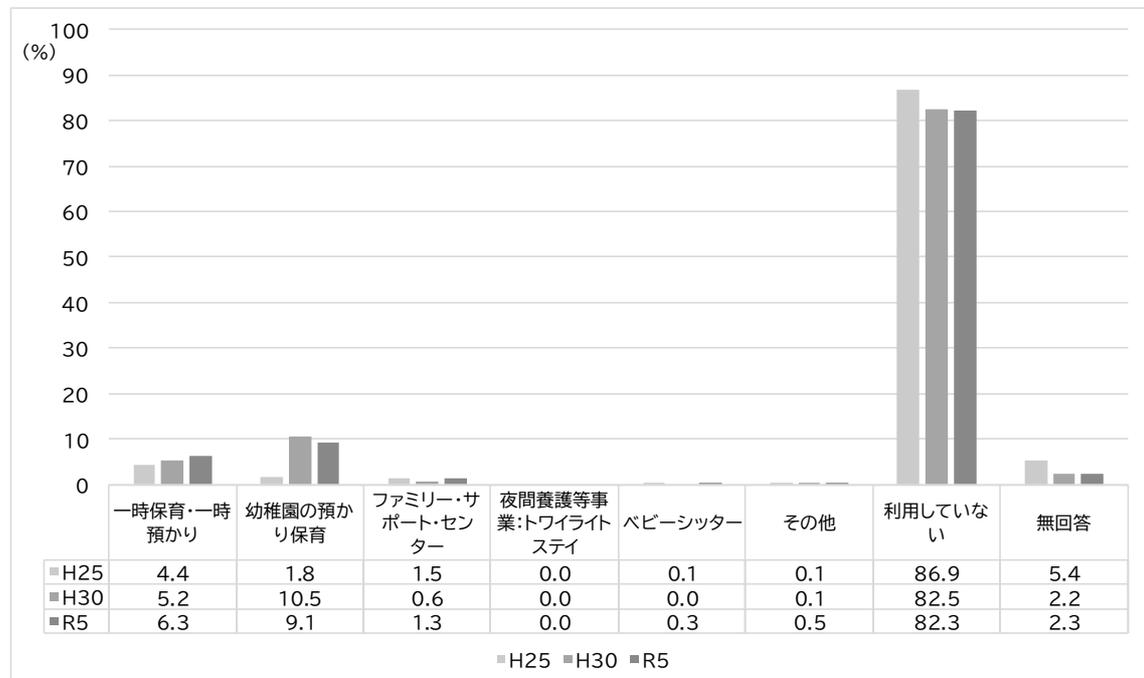


(7) 一時預かり

①一時預かりの利用状況

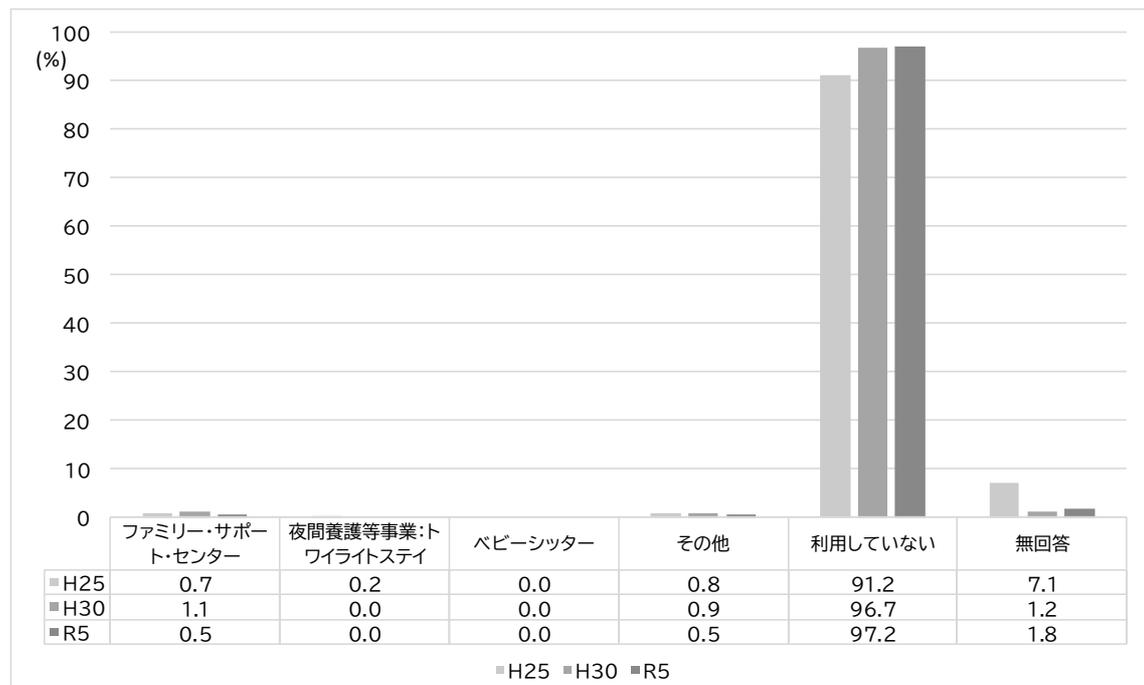
就学前児童

「利用していない」が82.3%と特に高くなっています。利用しているサービスを見ると、「幼稚園の預かり保育」(9.1%)、「一時保育・一時預かり」(6.3%)などとなっています。



小学生児童

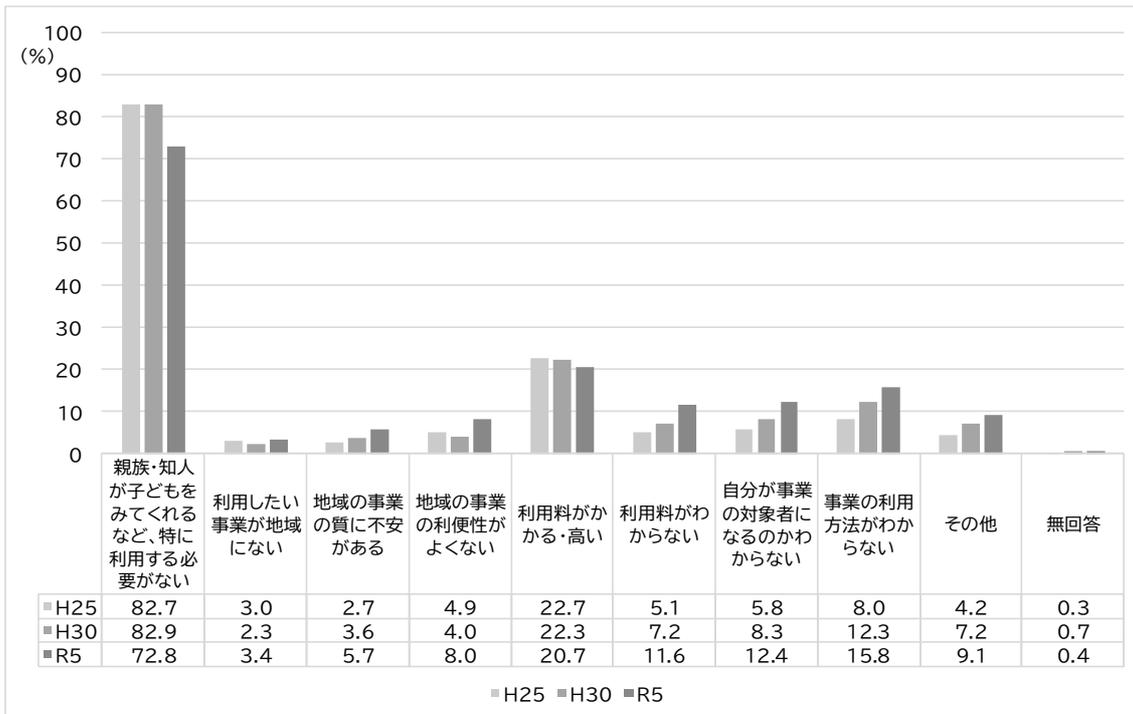
「利用していない」が97.2%となっています。



②一時預かりを利用していない理由

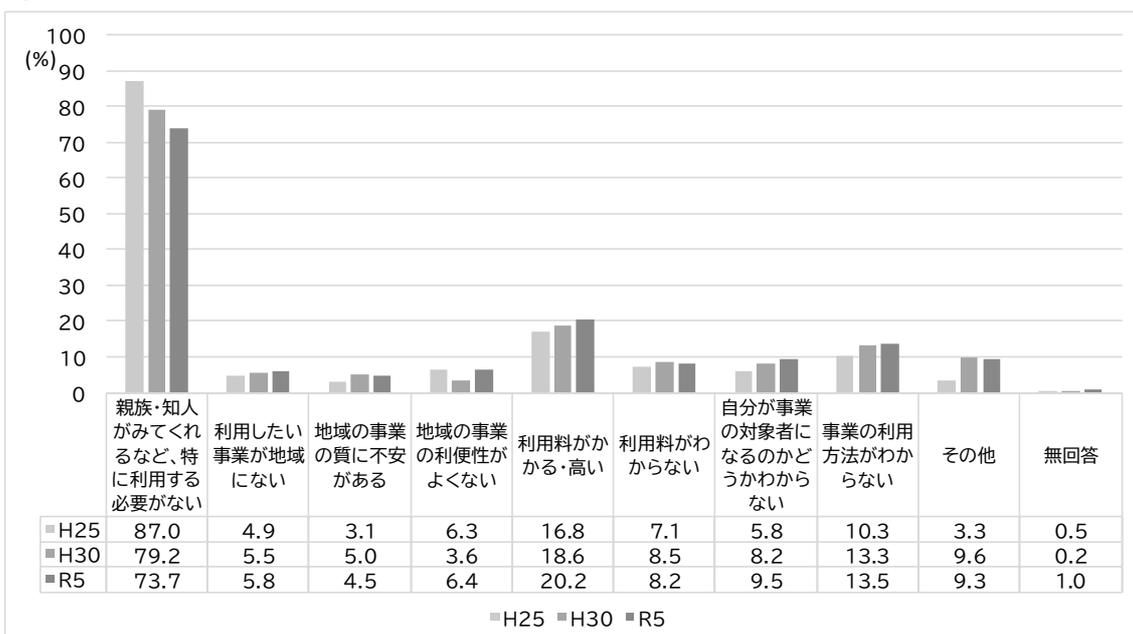
就学前児童

①で「利用していない」と回答した人のうち、「親族・知人が子どもをみってくれるなど、特に利用する必要がない」が72.8%と特に高く、ついで「利用料がかかる・高い」(20.7%)の順となっています。



小学生児童

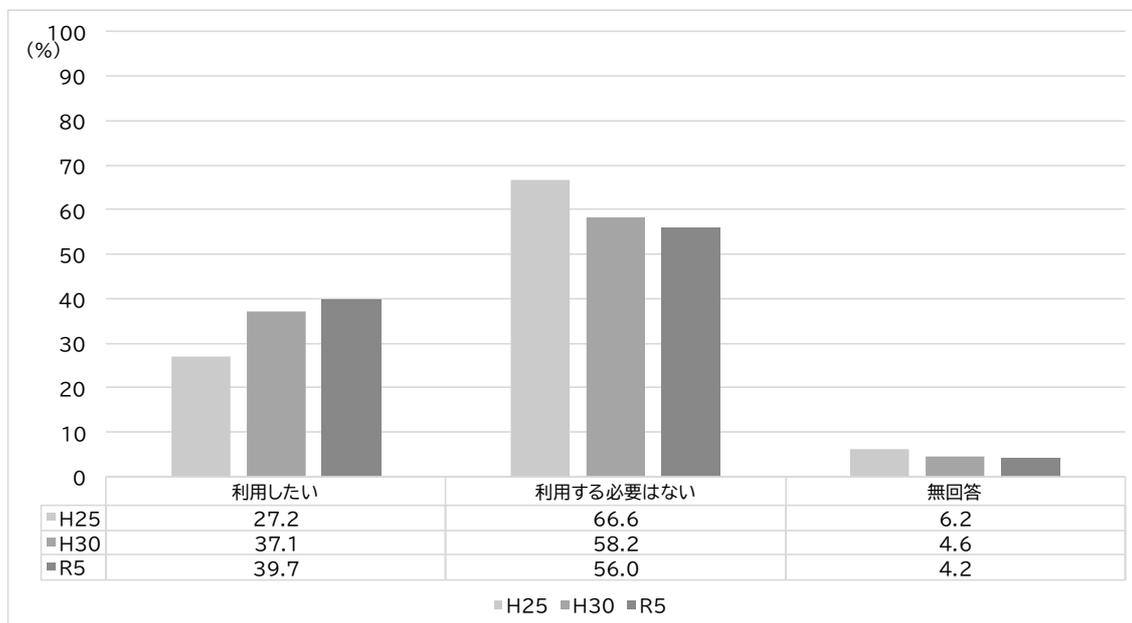
①で「利用していない」と回答した人のうち、「親族・知人が子どもをみってくれるなど、特に利用する必要がない」が73.7%と特に高く、ついで「利用料がかかる・高い」(20.2%)の順となっています。



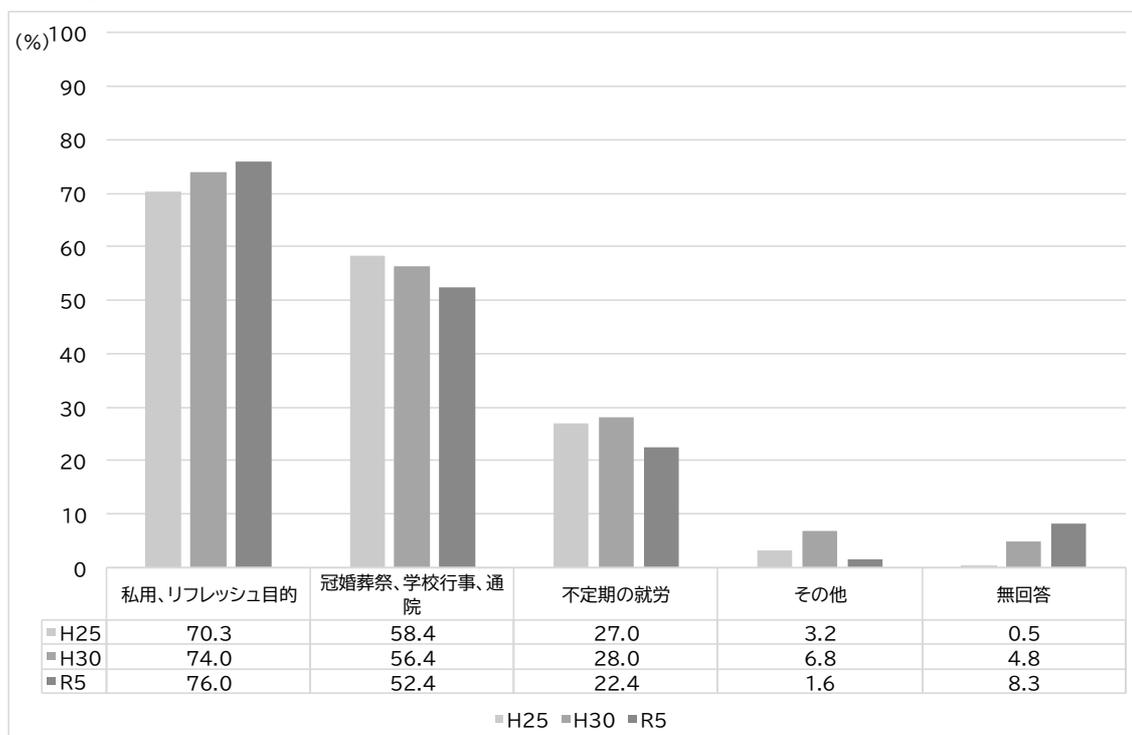
③一時預かりの利用意向・利用目的

就学前児童

「利用する必要はない」が56.0%と高くなっています。一方で平成25、30年度と比べると「利用したい」の比率が高まっています。

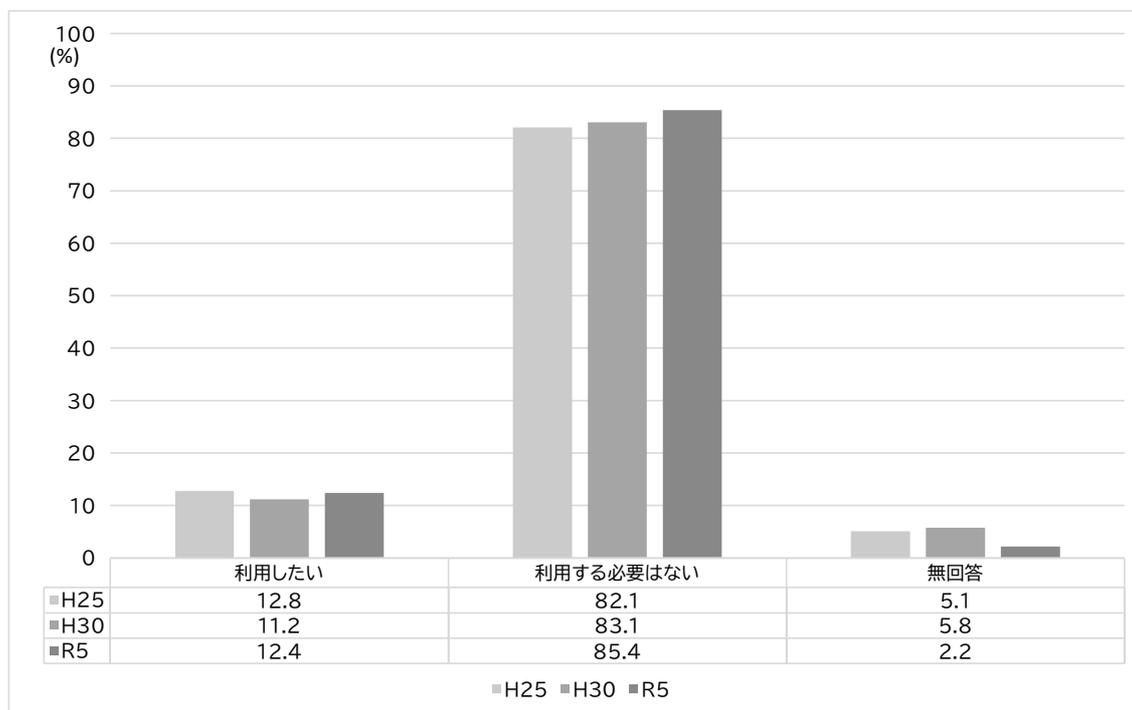


「利用したい」と回答した人の利用目的は、「私用、リフレッシュ目的」が76.0%と最も高く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、通院」(52.4%)、「不定期の就労」(22.4%)の順となっています。

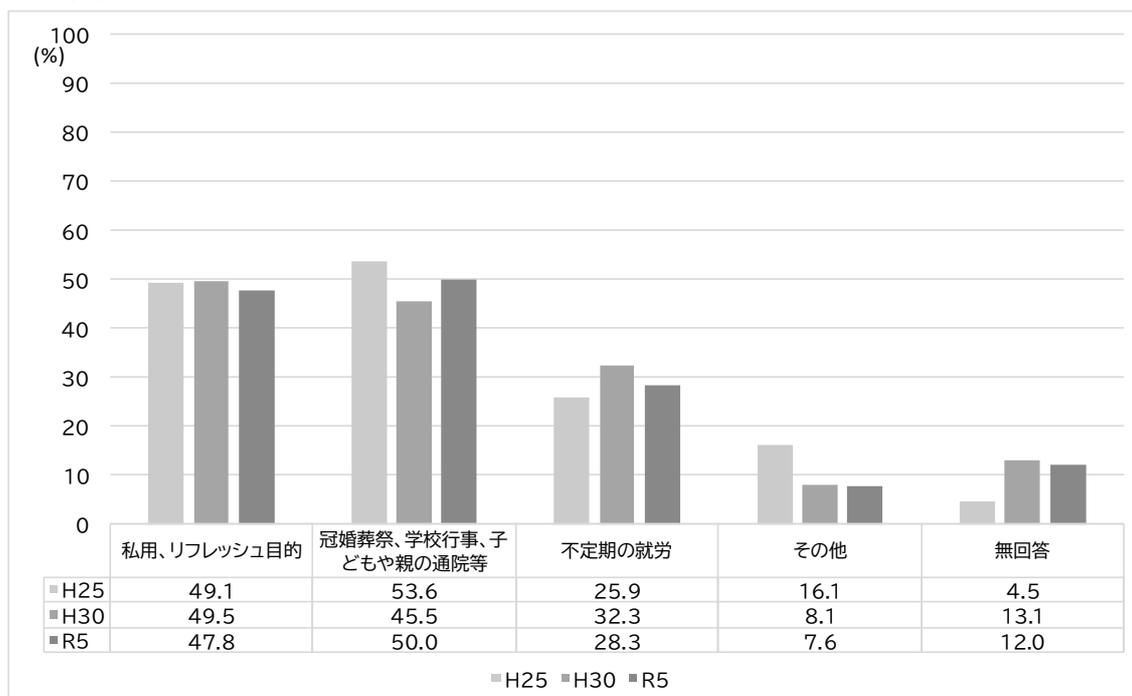


小学生児童

「利用する必要はない」が85.4%と高くなっており、平成25、30年度と比べると「利用する必要はない」の比率が高まっています。



「利用したい」と回答した人の利用目的は、「冠婚葬祭、学校行事、通院」が50.0%と最も高く、次いで「私用、リフレッシュ目的」(47.8%)、「不定期の就労」(28.3%)の順となっています。



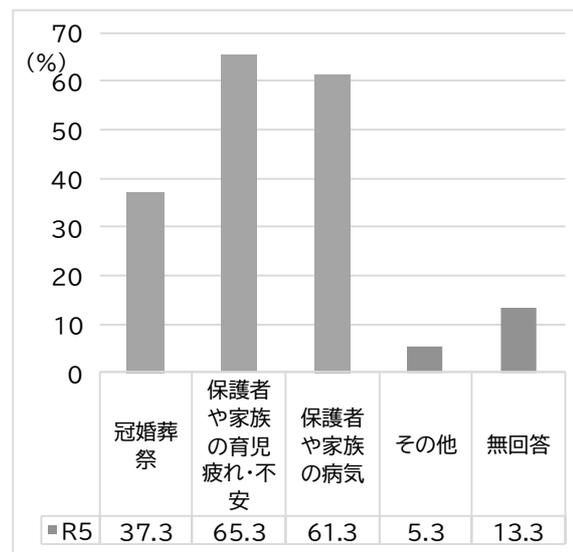
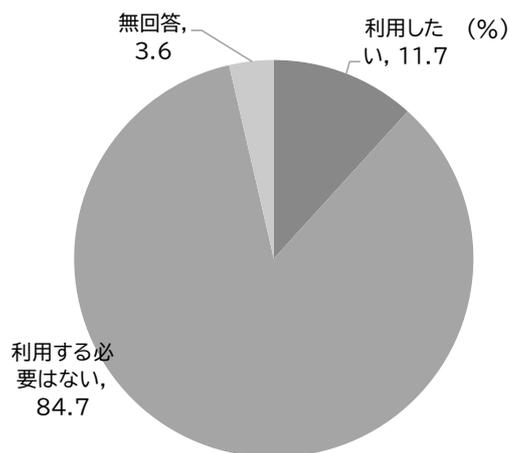
(8) 短期入所支援事業

①短期入所支援事業の利用意向・目的

就学前児童

「利用する必要はない」が84.7%と高くなっています。

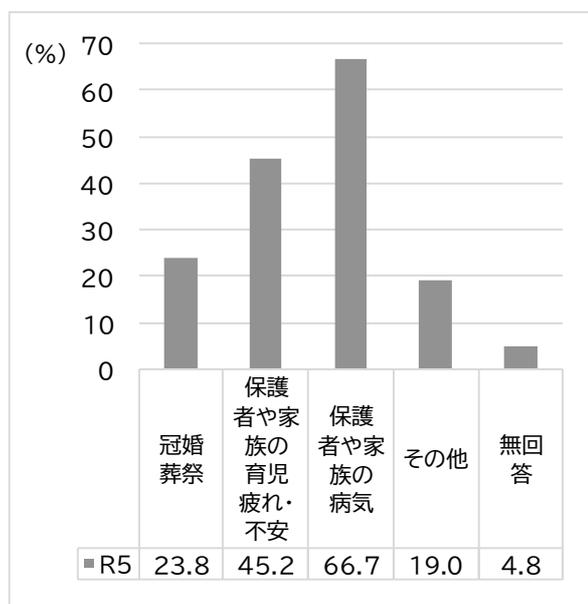
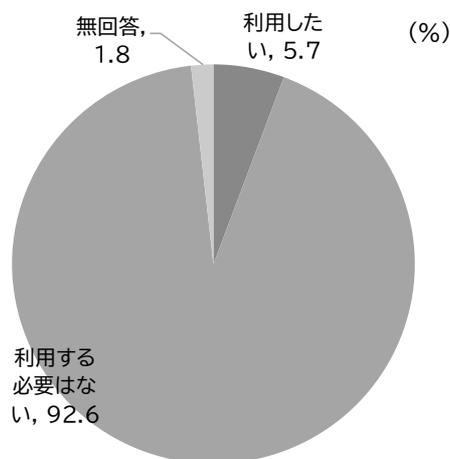
「利用したい」と回答した人の利用目的は、「保護者や家族の育児疲れ・不安」が65.3%と最も高く、次いで「保護者や家族の病気」(61.3%)、「冠婚葬祭」(37.3%)の順となっています。



小学生児童

「利用する必要はない」が92.6%と高くなっています。

「利用したい」と回答した人の利用目的は、「保護者や家族の病気」が66.7%と最も高く、次いで「保護者や家族の育児疲れ・不安」(45.2%)、「冠婚葬祭」(23.8%)の順となっています。

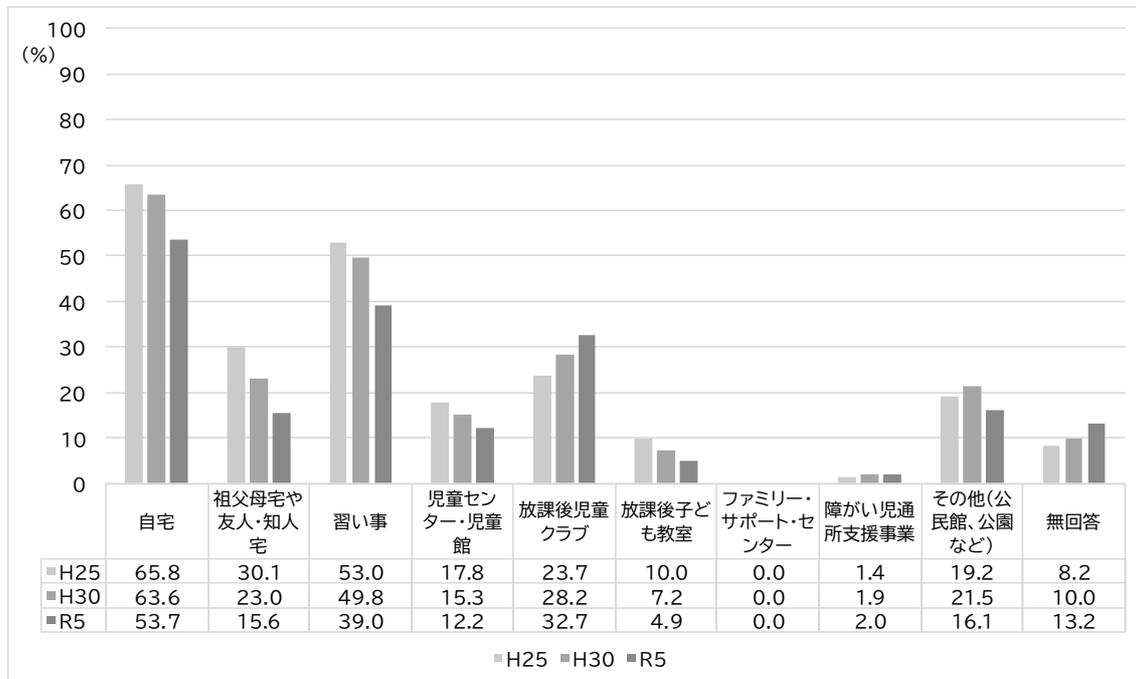


(9) 放課後の過ごし方

①就学前児童が小学校低学年になった時に希望する放課後の過ごし方

就学前児童

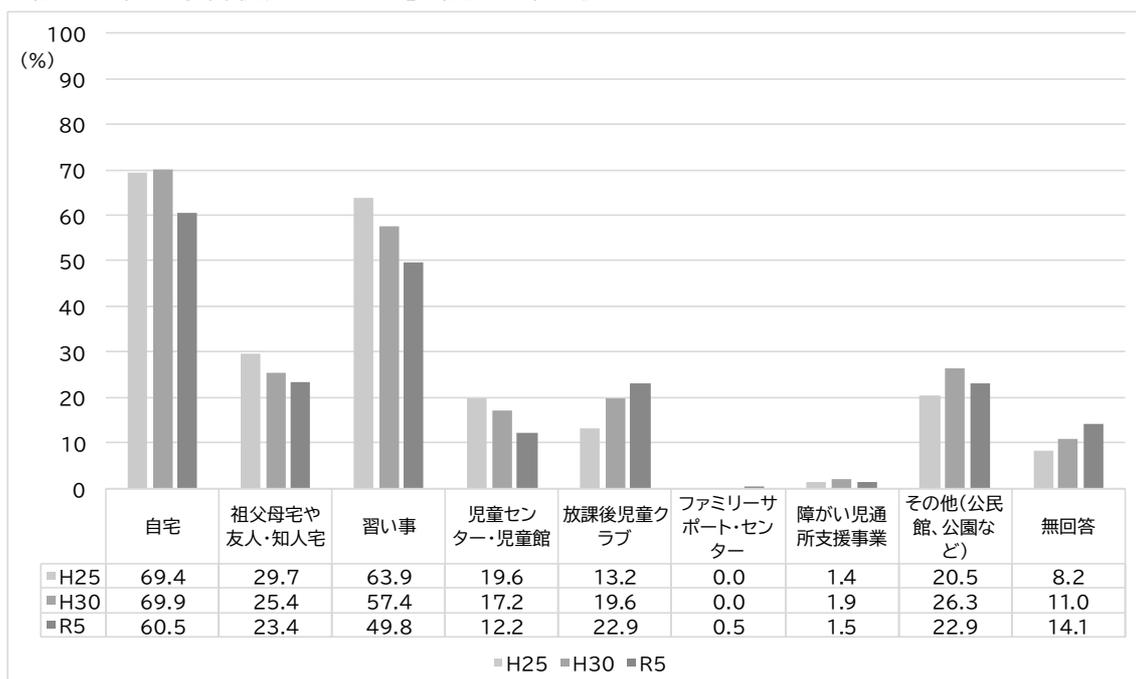
「自宅」が53.7%と最も高く、次いで「習い事」(39.0%)、「放課後児童クラブ」(32.7%)の順となっています。平成25、30年度と比べると「放課後児童クラブ」の比率が高まっています。



②就学前児童が小学校高学年になった時に希望する放課後の過ごし方

就学前児童

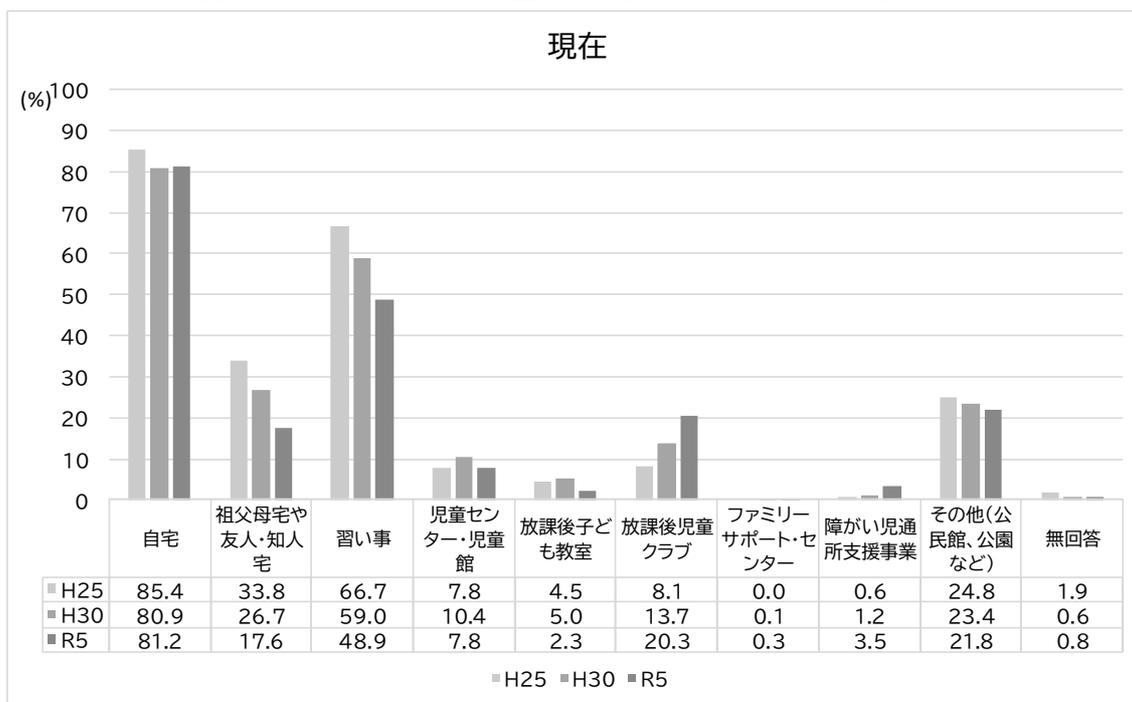
「自宅」が60.5%と最も高く、次いで「習い事」(49.8%)、「祖父母宅や友人・知人宅」(23.4%)、「放課後児童クラブ」(22.9%)の順となっています。



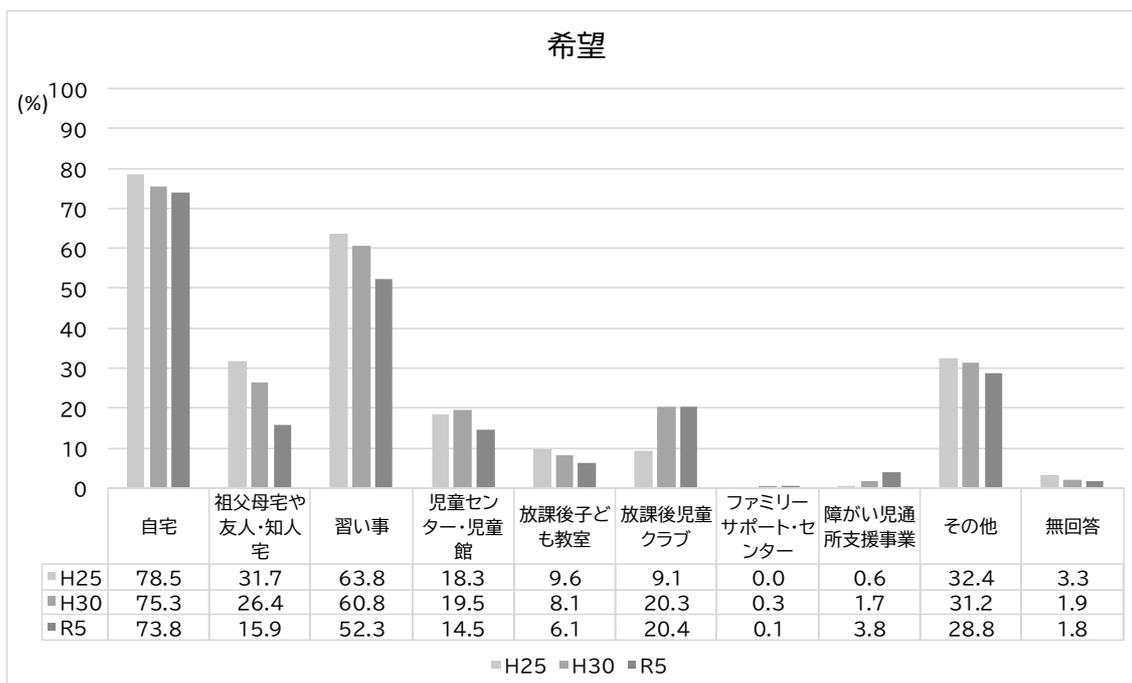
③小学生児童の放課後の過ごし方（現在・希望）

小学生児童

現在についてみると、「自宅」が81.2%と最も高く、次いで「習い事」（48.9%）、「放課後児童クラブ」（20.3%）の順となっています。平成25、30年度と比べると「習い事」「祖父母や友人・知人宅」が減少し、「放課後児童クラブ」が増加しています。



希望についてみると、「自宅」が73.8%と最も高く、次いで「習い事」（52.3%）、「放課後児童クラブ」（20.4%）の順となっています。平成25、30年度と比べると「習い事」「祖父母や友人・知人宅」が減少し、「放課後児童クラブ」が増加しています。現状も希望も概ね同じような傾向がみられます。

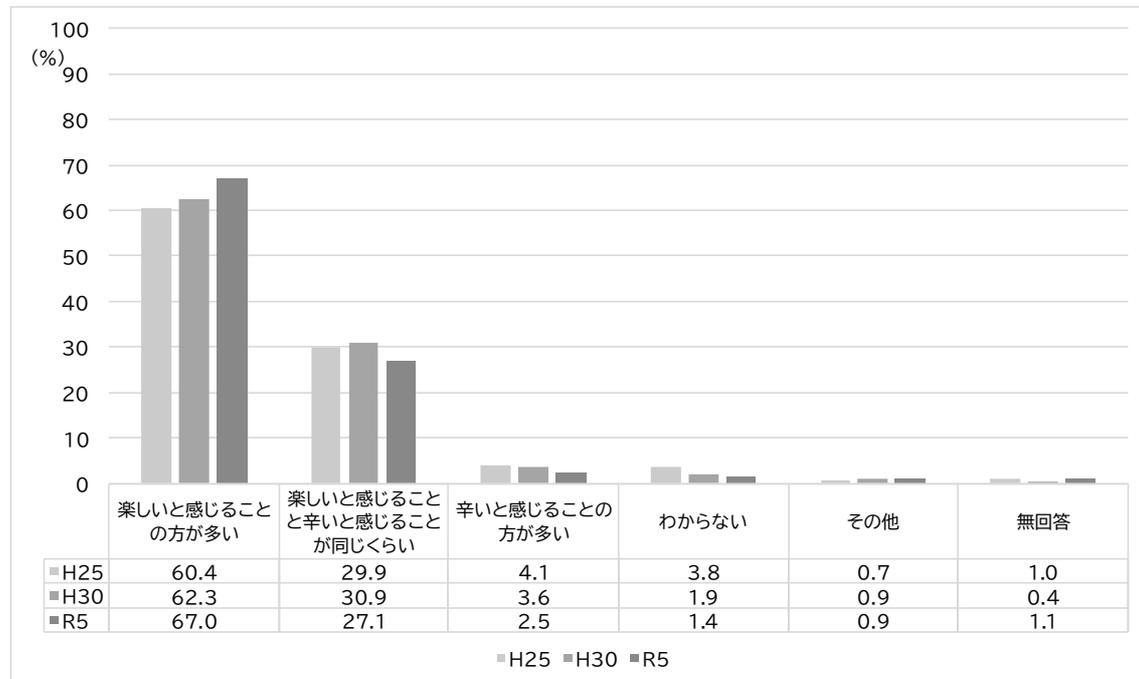


(10) 子育てに関する保護者の意識

①子育てへの感じ方

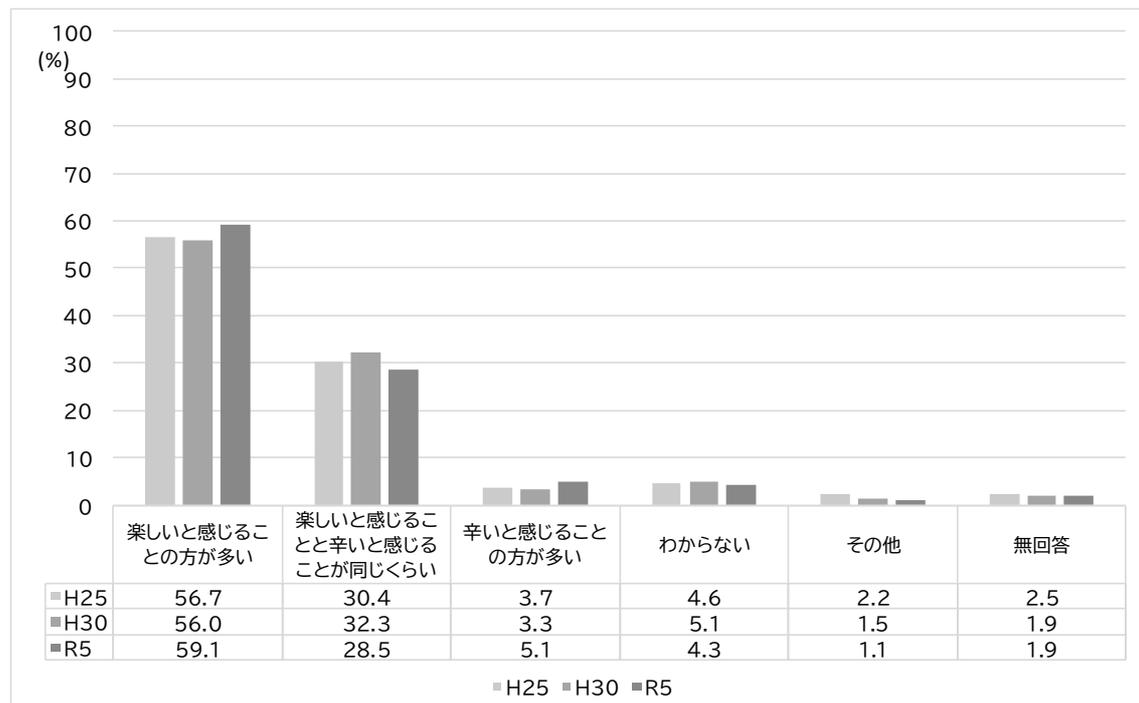
就学前児童

「楽しいと感じることの方が多し」が67.0%と最も高く、次いで「楽しいと感じることと辛いと感じることが同じくらい」(27.1%)の順となっています。平成25、30年度と比べると「楽しいと感じることの方が多し」の比率が高まっています。



小学生児童

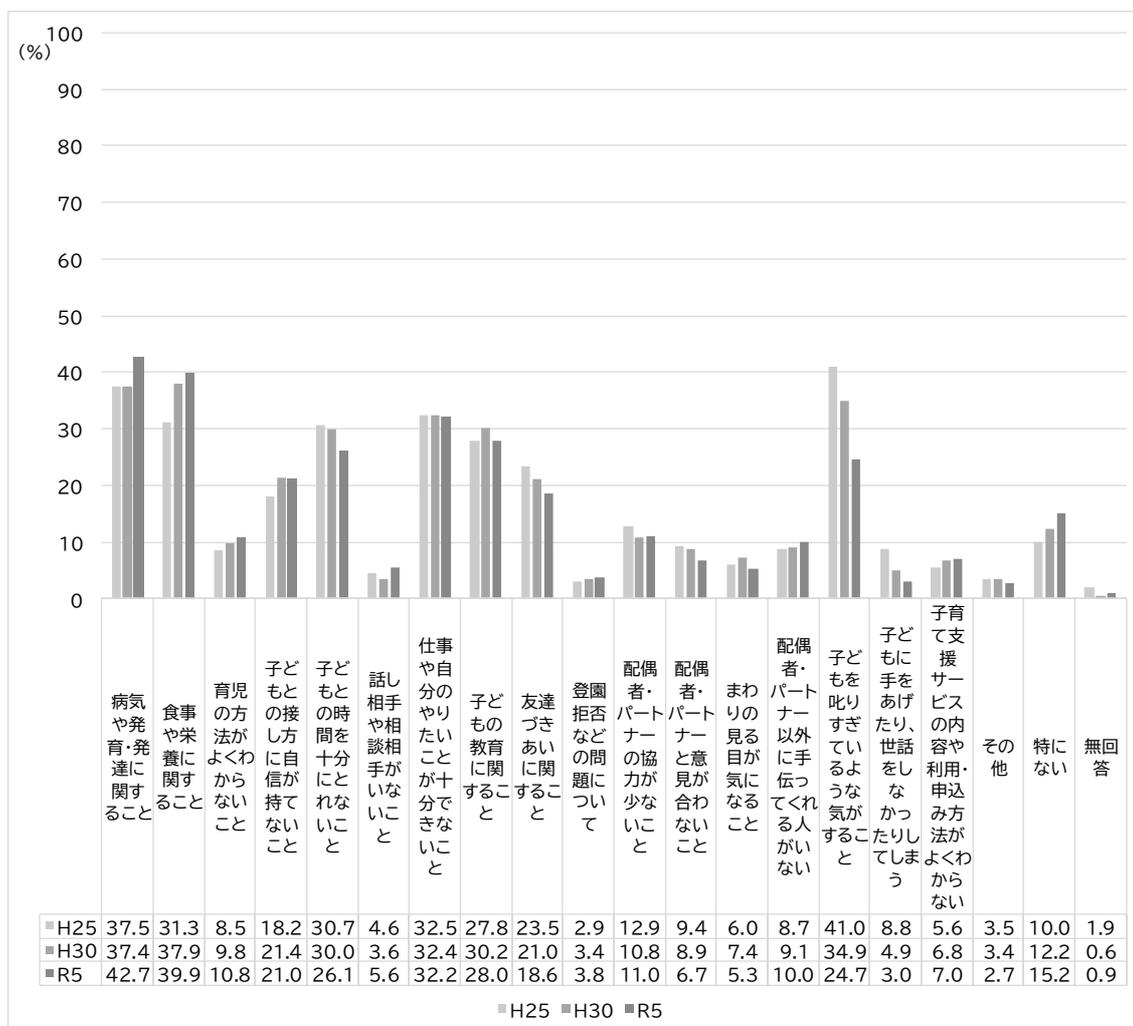
「楽しいと感じることの方が多し」が59.1%と最も高く、次いで「楽しいと感じることと辛いと感じることが同じくらい」(28.5%)の順となっています。



②子育てに関する悩み

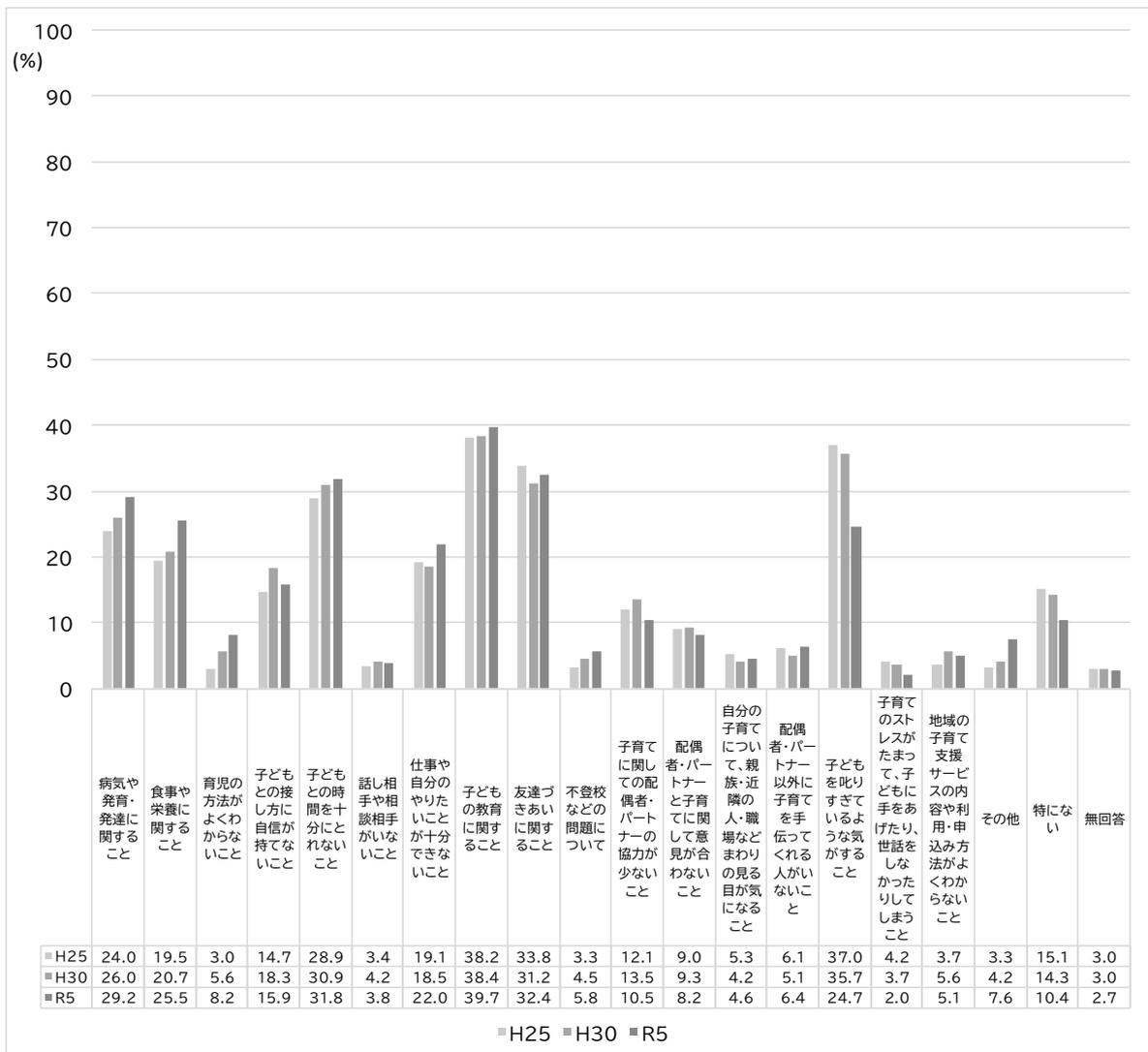
就学前児童

「病気や発育・発達に関すること」が42.7%と最も高く、次いで「食事や栄養に関すること」(39.9%)、「仕事や自分のやりたいことが十分できないこと」(32.2%)の順となっています。平成25、30年度と比べると「食事や栄養に関すること」が増加し、「子どもを叱りすぎているような気がする」と減少しています。



小学生児童

「子どもの教育に関すること」が39.7%と最も高く、次いで「友達づきあいに関すること」(32.4%)、「子どもとの時間を十分に取れないこと」(31.8%)、「病気や発育・発達に関すること」(29.2%)の順となっています。平成25、30年度と比べると「子どもを叱りすぎているような気がする」と減少しています。



3. ニーズ調査結果からみえる課題

■子どもと家族の環境

【統計データより】

- ・18歳未満の子ども人口は減少傾向にあり、年齢が低くなるにつれ人口が減少する傾向にあります。出生率が減少傾向にあることから、今後もこの傾向は続くことが予想されます。
- ・女性の労働力状態は子育て世代でも高くなっており、女性の社会進出が進んでいることがわかります。
- ・18歳未満の子どものいる世帯数は減少傾向にあり、核家族世帯が大半を占めます。
- ・ひとり親世帯は、子どもがいる世帯の約1割であり、母子家庭を中心に子どもがいる世帯に対する比率が増加傾向にあります。
- ・外国籍の子ども人口は増加しており、本市全体の約4%に相当します。
- ・婚姻率は減少傾向が続いており、県全体を下回って推移しています。離婚率も減少傾向が続いていますが、県全体より高い水準で推移しています。

【アンケート調査より】

- ・家庭のなかの子どもの人数は2人以下の割合が高く、就学前の子どもを持つ家庭で「子どもの人数が1人」の比率が前回調査と比べて特に高くなっています。
- ・日常的に子育てに関わっている比率は、前回調査と比べて母親と父親が高く、祖父母や知人が低くなっています。また、同設問において「母親」「父親」両方を選択した人の比率は、就学前児童で65.6%、小学生児童で62.0%となっており、家族のなかで母親と父親を中心に子育てが行われていることがうかがえます。
- ・母親の就労状況は、前回調査と同様にパート・アルバイトで就労している比率が高いのに加え、フルタイムで就労している比率が前回調査と比べて高くなっています。父親は前回調査と同様に正社員で5～6日間の比率が高くなっています。
- ・育児休業については、取得した人や働いていなかった人の比率が高い母親に対し、父親の育児休業の取得は非常に低く、母親に偏っています。なお、父親の育児休業の取得率は1割と低いものの、前回調査に比べて約4倍になり、父親の子育てへの意識の変化がみられます。

【課題】

- 核家族化が進行し、母親、父親を中心に子育てをする傾向が高まっており、子育て家庭が子育てしやすい環境、支援サービスの提供が求められます。
- 育児休業の取得が母親に偏っており、子育て家庭への情報提供や企業への育児休業の取得しやすい企業内ルールや環境作り等、機運醸成が求められます。

■教育・保育

【統計データより】

- ・本市の保育園等（公立・民間のこども園、公立・民間の保育園、民間の小規模保育事業所）、幼稚園（公立・民間の幼稚園）、小学校における子どもの数は減少傾向にあります。

【アンケート調査より】

- ・教育・保育サービスの日常利用を年齢別で見ると、0～1歳は利用していない比率が高く、2歳になると利用している比率が利用していない比率を上回り、3歳以上は全て利用していると回答しています。本市の場合、公立の認可保育園の利用が多く、次いで公立の幼稚園、公立の認定こども園の順となっています。
- ・日常利用と利用希望を比較すると、3歳未満の小さい子どもがいる家庭で潜在的に認可保育園、認定こども園といった保育サービスを受けたいという意向が見受けられます。

【課題】

- 3歳未満の子どもがいる家庭に対する日常的な保育サービスの提供が求められます。

■子育て支援に関する各種サービス

【統計データより】

- ・一時保育の利用状況は、近年はコロナ禍の影響もあり変動があるものの2,500人以上の利用があります。
- ・病児・病後児保育は、平成29年度から半田市げんきの芽にて病気の治療中または病気の回復期の児童を保育する病児保育を実施しており、年間130～480人程度の延べ利用人数、100～200日程度の延べ利用日数となっています。
- ・放課後児童クラブは、13小学校区内で20クラブ開設し、登録児童数は1,000人以上あります。子どもの人口が減少傾向にあるなかで、登録児童数は増加しています。

【アンケート調査より】

- ・地域子育て支援拠点事業は、利用していない人の比率が7割以上と高く、利用したことがある拠点では子育て支援センター「はんだっこ」の比率が前回調査と同様に高くなっています。今後の利用意向についても利用したい人が少ない一方で、今後利用したい人やすでに利用していて新たに利用日数を増やしたい人が約3割います。
- ・病児・病後児保育は、病気のとときに母親が仕事を休んで子どもをみた人の比率が就学前児童も小学生児童も高く、病児・病後児保育を利用した人はわずかとなっています。病児・病後児保育の利用意向は、「利用したいとは思わなかった」が特に高く、その主な理由としては「親が仕事を休んで子どもをみる」「他人にみてもらうのは不安」の比率が前回調査と同様に高くなっています。「できれば利用したかった」の比率は約1～2割となっています。
- ・一時預かりは、利用していない人の比率が約8～9割以上と高く、その理由としては、「親族・知人にみてもらう」が約7割と高い比率になっています。なお、利用したい比率が約1割強と低い小学生児童と比べ、就学前児童については利用したい人が約4割います。その利用目的として、「私用・リフレッシュ」「冠婚葬祭・学校行事・通院」が高い比率になっています。
- ・短期入所生活援助事業は、「利用したい」の比率が約1割強となっています。利用目的をみると「保護者や家族の育児疲れ・不安」「保護者や家族の病気」の比率が高くなっています。
- ・小学生児童の放課後の過ごし方の現状は、「自宅」「習い事」の比率が高く、前回調査と比べると「祖父母宅」の比率は低下し、「放課後児童クラブ」の比率が上昇しています。就学前児童が小学生になったとき（就学前児童アンケート）、および小学生児童の放課後の過ごし方

し方の希望（小学生児童アンケート）は、「自宅」が約5～7割、「習い事」が約4～5割、「放課後児童クラブ」が約2～3割の順に高くなっています。小学生児童の放課後の過ごし方について、現状と希望がほぼ同じ傾向にあることがうかがえます。就学前児童の家庭が、共働きをしながら家庭内で子育てをする人が増えていることから、小学校低学年を中心に「放課後児童クラブ」の利用意向が3割を超えるなど、前回調査と比べ高くなっていることがうかがえます。

【課題】

- 地域子育て支援拠点事業（約3割）および放課後児童クラブ（約2～3割）は一定の利用があり、今後も利用ニーズに応じてサービスを確保していく必要があります。
- 病児・病後児保育は、現在の利用がわずかで利用したい意向も約1～2割と少なくなっています。利用したくない理由として、「親が仕事を休んで子どもをみる」「他人にみてもらうのは不安」という回答が多く、安心して利用できるよう制度への理解を深めていく必要があります。
- 一時預かりは、利用していない人の比率が約8～9割以上と高く、多くの人が親族・友人知人に預けています。一方、利用したい人は就学前児童で約4割いて、「私用・リフレッシュ」「冠婚葬祭・学校行事・通院」を目的として利用したいという比率が、前回調査と同様に高くなっています。このような潜在的ニーズに対応していくための情報提供が求められます。
- 短期入所生活援助事業は、利用したい人が約1割強おり、「保護者や家族の育児疲れ・不安」「保護者や家族の病気」を目的として利用したいという比率が高くなっています。養護保育を行う事業であることからニーズが少ないものの、年によっては受け入れる延べ日数が50日以上となることもあり、必要な保護を行う事業として継続していく必要があります。

■子育てに対する意識

【アンケート調査より】

- ・保護者の子育てへの感じ方は、「楽しいと感じることの方が多し」の比率が約6割と高く、前回調査と比べ就学前児童、小学生児童とも比率は高まっています。一方、「楽しいと感じることと辛いと感じることが同じくらい」の比率は約3割となっています。
- ・保護者の子育てに関する悩みは、前回調査と同様に就学前児童の保護者は子どもの病気や発育、食事面、自分の時間がとれないことの比率が高く、小学生児童の保護者は子どもの教育、友達づきあい、子どもとの時間がとれないことの比率が高くなっています。子どもの成長に伴い、保護者の悩みも変化していることがわかります。

【課題】

- 子どもの成長に応じた子育てに関する情報提供やサービス提供などを通じ、子育てに悩んでいる保護者への支援が求められます。